

XL シリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ XL-8400

> 製品を安全に使用していただくために

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の**正しくお使いいただくために**（1-1 ページ）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、直射日光の当たる場所、振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所、温泉地など硫黄の影響を受ける場所に設置しないでください。装置故障だけではなく、火災、故障、感電などの原因になることがあります。表示された正しい電源・電圧でお使いください。また、本製品の稼動音が気になる場合は、事務所とは別室に設置することを推奨します。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品の粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の拡散については、エコマーク No.155「複写機・プリンタなどの画像機器 Version1.3」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジを使用し、印刷を行った場合について、試験方法：Blue Angel Mark [RAL-UZ 205 の付録 S-M] に基づき試験を実施しております。推奨トナーカートリッジについては、[サブライ品一覧（11-15 ページ）](#)をご覧ください。

この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

梱包物の確認とプリンターの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンターの設置、および動作確認が済んでいない場合は、付属の設置ガイドをご覧ください。

➔ [設置ガイド](#)

Fujitsu Printer プリンタユーティリティ（プリンタードライバー、ソフトウェア）について

本製品には同梱しておりません。ドライバダウンロードページよりダウンロードしてください。

https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

「プリンタ（ドライバ）」-「Fujitsu Printer XLシリーズ、FMPRシリーズ」を選択した後に表示されるダウンロード検索ページで、型名（XL-8400）、OS（お使いのOS）を指定してダウンロードしてください。

ハードウェアガイド メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

▶ 目次

▶ 1 正しくお使いいただくために

▶ 7 ジョブ / 消耗品 / デバイスを管理する

▶ 2 設置と機械のセットアップ

▶ 8 システムメニュー

▶ 3 本機を使用する前に

▶ 9 ユーザー管理 / 部門管理

▶ 4 パソコンからの印刷

▶ 10 こんなときには

▶ 5 本体側の操作

▶ 11 付録

▶ 6 さまざまな機能を使う

目次

製品を安全に使用していただくために	ii
梱包物の確認とプリンターの設置は済んでいますか	ii
Fujitsu Printer プリンタユーティリティ (プリンタードライバー、ソフトウェア) について	ii
本機の特長	viii
マニュアルの紹介	x
ハードウェアガイド (本書) について	xi
本書の構成について	xi
本書の読みかた	xi
メニューマップ	xiii

1 正しくお使いいただくために 1-1

注意事項	1-2
製品に関する注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-3
設置環境について	1-4
取り扱い上のご注意	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-9
自動両面機能について	1-9
印刷用紙	1-9
電力管理	1-9
無線LAN使用時のご注意	1-10
電波の種類と干渉距離	1-10
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意	1-10
本製品の使用限定	1-11

2 設置と機械のセットアップ 2-1

各部の名称	2-2
本体外観	2-2
コネクタ・内部	2-3
オプション装着時	2-4
本機とその他デバイスを接続する	2-5
ケーブルの接続	2-6
ネットワークケーブルの接続	2-6
USBケーブルの接続	2-7
電源コードの接続	2-7
電源の入切	2-9
電源を入れる	2-9
電源を切る	2-9
操作パネルの使いかた	2-10
操作パネルキー	2-10
操作方法	2-11
ヘルプ画面の使いかた	2-12
ログイン・ログアウト	2-13
ログイン	2-13
ログアウト	2-14
機械の初期設定について	2-15
日付と時刻の設定	2-15

ネットワークを設定する	2-16
有線でネットワークを設定する	2-16
オプションネットワークを設定する	2-18
ワイヤレスネットワークを設定する	2-20
Wi-Fiダイレクトを設定する	2-25
ソフトウェアをインストールする	2-26
収録ソフトウェア	2-26
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-26
ソフトウェアをアンインストールする	2-31
省エネ機能について	2-33
スリープとオートスリープ	2-33
管理者に準備していただきたいこと	2-35
セキュリティを強化するには	2-35
Fujitsu Printer Internet Serviceとは	2-36
Fujitsu Printer Internet Service へアクセスする	2-37
セキュリティ設定を変更する	2-38
デバイス情報を変更する	2-39
メール設定	2-40
3 本機を使用する前に	3-1
用紙のセット	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-3
カセットにセットする	3-3
手差しトレイにセットする	3-7
用紙サイズと用紙種類の設定	3-10
排紙ストッパー	3-12
4 パソコンからの印刷	4-1
パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズ of 用紙に印刷する	4-4
バナー用紙(長尺用紙)に印刷する	4-5
プリンタードライバーの印刷設定画面について	4-9
プリンタードライバーのヘルプの見かた	4-10
プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 10の場合)	4-10
パソコンで印刷を中止する	4-10
AirPrintで印刷	4-11
Wi-Fiダイレクトで印刷	4-11
本体に保存したデータを印刷する	4-12
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-12
プライベートプリントを使用して印刷する	4-12
試し刷り後保留を使用して印刷する	4-14
ジョブボックス設定	4-15
ステータスマニター	4-16
ステータスマニターの起動	4-16
ステータスマニターの終了	4-16
ステータスマニターの表示	4-16
5 本体側の操作	5-1
ジョブのキャンセル	5-2
文書ボックスとは	5-3

6	さまざまな機能を使う	6-1
	各機能について	6-2
	トナーセーブ	6-2
	両面	6-2
	静音モード	6-2
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	7-1
	ジョブの状況確認	7-2
	ジョブの履歴を確認する	7-3
	ジョブ履歴を送信する	7-4
	デバイスの状態確認(デバイス/通信)	7-5
	トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)	7-6
8	システムメニュー	8-1
	本機の初期設定(システムメニュー)	8-2
	メニューの項目	8-2
	レポート	8-3
	カウンター	8-5
	用紙設定	8-5
	印刷設定	8-8
	ネットワーク	8-12
	オプションネットワーク	8-22
	共通設定	8-23
	セキュリティー	8-27
	ユーザー/部門管理	8-29
	調整/メンテナンス	8-29
	ソフトウェア	8-30
9	ユーザー管理/部門管理	9-1
	ユーザー管理について	9-2
	ユーザー管理を有効にする	9-3
	ユーザー管理の設定	9-4
	ユーザー情報の変更	9-4
	印刷のユーザー管理	9-5
	ネットワークユーザー情報の取得	9-6
	PINコード認証を設定する	9-7
	ユーザー管理の使いかた	9-8
	ログイン/ログアウト	9-8
	部門管理について	9-9
	部門管理を有効にする	9-10
	部門管理方式	9-10
	部門管理の設定	9-11
	部門の新規登録	9-11
	使用制限	9-11
	部門の編集	9-12
	部門の削除	9-12
	印刷の部門管理	9-13
	部門管理の運用	9-14
	制限超過時設定	9-14
	使用枚数の集計	9-14
	部門管理レポート印刷	9-15

部門管理の使いかた	9-16
ログイン/ログアウト	9-16
ID不明ジョブ処理	9-17

10 こんなときには 10-1

日常のお手入れ	10-2
清掃	10-2
トナーカートリッジの交換と注意事項	10-4
廃棄トナーボックスの交換	10-9
こまったときは	10-11
一般的な問題について	10-11
こんな表示がでたら	10-16
紙づまりが発生したら	10-22

11 付録 11-1

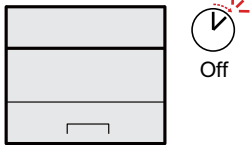

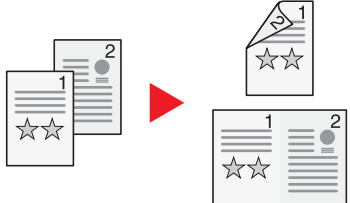

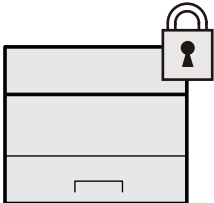
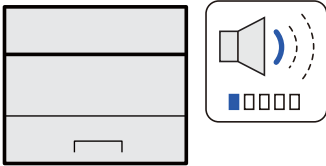
オプションについて	11-2
オプション構成	11-2
拡張給紙ユニットの取り付け	11-3
プリンタLANカードの取り付け	11-6
パラレルインターフェースカードの取り付け	11-7
プリンタ無線LANカードの取り付け	11-11
有寿命部品/消耗品/定期交換部品/24時間運用について	11-13
有寿命部品について	11-13
消耗品について	11-13
定期交換部品について	11-13
24時間以上の連続運用について	11-14
サプライ品一覧	11-15
推奨用紙	11-16
文字の入力方法	11-17
使用するキー	11-17
入力文字の選択	11-18
文字の入力	11-18
用紙について	11-21
用紙の基本仕様	11-21
適正な用紙の選択	11-22
特殊な用紙	11-24
仕様	11-28
本体	11-28
プリンター機能	11-31
拡張給紙ユニット(550枚×1)	11-32
本製品のサイズ	11-32
アフターサービスについて	11-33
本製品の廃棄について	11-33
本書で紹介しているURLについて	11-34
用語集	11-35


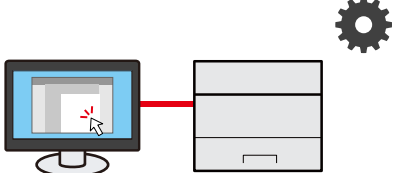
本機の特長

本機はさまざまな便利な機能を搭載しています。

➔ [さまざまな機能を使う \(6-1ページ\)](#)

ここでは一例を紹介します。

経費を節約したい		
<p>使いかたに合わせて節電する (省エネ機能)</p>  <p>本機はスリープ状態になる省エネ機能を備えています。 ➔ 省エネ機能について (2-33ページ)</p>	<p>トナーの消費を抑えて印刷する (トナーセーブ)</p>  <p>トナーを節約したいときに便利です。 試し印刷や社内での確認用資料など、内容が確認できればいい程度の資料を作成するときに使用すると、トナーを節約できます。 高品質な印刷が必要でないときに利用できます。 ➔ トナーセーブ (6-2ページ)</p>	<p>用紙を節約して印刷する (N-up印刷、両面印刷)</p>  <p>用紙の両面に印刷したり、2枚以上の複数枚の原稿を1枚の用紙にまとめて印刷したりすることができます。 ➔ 両面 (6-2ページ)</p>
セキュリティを強化したい		もっと使いこなしたい
<p>印刷した原稿の持ち去りを防ぐ (プライベートプリント)</p>  <p>プリンターから印刷するデータを一時的に本体のボックスに保存し、本体側で印刷を実行することで、印刷した用紙の持ち去りを防ぐことができます。 ➔ プライベートプリントを使用して印刷する (4-12ページ)</p>	<p>セキュリティを強化する (管理者向け各種設定)</p>  <p>本機では、セキュリティを強化するために、管理者が設定できる機能をいろいろ用意しています。 ➔ セキュリティを強化するには (2-35ページ)</p>	<p>静かに使用する (静音モード)</p>  <p>本機の動作音を抑えて静かに使用することができます。ジョブごとに設定をすることができます。 ➔ 静音モード (6-2ページ)</p>

もっと使いこなしたい	
<p>ネットワーク配線を気にせずに設置したい(ワイヤレスネットワーク)</p>  <p>無線LAN環境があれば、ネットワーク配線を気にせずに本機を設置することができます。また、Wi-Fiダイレクトにも対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ ワイヤレスネットワークを設定する (2-20ページ)▶ Wi-Fiダイレクトを設定する (2-25ページ)	<p>リモートで本機を操作する (Fujitsu Printer Internet Service)</p>  <p>パソコンからリモートで本機にアクセスし、デバイス情報やジョブ状況を確認することができます。</p> <p>管理者は、本機の動作設定や管理設定を効率的に行うことができ、設定内容の確認、セキュリティー関連の設定、電子メールの送信などの操作ができます。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ Fujitsu Printer Internet Serviceとは (2-36ページ)

マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。
マニュアルに記載されている内容は、機械性能改善のために予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

印刷物のマニュアル

本機をセットアップするには



設置ガイド

本機で印刷できるまでのセットアップ手順について説明しています。

早く使ってみたい



クイックガイド

本機の簡単な操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。

安全に使うためには



セーフティガイド

本機の設置環境や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

PDFのマニュアル

本機を使いこなすには



ハードウェアガイド(本書)

用紙の補給や基本的な操作、各種初期設定などについて説明しています。

登録・設定を簡単にしたい



Fujitsu Printer Internet Service使用説明書

パソコンからWeb ブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。

パソコンから印刷したい



プリンタードライバー操作手順書

プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。

印刷位置を調整したい



Maintenance Menu 操作手順書

Maintenance Menuから、印刷の設定を行う手順について説明しています。

PDFのマニュアルを富士通製品情報ページに公開しています。

次のURLをご確認ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/support/manual/>

上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています。

ハードウェアガイド(本書)について

本書の構成について




本書は、次の章で構成されています。

章		内容
1	正しくお使いいただくために	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	設置と機械のセットアップ	各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストール、ログイン・ログアウトなど、本機の管理者用の情報について説明しています。
3	本機を使用する前に	操作パネルの使いかた、用紙の補給など、ご使用前に必要な準備・設定について説明しています。
4	パソコンからの印刷	基本的な印刷方法を説明しています。
5	本体側の操作	文書ボックスの基本的な使いかたなどを説明しています。
6	さまざまな機能を使う	本機に用意されている便利な機能を説明しています。
7	ジョブ/消耗品/デバイスを管理する	ジョブの状況確認や履歴の確認、実行中/待機中のジョブをキャンセルする方法について説明しています。また、トナー/用紙の残量やデバイスの状態などの確認方法についても説明しています。
8	システムメニュー	本機の動作全般に関わるシステムメニューについて説明しています。
9	ユーザー管理/部門管理	ユーザー管理、部門管理について説明しています。
10	こんなときには	トナーがなくなったときやエラーが表示されたとき、紙づまりなど、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。
11	付録	本製品で使用できる便利なオプション機器の紹介や、用紙についての説明や用語集を収録しています。また、文字の入力方法や本機の仕様などについても説明しています。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
 重要	誤った操作によるトラブルを防ぐために、操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。
 参考	補足説明や操作の参考となる情報です。
参照	下線のついた文字をクリックすると、参照ページへジャンプします。
	参照先を示します。
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目を示します。

操作手順の表記について

本書中では、連続して操作する手順を、次のように>でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[メニュー]キーを選択する ▼ [▲]または[▼]キーを押して、[共通設定]を選択する ▼ [OK]キーを選択する	[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー

製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	本文中の表記		
	本製品	本機	プリンター
XL-8400	本製品	本機	プリンター
Windows 11 Home	Windows 11		
Windows 11 Pro			
Windows 11 Pro for Workstations			
Windows 11 Enterprise			
Windows 11 Education			
Microsoft® Windows Server® 2022 Standard			
Microsoft® Windows Server® 2022 Datacenter			
Microsoft® Windows Server® 2022 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard	Windows Server 2019		
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter			
Microsoft® Windows Server® 2019 Essentials			
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016		Windows
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter			
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials			
Windows 10 Home	Windows 10		
Windows 10 Pro			
Windows 10 Pro for Workstations			
Windows 10 Enterprise			
Windows 10 Education			
Windows 10 Enterprise LTSC 2021			
Windows 10 Enterprise LTSC 2019			
Windows 10 Enterprise LTSC 2016			
Windows 10 Enterprise LTSC 2015			
Wi-Fi Direct®			

メニューマップ

メッセージディスプレイに表示されるメニューの一覧です。お客様の設定状況によっては、表示されない場合があります。また、参照先のタイトルはメニューの名称と異なる場合があります。



ジョブボックス	ジョブボックス設定 (4-15ページ)
---------	---------------------------------------

[状況確認]



ジョブ状況 (7-2ページ)
ジョブ履歴 (7-3ページ)
ネットワーク接続 (7-5ページ)
Wi-Fi (7-5ページ)
Wi-Fiダイレクト (7-5ページ)
オプションネットワーク接続 (7-5ページ)



レポート	レポート印刷	メニューマップ (8-3ページ)
		設定情報リスト (8-4ページ)
		ステータスページ (8-4ページ)
		フォントリスト (8-4ページ)
		RAMファイルリスト (8-4ページ)
		セキュリティーデータ消去 (8-4ページ)
	ジョブ履歴	自動送信 (8-5ページ)
		履歴送信 (8-5ページ)
		宛先 (8-5ページ)
		件名 (8-5ページ)
個人情報 (8-5ページ)		
カウンター (8-5ページ)		
用紙設定	手差し設定	用紙サイズ (8-6ページ)
		用紙種類 (8-6ページ)
	カセット1設定	用紙種類 (8-6ページ)
		その他用紙 (8-7ページ)
		カスタム用紙 (8-7ページ)
	カセット2設定	用紙種類 (8-6ページ)
		その他用紙 (8-7ページ)
		カスタム用紙 (8-7ページ)

用紙設定	カセット3設定	用紙種類 (8-6ページ)
		その他用紙 (8-7ページ)
		カスタム用紙 (8-7ページ)
	カセット4設定	用紙種類 (8-6ページ)
		その他用紙 (8-7ページ)
		カスタム用紙 (8-7ページ)
	用紙種類の設定 (8-5ページ)	
	初期設定に戻す (8-5ページ)	
	用紙セット時の確認	手差しトレイ (8-6ページ)
		カセット1 (8-6ページ)
		カセット2 (8-6ページ)
カセット3 (8-6ページ)		
カセット4 (8-6ページ)		
印刷設定	給紙元 (8-8ページ)	
	自動カセット切替 (8-8ページ)	
	手差しトレイ優先 (8-9ページ)	
	給紙指定動作 (8-9ページ)	
	両面 (8-9ページ)	
	A4/LTR共通使用 (8-9ページ)	
	エミュレーション設定 (8-9ページ)	
	ANK フォント (8-9ページ)	
	漢字フォント (8-9ページ)	
	コードセット (8-9ページ)	
	印刷品質	スムージング (8-10ページ)
		トナーセーブ (8-10ページ)
		トナーセーブ節約レベル (8-10ページ)
		印刷解像度 (8-10ページ)
		印刷濃度 (8-10ページ)
	印刷環境	部数 (8-10ページ)
		縮小印刷 (8-10ページ)
		印刷向き (8-10ページ)
		改行(LF)動作 (8-10ページ)
		復帰(CR)動作 (8-10ページ)
印刷範囲補正 (8-10ページ)		
ワイドA4 (8-10ページ)		
XPS印刷範囲設定 (8-10ページ)		
TIFF/JPEGサイズ (8-11ページ)		
文書名入力 (8-11ページ)		

印刷設定	ユーザー名 (8-11ページ)	
	ジョブ名 (8-11ページ)	
	ジョブの終端 (8-11ページ)	
ネットワーク	ホスト名 (8-12ページ)	
	Wi-Fiダイレクト設定	Wi-Fiダイレクト (8-12ページ)
		デバイス名 (8-12ページ)
		IPアドレス (8-12ページ)
		自動切断設定 (8-12ページ)
		自動切断時間 (8-13ページ)
	Wi-Fi設定	Wi-Fi (8-13ページ)
		セットアップ (8-13ページ)
		TCP/IP設定 (8-14ページ)
		ネットワークの再起動 (8-15ページ)
	有線ネットワーク設定	TCP/IP設定 (8-16ページ)
		LANインターフェイス (8-16ページ)
	プロトコル設定 (8-16ページ)	
	優先ネットワーク (8-22ページ)	
	Ping (8-22ページ)	
ネットワークの再起動 (8-22ページ)		
オプションネットワーク	基本設定 (8-22ページ)	
共通設定	言語選択 (8-23ページ)	
	日時設定	日付 (8-23ページ)
		時刻 (8-23ページ)
		日付形式 (8-23ページ)
		タイムゾーン (8-23ページ)
		サマータイム (8-23ページ)
	ブザー	操作確認音 (8-24ページ)
		正常終了音 (8-24ページ)
		準備完了音 (8-24ページ)
		注意音 (8-24ページ)
	RAMディスク設定 (8-24ページ)	
	画面の明るさ (8-24ページ)	
	画面のバックライト (8-25ページ)	
	エラー処理設定	両面用紙エラー (8-25ページ)
		用紙ミスマッチ (8-25ページ)
		給紙時のサイズエラー (8-25ページ)
		手差し紙なし (8-25ページ)

共通設定	タイマー設定	オートパネルリセット (8-25ページ)
		パネルリセット時間 (8-26ページ)
		スリープレベル設定 (8-26ページ)
		スリープ時間 (8-26ページ)
		週間予約設定 (8-26ページ)
		エラー後自動継続 (8-26ページ)
		エラー後継続時間 (8-26ページ)
		改ページ待ち時間 (8-26ページ)
		Pingタイムアウト時間 (8-26ページ)
	状況/履歴の表示 (8-27ページ)	
トナー残量少の通知 (8-27ページ)		
バナー印刷前の確認 (8-27ページ)		
セキュリティ	ネットワークセキュリティ (8-27ページ)	
	I/Fブロック設定 (8-28ページ)	
	セキュリティレベル (8-28ページ)	
	データセキュリティ (8-28ページ)	
ユーザー/部門管理	ユーザー管理設定	ユーザー管理 (9-3ページ)
		ローカルユーザーリスト (9-4ページ)
		ネットワークユーザー情報 (9-6ページ)
		PINコードログイン (9-7ページ)
	部門管理設定	部門管理 (9-10ページ)
		部門管理方式 (9-10ページ)
		部門管理(ローカル) (9-10ページ)
		制限超過時設定 (9-14ページ)
	不明ユーザー設定	ID不明ジョブ処理 (9-17ページ)
	調整/メンテナンス	静音モード (8-29ページ)
再起動 (8-29ページ)		
サービス設定 (8-29ページ)		
ソフトウェア (8-30ページ)		

1 正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

注意事項	1-2
製品に関する注意事項	1-2
本書中の注意表示について	1-3
設置環境について	1-4
取り扱い上のご注意	1-5
法律上のご注意	1-6
本製品の省エネ制御機能について	1-9
自動両面機能について	1-9
印刷用紙	1-9
電力管理	1-9
無線LAN使用時のご注意	1-10
電波の種類と干渉距離	1-10
無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意	1-10
本製品の使用限定	1-11

注意事項

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになった上で本製品を正しくお使いください。

製品寿命(耐用期間) について

本製品の耐用期間(寿命)は、次のいずれか早いほうです。

- 100万ページ印刷(A4 サイズ横送り(□)換算/片面印刷)
- 5年(8時間/日)

詳しくは、[仕様 \(11-28ページ\)](#)をご覧ください。

☑ 重要

- 耐用期間は、プリンターの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
- 用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンター本体の電源ON/OFF 頻度や通電時間などにより耐用期間までの印刷枚数が減少します。
- A4サイズより長い用紙を使用した場合、耐用期間はA4横送り 印刷時の半分程度が目安となります。
- メンテナンスキット(定期交換部品)を交換しない場合は、耐用印刷ページ数が50万ページになります。
- 本製品は国際エネルギースタープログラムバージョン3.0に対応のため、プリンタードライバーの「両面印刷」の初期設定は[長辺とじ]になっています。
主に片面印刷でお使いになる場合は、プリンタードライバーの[基本設定]タブにある「両面印刷」の設定を[オフ]に変更してお使いください。

サプライ品(消耗品)について

トナーカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正品のご使用をお奨めします。

富士通プリンターは、純正のトナーカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。

非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。

なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

詳しくは、[サプライ品一覧 \(11-15ページ\)](#)をご覧ください。

定期交換部品の交換時期の目安について

詳しくは、[定期交換部品について \(11-13ページ\)](#)をご覧ください。

サポートOSについて

本製品がサポートしているOS は、Windows 11/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016/Windows 10です。

プリンタードライバーのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタードライバーのバージョンをお聞きする場合があります。



プリンタードライバーのバージョンをご確認の上、お問い合わせください。



最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。

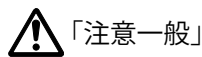
本書中の注意表示について

本書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

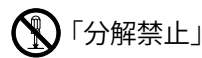
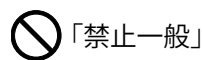
-  **警告:**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意:**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

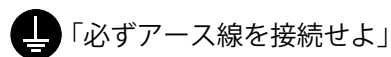
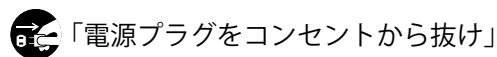
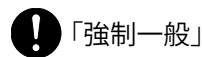
△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

電源・電源周波数	AC100V±10% (最小90V、最大110V)、50/60Hz±2% 矩形波が出力される電源機器には接続しないでください。故障する場合があります。
定格電流	11.5A
使用環境条件	<p>温度：10～32.5℃、湿度：10～80%RH (推奨用紙使用時)</p> <p>温度32.5℃のときは、湿度70%RH以下、湿度80%RH前後のときは、温度30℃以下で使用してください (ただし、結露しないこと)。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、十分にプリンターの性能を発揮できない場合があります。</p> <p>冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。</p>

また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

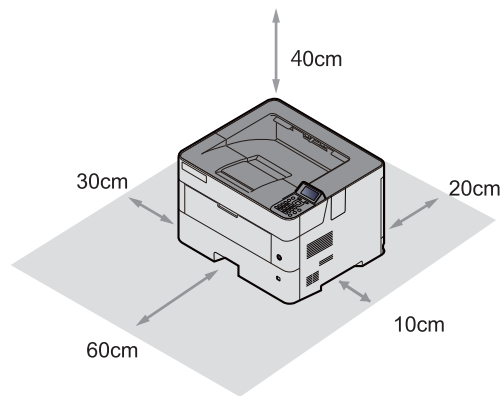
本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の良い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

設置スペース

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。

壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。

プリンターの通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンターの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンターを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水をご使用ください。

取り扱い上のご注意

消耗品の取り扱いについて



注意

トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃の中をうすめ、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。
- トナーカートリッジは、本製品専用の純正品のご使用をお奨めします。
富士通プリンターは、純正のトナーカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。
非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

トナーカートリッジは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用済みのトナーカートリッジや廃棄トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービス([1-6ページ](#))をご利用ください。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

トナーが眼や口に入らないように注意してください。トナーカートリッジや廃棄トナーボックスの交換時などにトナーが手についた場合は、すみやかに洗い落としてください。万一、眼や口に入った場合は、直ちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子様トナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かないところに置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。

「エコ受付センター」までご連絡ください。

- エコ受付センター
通話料無料:0120-300-693
受付時間:月曜日～金曜日8:40～12:00および13:00～17:30(土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)
- プリンタ消耗品無償回収サービス
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows ServerおよびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Inc. (アドビ株式会社)の商標です。
- AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Monotype、Helvetica Palatino、TimesおよびUFSTは米国特許商標庁に登録されているMonotype Imaging Inc.の商標であり、その他の国や地域でも登録されている場合があります。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Chancery、ITC Zapf Dingbatsは米国特許商標庁に登録されているMonotype ITC Inc.の商標であり、その他の国や地域でも登録されている場合があります。
- MTHSGOTHIC-W5とMTHSMINCHO-W3はMonotype Imaging Inc.よりライセンスしている平成書体です。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からライセンスしたUFST™フォントラスターライザーおよびMicroType®フォントを搭載しています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、Independent JPEG Groupのソフトウェアが含まれています。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
"Multilingual Advanced Wnn" © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2005-2012 All Rights Reserved
- iPad、iPhone、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴはApple Inc.の商標です。
- iOSはCiscoの米国およびその他の国の商標または登録商標であり、Apple Inc.がライセンスに基づき使用しています。
- プリスクライブ、PRESCRIBE、KPDLLは、京セラ株式会社の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Directは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTMおよび®は明記していません。

Copyright Fujitsu Limited 2023-2024

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL (<https://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) もしくはLGPL (<https://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、<https://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/>にアクセスしてください。

OpenSSLライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<https://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナルSSLeyライセンス

以下は英語の原文です。

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Monotype Imagingライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号(「タイプフェイス」)のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。

8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。

いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。

9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよびまたはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「スリープ」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。

➔ [スリープとオートスリープ \(2-33ページ\)](#)

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。

➔ [両面 \(6-2ページ\)](#)

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にもつながります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

本製品では、PPC用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。

一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけ印刷確認済みの用紙の推奨用紙をご使用ください。

➔ [推奨用紙 \(11-16ページ\)](#)

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のまま使用されることをお勧めします。

無線LAN使用時のご注意

(プリンタ無線LANカード:オプション)

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するかまたは電波の発信を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お問い合わせ窓口([11-33ページ](#))へお問い合わせください。

電波の種類と干渉距離

(プリンタ無線LANカード:オプション)

2.4 DS4/OF4

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

「DS」:変調方式がDS-SS方式であることを表す。(IEEE802.11bのとき)

「OF」:変調方式がOFDM方式であることを表す。(IEEE802.11g/nのとき)

「4」:想定される与干渉距離が40 m以下であることを表す。

「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線LAN使用時のセキュリティーに関するご注意

(プリンタ無線LANカード:オプション)

無線LANでは、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下のような通信内容を盗み見られる可能性があります。

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような不正な行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

本製品の使用限定

(プリンタ無線LANカード:オプション)

- 本製品から発信する電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品から発信する電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器の指示や注意に従ってご使用ください。

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェイルセーフ設計や冗長性設計の対応をとるなど、システム全体の安全設計を考慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図していませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様ご自身で十分ご確認の上、ご判断ください。

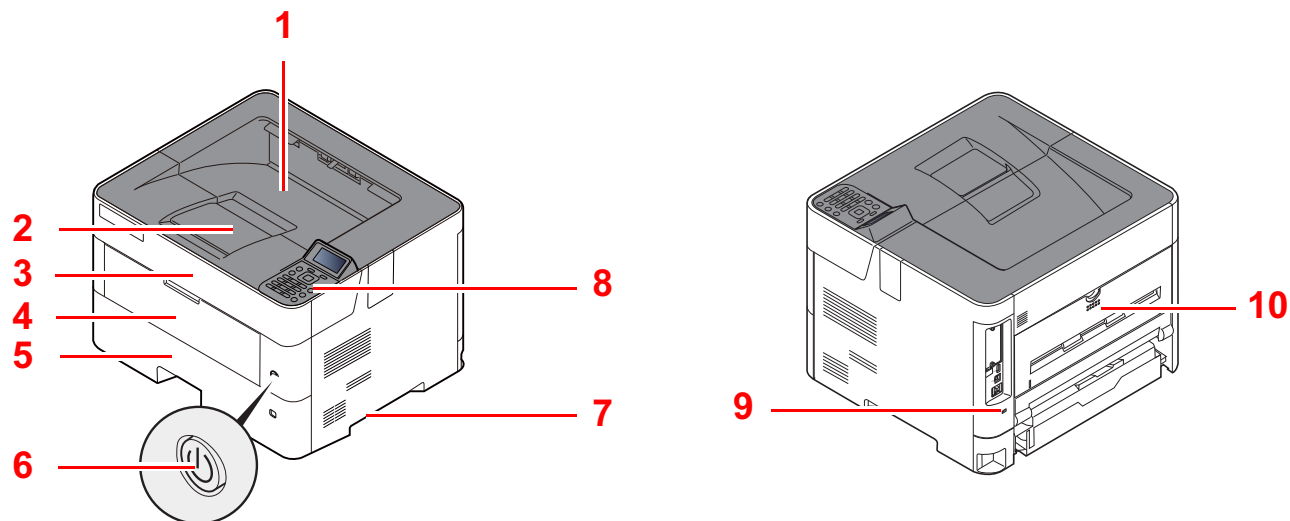
2 設置と機械のセットアップ

この章では、各部の名称、ケーブルの接続、ソフトウェアのインストールなど、本機の管理者用の情報について説明しています。

各部の名称	2-2
本体外観	2-2
コネクタ・内部	2-3
オプション装着時	2-4
本機とその他デバイスを接続する	2-5
ケーブルの接続	2-6
ネットワークケーブルの接続	2-6
USBケーブルの接続	2-7
電源コードの接続	2-7
電源の入/切	2-9
電源を入れる	2-9
電源を切る	2-9
操作パネルの使いかた	2-10
操作パネルキー	2-10
操作方法	2-11
ヘルプ画面の使いかた	2-12
ログイン・ログアウト	2-13
ログイン	2-13
ログアウト	2-14
機械の初期設定について	2-15
日付と時刻の設定	2-15
ネットワークを設定する	2-16
有線でネットワークを設定する	2-16
オプションネットワークを設定する	2-18
ワイヤレスネットワークを設定する	2-20
Wi-Fiダイレクトを設定する	2-25
ソフトウェアをインストールする	2-26
収録ソフトウェア	2-26
Windowsにソフトウェアをインストールする	2-26
ソフトウェアをアンインストールする	2-31
省エネ機能について	2-33
スリープとオートスリープ	2-33
管理者に準備していただきたいこと	2-35
セキュリティーを強化するには	2-35
Fujitsu Printer Internet Serviceとは	2-36
Fujitsu Printer Internet Service へアクセスする	2-37
セキュリティー設定を変更する	2-38
デバイス情報を変更する	2-39
メール設定	2-40

各部の名称

本体外観



1 上トレイ

2 排紙ストッパー

3 上カバー

4 前カバー

5 カセット1

6 電源スイッチ

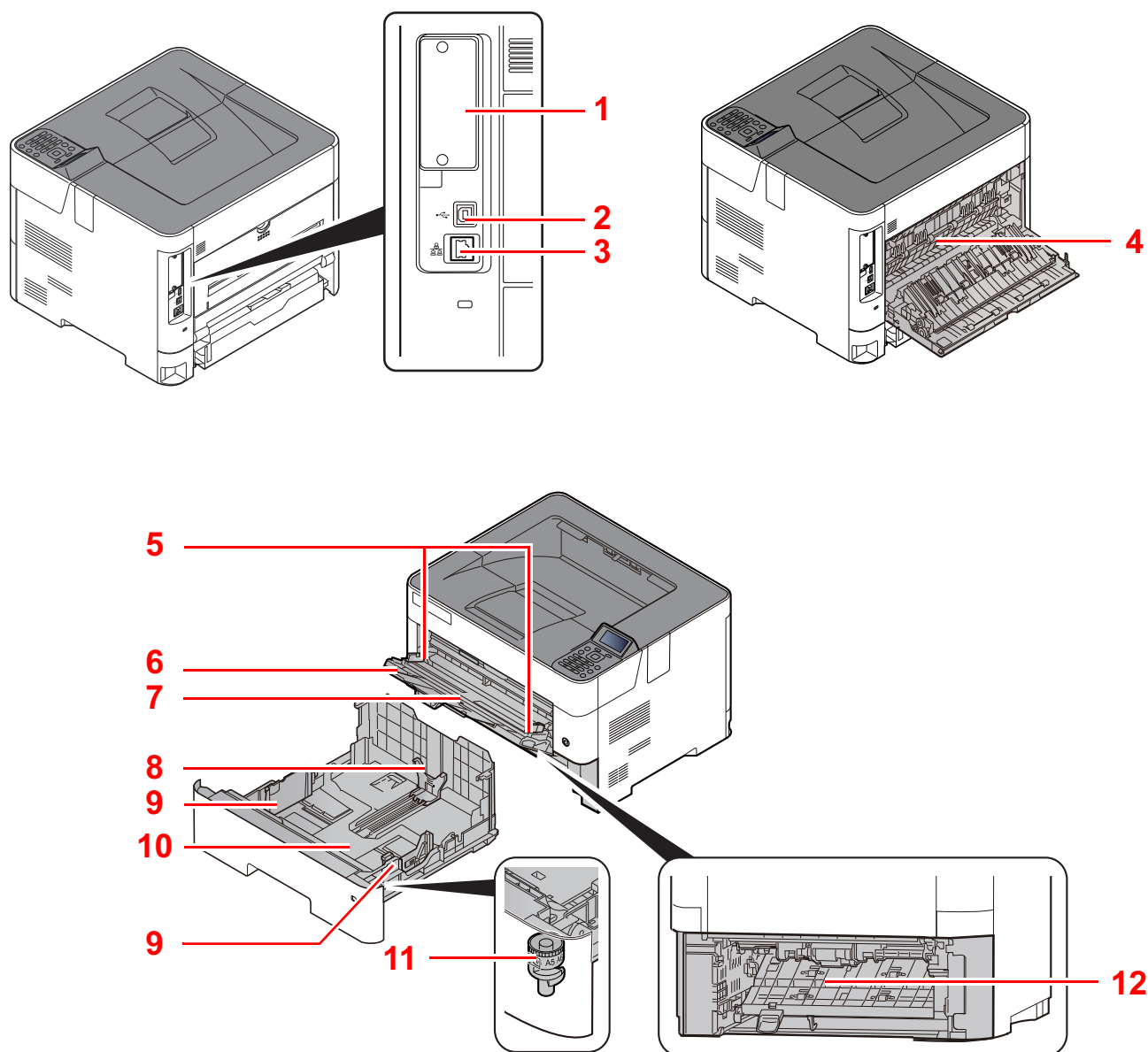
7 搬送用取手

8 操作パネル

9 盗難防止ロック用スロット

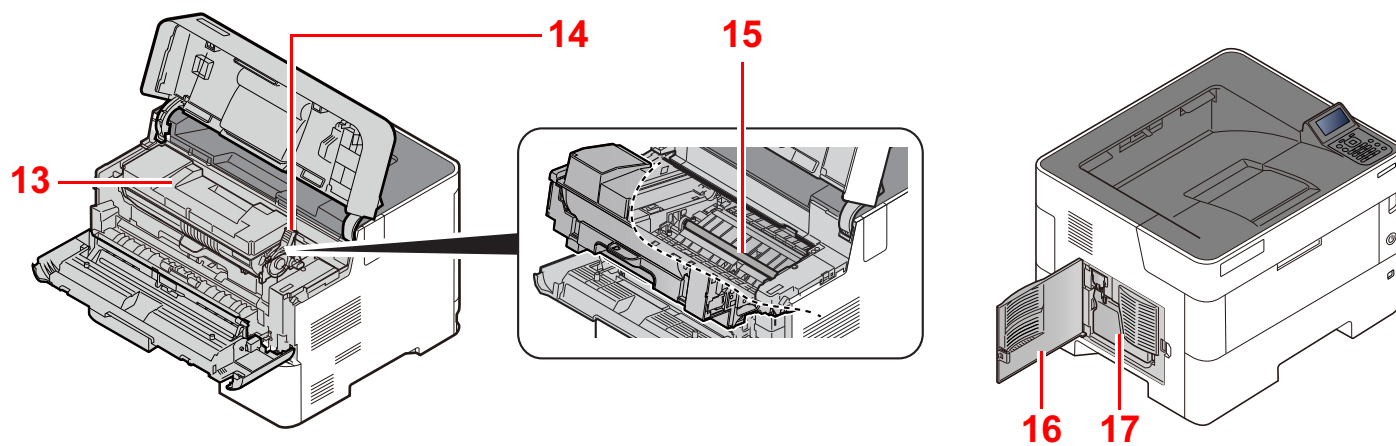
10 後ろカバー

コネクター・内部



- 1 オプションインターフェイス
- 2 USBインターフェイスコネクター
- 3 ネットワークインターフェイスコネクター
- 4 定着カバー
- 5 用紙ガイド
- 6 手差し補助トレイ

- 7 手差しトレイ
- 8 用紙長さガイド
- 9 用紙幅ガイド
- 10 底板
- 11 サイズダイヤル
- 12 両面カバー



13 トナーカートリッジ

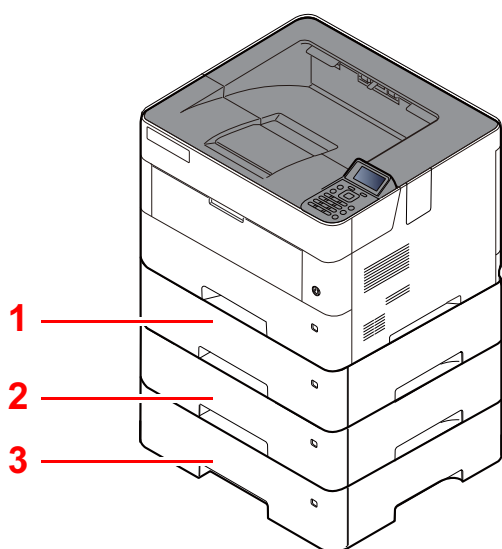
14 トナーカートリッジロックレバー

15 レジストローラー

16 左カバー

17 廃棄トナーボックス

オプション装着時



1 カセット2

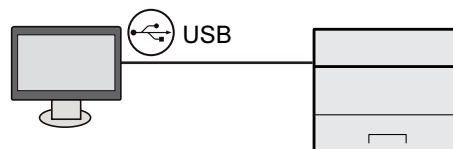
2 カセット3

3 カセット4

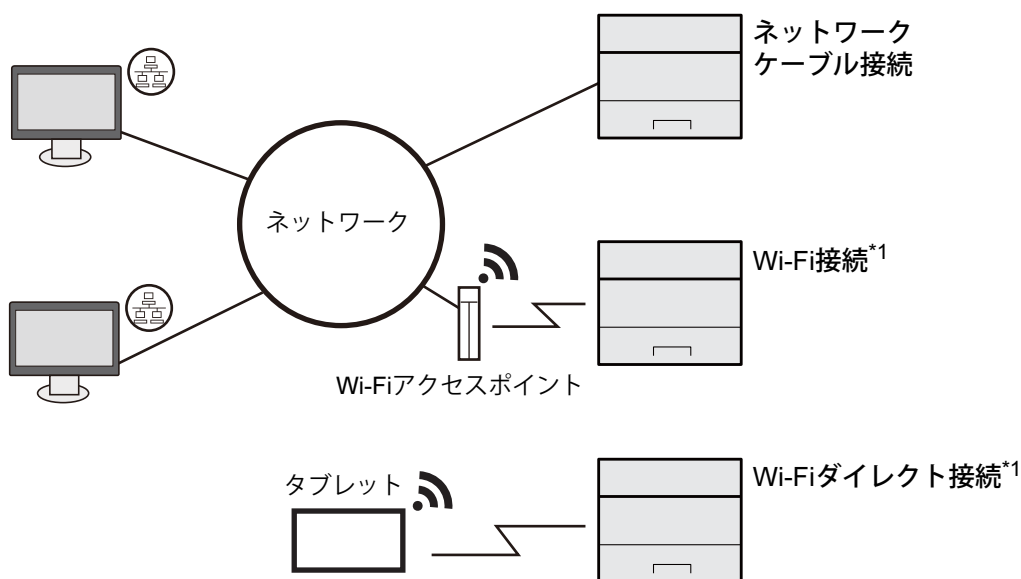
本機とその他デバイスを接続する

本機を使用する目的や環境に合わせて必要なケーブルを用意してください。

本機とパソコンをUSBで接続する場合



本機とパソコンやタブレットをネットワークケーブル、Wi-Fi、Wi-Fiダイレクトで接続する場合



*1 オプションのプリンタ無線LANカードを装着している場合

参考

無線LANをご使用になる場合は、次を参照してください。

➔ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-20ページ\)](#)

使用できるケーブル

接続環境	使用できる機能	必要なケーブル
本機をネットワークケーブルで接続する	プリンター	ネットワークケーブル(10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T)
本機をUSBケーブルで接続する	プリンター	USB2.0 適合ケーブル ➔ オプションについて (11-2ページ)

重要

USB2.0適合ケーブルを使用しない場合、故障の原因となります。

ケーブルの接続

ネットワークケーブルの接続

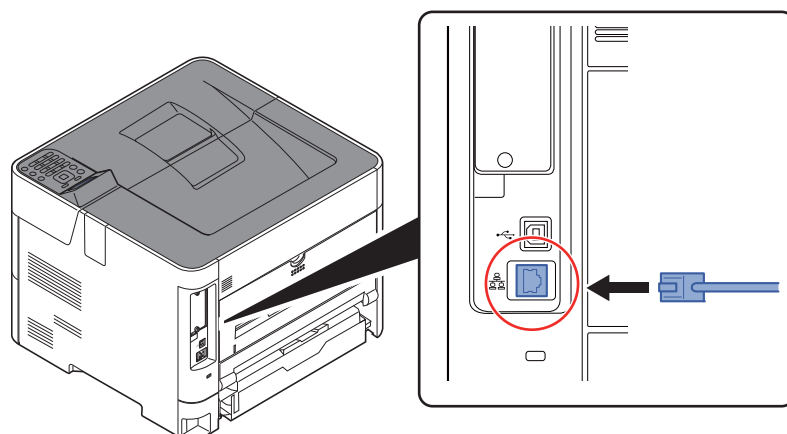
☑ **重要**

電源が入っている場合は、電源を切ってください。

➔ [電源を切る \(2-9ページ\)](#)

1 接続する

- 1 ネットワークインターフェイスコネクタに、ネットワークケーブルを接続します。



- 2 ケーブルのもう一方を、HUB (集線装置) に接続します。

2 本機の電源を入れて、ネットワークを設定する

➔ [ネットワークを設定する \(2-16ページ\)](#)

USBケーブルの接続

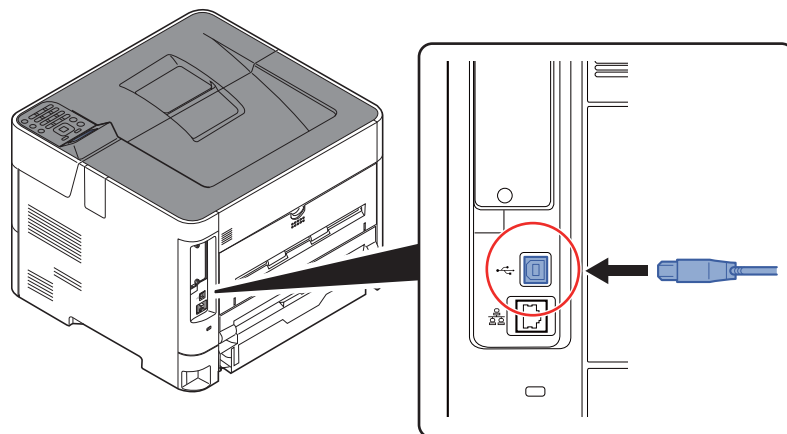
✔ **重要**

電源が入っている場合は、電源を切ってください。

➔ [電源を切る \(2-9ページ\)](#)

1 接続する

- 1 本体左側のUSBインターフェイスコネクタに、USBケーブルを接続します。



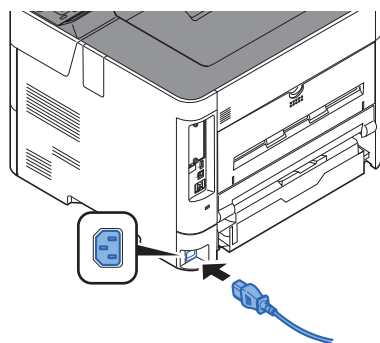
- 2 ケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

2 本体の電源を入れる

電源コードの接続

1 接続する

付属の電源コードを本機に接続し、もう一方をコンセントに接続してください。



✔ **重要**

- 電源コードは、奥までしっかり差し込んでください。給紙カセットを抜き差しするときなどに電源コードが抜ける原因になります。
- 給紙カセットを延長してお使いの場合は、電源コードがカセットに接触しないように注意してください。



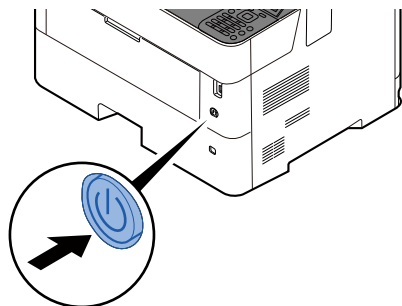
警告

- 添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。
- テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。

電源の入/切

電源を入れる

1 電源スイッチを押す



☑ 重要

電源を入れ直す場合は、5秒以上あけて電源を入れてください。

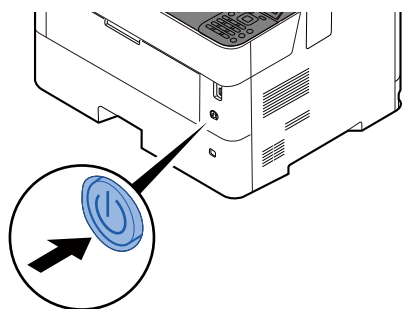
💡 参考

次のような場合は、印刷可能状態になるまで約5分の時間がかかりますが、そのまましばらくお待ちください。

- 電源投入時または、スリープ復帰時のウォームアップ中に本機内の温度/湿度センサーが、ドラム表面の結露を検知しドラム表面のリフレッシュ動作を行う場合
- 新しいトナーカートリッジをセットした際に、トナーインストール動作が行われる場合

電源を切る

1 電源スイッチを押す



電源が切れるまでに約3分かかる場合があります。

⚠ 注意


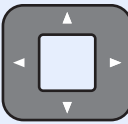


夜間などで長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休などで長期間、本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

☑ 重要

用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して保管袋に入れて密封保管してください。

操作パネルの使いかた

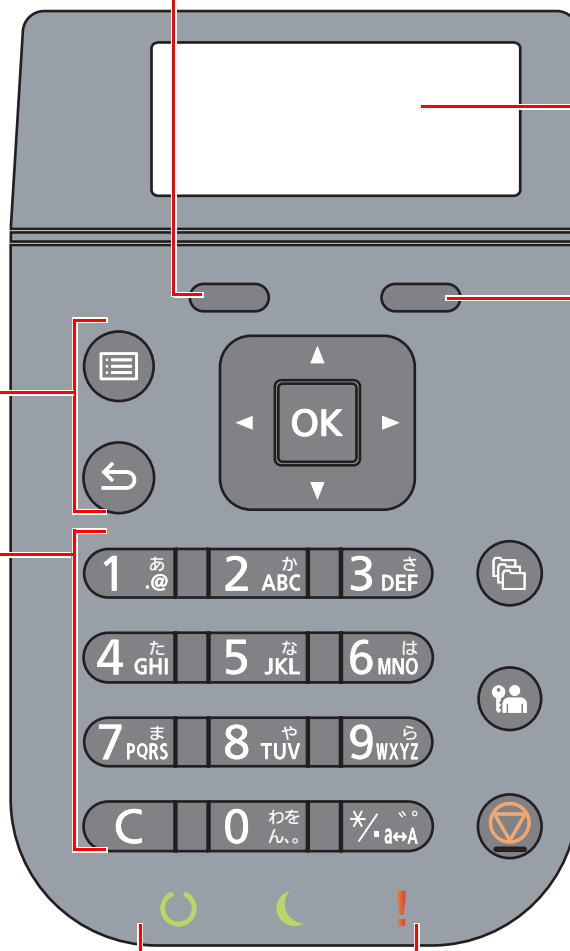
操作パネルキー





	[メニュー]キー メニュー画面を表示します。
	メッセージディスプレイで数値を増減させたり、メニューを選択します。また、文字を入力するとき、カーソルを移動させます。
	[OK]キー 入力された機能やメニュー、または数値を確定します。 スリープ中は、スリープを解除します。
	[戻る]キー 1つ上の階層のメニューに戻ります。




選択キー：
メッセージディスプレイの下部に表示されたメニューを選択します。

メッセージディスプレイ：
設定項目や機器の状態、エラーメッセージを表示します。

選択キー：
メッセージディスプレイの下部に表示されたメニューを選択します。



	テンキー 数字や記号を入力します。
	[文書ボックス]キー 文書ボックス画面を表示します。
	[ログアウト]キー ユーザー管理機能の操作を終了(ログアウト)します。
	[キャンセル]キー 動作中のジョブを中止、または一時停止します。 「スリープ中です。」と表示されている場合は、[OK]キーを押しスリープを解除してから、[キャンセル]キーを押してください。

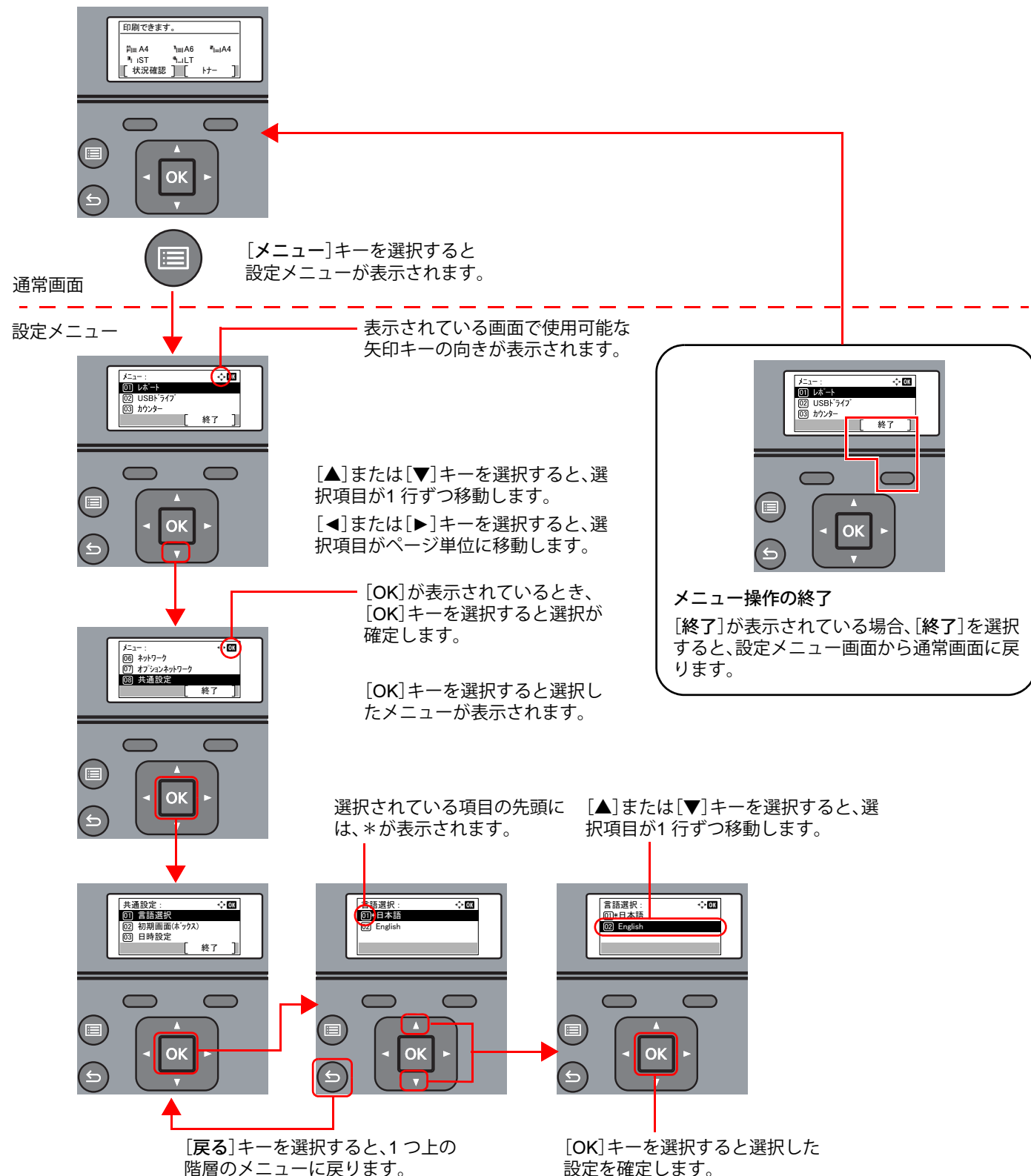
	印刷可能な状態のとき、点灯します。 印刷処理中、またはエラーが発生したとき、点滅します。
	省電力モードのとき点灯します。
	エラーランプ エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。

操作方法

ここでは、設定メニューの操作方法について説明します。

メニューの表示と設定のしかた

[メニュー]キーを選択すると設定メニューが表示されます。[▲]キー、[▼]キー、[◀]キー、[▶]キー、[OK]キーまたは[戻る]キーを選択してメニューを選択し、設定を実行します。



ヘルプ画面の使いかた

操作に困ったときは、操作パネルで使いかたを確認できます。

[ヘルプ]が表示されているとき、[ヘルプ]を選択するとヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では本機の操作方法が表示されます。



[▼]キーを選択すると次の手順が、[▲]キーを選択すると前の手順が表示されます。

[OK]キーを選択するとヘルプ画面は終了します。

ログイン・ログアウト

管理者権限が必要な機能を設定する場合またはユーザー管理が有効になっている場合、ログインユーザー名とログインパスワードが必要になります。

参考

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

ログインユーザー名またはログインパスワードを忘れた場合はログインできません。機器管理者の権限でログインし、ログインユーザー名またはログインパスワードを変更してください。

▶ [ユーザー情報の変更 \(9-4ページ\)](#)

ログイン

1 ログインユーザー名を入力する

- 1 操作中にログイン画面が表示された場合、「ログインユーザー名」を選択して、[OK] キーを選択します。

参考

- ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、[メニュー]が表示されます。[メニュー]を選択して、[認証方法]を選択すると、認証先に[ローカル認証]または[ネットワーク認証]を選択することができます。管理者でログインする場合は、[メニュー] > [認証方法]で[ローカル認証]を選択してログインしてください。
- [メニュー]を選択して、[ドメイン]を選択すると、登録されているドメインを選択することができます。

- 2 テンキーを使って、ログインユーザー名を入力して、[OK] キーを選択します。

▶ [文字の入力方法 \(11-17ページ\)](#)

2 ログインパスワードを入力する

- 1 「ログインパスワード」を選択して、[OK] キーを選択します。
- 2 テンキーを使って、ログインパスワードを入力して、[OK] キーを選択します。

▶ [文字の入力方法 \(11-17ページ\)](#)

3 [ログイン]を選択する

ログアウト



ログアウトするときは、[ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります(ユーザー管理がオンの状態で、ログイン状態の場合のみに有効です)。

また、次の状態のときも自動でログアウトします。

- スリープ状態になったとき
- オートパネルリセットが働いたとき

機械の初期設定について

本機を使用する前に、日付・時刻、ネットワークの設定、省エネ機能など、必要な設定を行ってください。

参考

本機の初期設定値は、システムメニューで変更することができます。
システムメニューで設定できる項目については、次を参照してください。

▶ [システムメニュー \(8-1ページ\)](#)

日付と時刻の設定

本機に、設置場所の日付と時刻を設定します。

本機の送信機能からメールを送ると、本機に設定されている日付と時刻がメールのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT (世界標準時) からのタイムゾーンを設定してください。

参考

- ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
- ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。
ログインユーザー名: 4000
ログインパスワード: 4000
- 日付/時刻を設定する前に、必ずタイムゾーンを設定してください。
- ネットワーク上の時刻サーバーを利用して時刻を取得し、定期的に正確な時刻が設定できます。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [タイムゾーン] > [OK]キー > タイムゾーンを選択 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日付] > [OK]キー > 日付を設定 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [時刻] > [OK]キー > 時刻を設定 > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日付形式] > [OK]キー > 日付形式を選択 > [OK]キー

項目	説明
タイムゾーン	GMT (世界標準時) からのタイムゾーンを設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付	設置場所の日付を設定します。 設定値: 年 (2000~2035)、月 (1~12)、日 (1~31)
時刻	設置場所の時刻を設定します。 設定値: 時 (00~23)、分 (00~59)、秒 (00~59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

参考

[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

ネットワークを設定する

有線でネットワークを設定する

本機はネットワークインターフェイスを標準装備しており、TCP/IP (IPv4)、TCP/IP (IPv6)、NetBEUIおよびIPSecをサポートしています。

ここでは、TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときの設定を行います。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本体操作パネルからの設定	システムメニューから設定できます。	TCP/IP (IPv4)を設定する (2-16ページ)
ウェブページからの設定	標準のネットワークインターフェイスの場合はFujitsu Printer Internet Serviceから設定できます。	Fujitsu Printer Internet Service使用説明書

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

▶ [ネットワークケーブルの接続 \(2-6ページ\)](#)

ネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

▶ [ネットワーク \(8-12ページ\)](#)

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000
 ログインパスワード: 4000

TCP/IP (IPv4)を設定する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [有線ネットワーク設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [TCP/IP設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [IPv4設定] > [OK]キー

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

1 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

固定IPを設定する場合

- 1 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定しない] > [OK]キー
- 2 [▲][▼]キー > [IPアドレス] > [OK]キー
- 3 IPアドレスを入力します。

参考

入力できるIPアドレスは次のとおりです。

IPアドレス:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

- 4 [OK]キーを選択します。
- 5 [▲][▼]キー > [サブネットマスク] > [OK]キー
- 6 サブネットマスクを入力します。

参考

入力できるサブネットマスクは次のとおりです。

サブネットマスク:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

- 7 [OK]キーを選択します。
- 8 [▲][▼]キー > [デフォルトゲートウェイ] > [OK]キー
- 9 デフォルトゲートウェイを入力します。

参考

入力できるデフォルトゲートウェイは次のとおりです。

デフォルトゲートウェイ:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

- 10 [OK]キーを選択します。
- 11 [▲][▼]キー > [Auto-IP] > [OK]キー
- 12 [設定しない] > [OK]キー

DNSサーバーを設定する場合

次の場合は、DNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を[使用しない]でホスト名を使用する場合
- DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合

- 1 [▲][▼]キー > [DNSサーバー] > [OK]キー
- 2 [▲][▼]キー > [自動(DHCP)] または [Manual] > [OK]キー
[Manual]を選択した場合
「プライマリーサーバー」と「セカンダリーサーバー」を入力してください。



参考

入力できるプライマリーサーバーとセカンダリーサーバーは次のとおりです。
 プライマリーサーバー:000~255
 セカンダリーサーバー:000~255
 テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。
 [◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。



重要

設定変更後にシステムメニューからネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

➔ [ネットワークの再起動 \(8-22ページ\)](#)



参考

設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に依頼してあらかじめ準備しておいてください。
 以下の場合、Fujitsu Printer Internet ServiceでDNSサーバーのIPアドレスを設定してください。

- 「DHCP」設定を[設定しない]でホスト名を使用する場合
 - DHCPから自動的に付与されるDNSサーバーのIPアドレス以外のDNSサーバーを使用する場合
- DNSサーバーのIPアドレスの設定については、次を参照してください。

➔ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

オプションネットワークを設定する

オプションのプリンタLANカードを本機に装着した場合の、ネットワークの設定方法を説明します。

ここでは、TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときの設定を行います。

次の設定方法があります。

設定方法	説明	参照ページ
本体操作パネルからの設定	システムメニューから設定できます。	TCP/IP (IPv4) を設定する (2-19ページ)

設定前に、ネットワークケーブルを確実に接続してください。

オプションのプリンタLANカードの装着時は、オプションのプリンタLANカードのネットワークインターフェイスコネクタにネットワークケーブルを接続してください。

オプションネットワークのその他の設定については、次を参照してください。

➔ [オプションネットワーク \(8-22ページ\)](#)



参考

- ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。
 ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- オプションのプリンタLANカードおよびプリンタ無線LANカードを装着して、有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク」で適切な設定値に変更してください。

➔ [優先ネットワーク \(8-22ページ\)](#)

TCP/IP (IPv4)を設定する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプションネットワーク] > [OK]キー > [基本設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [TCP/IP設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [IPv4設定] > [OK]キー

2 設定する

DHCPサーバーを使用する場合

1 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

固定IPを設定する場合

1 [▲][▼]キー > [DHCP] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定しない] > [OK]キー

2 [▲][▼]キー > [IPアドレス] > [OK]キー

3 IPアドレスを入力します。



参考

入力できるIPアドレスは次のとおりです。

IPアドレス:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

4 [OK]キーを選択します。

5 [▲][▼]キー > [サブネットマスク] > [OK]キー

6 サブネットマスクを入力します。



参考

入力できるサブネットマスクは次のとおりです。

サブネットマスク:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

7 [OK]キーを選択します。

8 [▲][▼]キー > [デフォルトゲートウェイ] > [OK]キー

9 デフォルトゲートウェイを入力します。



参考

入力できるデフォルトゲートウェイは次のとおりです。

デフォルトゲートウェイ:000~255

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

[◀]または[▶]キーを選択すると、入力位置が左右に移動して、ハイライト表示されます。

10 [OK]キーを選択します。

11 [▲][▼]キー > [Auto-IP] > [OK]キー

12 [設定しない] > [OK]キー

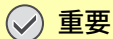


重要

設定変更後に、[システムメニュー] > [オプションネットワーク] > [基本設定] > [ネットワークの再起動]からネットワークの再起動を行うか、電源のOFF/ONを行います。

▶ [基本設定 \(8-22ページ\)](#)

ワイヤレスネットワークを設定する



重要

ソフトウェアはFujitsu Printerプリンタユーティリティに格納されています。ドライバダウンロードページよりダウンロードしてご準備ください。

https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

「プリンタ(ドライバ)」-「Fujitsu Printer XLシリーズ、FMPRシリーズ」を選択した後に表示されるダウンロード検索ページで、型名(XL-8400)、OS(お使いのOS)を指定してダウンロードしてください。

オプションのプリンタ無線LANカードを本機に装着して接続設定をすると、ワイヤレスネットワーク(無線LAN)環境で印刷および送信ができるようになります。

▶ [プリンタ無線LANカード XL-WLNMP \(11-3ページ\)](#)

次の設定方法があります。いずれかの方法でワイヤレスネットワークの初期設定を行ってください。

設定方法	説明	参照ページ
本機の操作パネルからの設定	システムメニューから接続設定をする場合は、Wi-Fi設定またはワイヤレスネットワークを使用します。	Wi-Fi設定 (8-13ページ)
Wi-Fiセットアップツールの使用	Fujitsu Printer プリンタユーティリティに収録されているツールです。ウィザードに従って設定できます。	Wi-Fi セットアップツールで接続の設定をする (2-21ページ)
ウェブページからの設定	Fujitsu Printer Internet Serviceから設定できます。	Fujitsu Printer Internet Service使用説明書



参考

オプションのプリンタLANカードおよびプリンタ無線LANカードを装着して、有線以外のネットワークインターフェイスに切り替えたい場合は、「優先ネットワーク」で適切な設定値に変更してください。

▶ [優先ネットワーク \(8-22ページ\)](#)

Wi-Fi セットアップ ツールで接続の設定をする

Wi-Fi セットアップツールからのWi-Fi設定情報を本機に送るために、本機とローカル接続をする必要があります。ローカル接続の方法として、有線接続と無線接続 (Wi-Fiダイレクト) の2つがあります。

参考

- Wi-Fiダイレクトを使用するには、Wi-Fiダイレクトで本機とコンピューターを接続する前に 操作パネルからWi-Fiダイレクトを有効([使用する]を選択)にし、ネットワークを再起動していることを確認してください。
- ネットワークケーブルを使って直接本機に接続すると、Auto-IPアドレス(リンクローカルアドレス)が本機とコンピューターに割り当てられます。本機は、初期値としてAuto-IPアドレスを適用します。
- 接続するパソコンがWPSに対応しているか確認してください。対応している場合、本機の操作パネルから設定を行ってください。

➔ [Wi-Fi設定 \(8-13ページ\)](#)

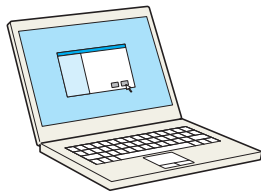
ネットワークケーブルを使用して有線で接続する

1 本機とパソコンを接続する

- 1 本機が起動している状態で、コンピューターと本機を直接ネットワークケーブルで接続します。
- 2 コンピューターの電源をオンにします。
本機とコンピューターのIPアドレス(リンクローカルアドレス)がそれぞれ自動的に生成されます。

2 ソフトウェアを任意のフォルダーにダウンロードし、[setup.exe]をダブルクリックする

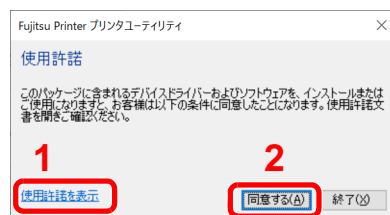
ソフトウェアは、Fujitsu Printer プリンタユーティリティに格納されています。



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

3 画面を表示する

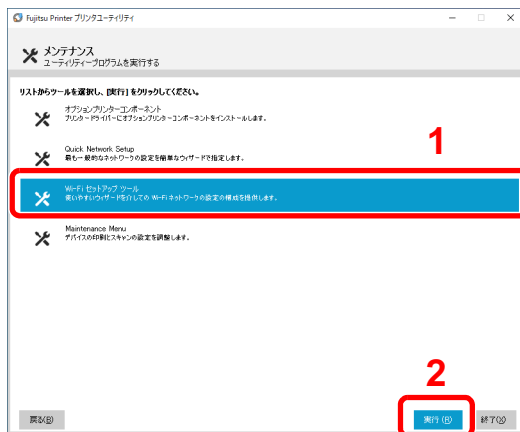


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

4 [メンテナンス]を選択する



5 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



6 設定する

1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]

2 [LANケーブル] > [次へ] > [次へ]

3 [簡単設定] > [次へ]

本機が検出されます。

参考

- Wi-Fiセットアップツールで本機を1台だけ検索できます。検索に時間がかかる場合があります。
- 本機が検出されない場合は、[戻る] > [詳細設定] > [次へ]の順に選択します。本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択し、検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。

4 本機を選択 > [次へ]

5 [ログインユーザー名]および[パスワード] (ともにAdmin)を入力 > [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択 > [次へ]を選択

6 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。

7 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]
ネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクトを使用して無線で接続する

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

3 ネットワークを再起動する

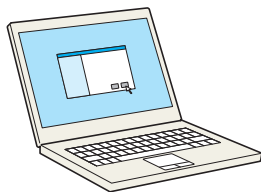
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

4 パソコンを本機に接続する

➔ [Wi-Fiダイレクトを設定する \(2-25ページ\)](#)

5 ソフトウェアを任意のフォルダーにダウンロードし、[setup.exe]をダブルクリックする

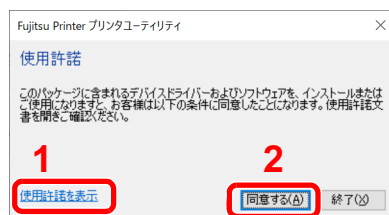
ソフトウェアは、Fujitsu Printer プリンタユーティリティに格納されています。



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

6 画面を表示する

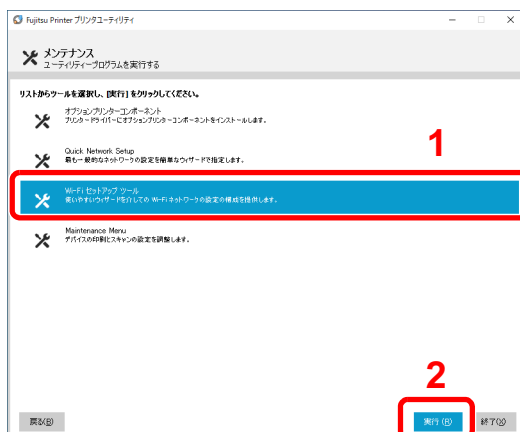


- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

7 [メンテナンス]を選択する



8 [Wi-Fi セットアップ ツール] > [実行]



9 設定する

- 1 [WPSを使用しません] > [次へ] > [次へ]
- 2 [Wi-Fi Direct] > [次へ] > [次へ]
- 3 [詳細設定] > [次へ]
- 4 本機の検出方法から[エクスプレス]または[カスタム]を選択します。検出方法としてIPアドレスやホスト名を指定することができます。
- 5 本機を選択 > [次へ]
- 6 [ログインユーザー名]および[パスワード] (ともにAdmin)を入力 > [認証モード]から[デバイス設定を使用します。]を選択 > [次へ]を選択
- 7 通信設定を行い、[次へ]をクリックします。
- 8 必要に応じてアクセスポイントの設定を変更 > [次へ]
- 9 ネットワークが設定されます。

Wi-Fiダイレクトを設定する

オプションのプリンタ無線LANカードを本機に装着して接続設定をすると、Wi-Fiダイレクト環境で印刷ができるようになります。本機と端末をWi-Fiダイレクトで接続したい場合は、次の手順で設定してください。ここでは、Windows 10に接続する場合を例に説明します。

1 本機の実操作パネルから接続の設定をする

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

3 ネットワークを再起動する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー > [はい]

4 [状況確認] > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト] > [OK]キー

5 [▲][▼]キー > [詳細情報] > [OK]キー

6 [◀][▶]キーでネットワーク名 (SSID)、パスワード、IPアドレスを確認し、メモする

2 端末から接続の設定をする

1 [設定] > [ネットワークとインターネット] > [Wi-Fi]

2 利用できるネットワークの表示から、手順6で表示されたネットワーク名 (SSID) を選択します。

3 [セキュリティキーを使用して接続] > 手順6でメモしたパスワードを入力 > [接続] 本機とパソコンのネットワークが設定されます。

📌 重要

Wi-Fiダイレクトで一度に接続できる端末は3台までです。Wi-Fiダイレクト対応の端末がすでに接続されているときに他の端末を接続したい場合は、先に接続された端末のネットワークを切断する必要があります。切断する方法は次のとおりです。

• 端末からネットワークを切断する

• 操作パネルですべて切断する

[Wi-Fiダイレクト]キー > [▲][▼]キー > [接続状況] > [OK]キー > [メニュー] > [▲][▼]キー > [すべて切断] > [OK]キー

• システムメニューから自動切断時間を設定する

➔ [Wi-Fiダイレクト設定 \(8-12ページ\)](#)

• Fujitsu Printer Internet Serviceから自動切断時間を設定する

➔ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

ソフトウェアをインストールする

本機でプリンター機能を使用する場合、Fujitsu Printer プリンタユーティリティから必要なソフトウェアをインストールします。

Fujitsu Printer プリンタユーティリティ(プリンタードライバー、ソフトウェア)はドライバダウンロードページよりダウンロードしてご準備ください。

https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

「プリンタ(ドライバ)」-「Fujitsu Printer XLシリーズ、FMPRシリーズ」を選択した後に表示されるダウンロード検索ページで、型名(XL-8400)、OS(お使いのOS)を指定してダウンロードしてください。

収録ソフトウェア

インストール方法は、[エクスプレスインストール]と[カスタムインストール]の2通りから選ぶことができます。[エクスプレスインストール]が標準のインストール方法になります。[エクスプレスインストール]でインストールされないものは、[カスタムインストール]でインストールしてください。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [カスタムインストールの場合 \(2-28ページ\)](#)

ソフトウェア	説明	エクスプレスインストール
プリンタードライバー	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。1つのドライバーで、複数のページ記述言語(PCL XLなど)をサポートします。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。	○
Status Monitor	本機の状態を監視し、報告するユーティリティです。	○
フォント(FONTS)	本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	○



参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

Windowsにソフトウェアをインストールする

エクスプレスインストールの場合

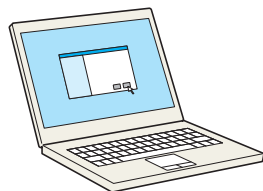
ここでは、Windows 10に[エクスプレスインストール]でインストールする場合を例に説明します。

[カスタムインストール]でのインストールについては、次を参照してください。

➔ [カスタムインストールの場合 \(2-28ページ\)](#)

- 1 ソフトウェアを任意のフォルダーにダウンロードし、[**setup.exe**]をダブルクリックする

ソフトウェアは、Fujitsu Printer プリンタユーティリティに格納されています。

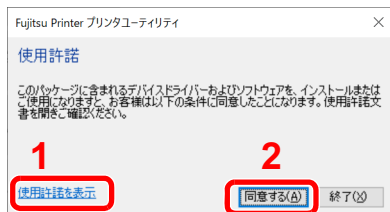




参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]をクリックしてください。

2 画面を表示する



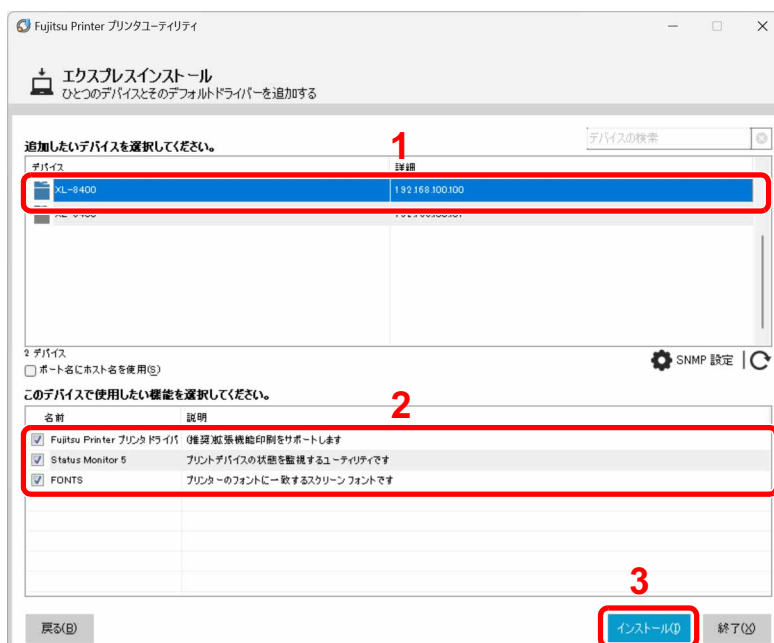
- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [エクスプレスインストール]を選択する



4 インストールする

[デバイス]には、IPアドレスごとにプリンターが表示されます。



本機のモデル名を選択します。[ポート名にホスト名を使用]を選択して、標準TCP/IPポートのホスト名を使用するように設定することもできます(USB接続は利用できません)。

[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

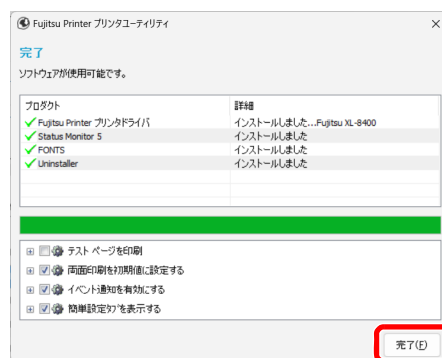
重要

Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、**C** (更新) をクリックしてください。
- Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックしてください。

5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了] をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

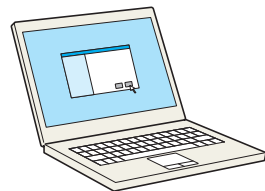
画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

カスタムインストールの場合

ここでは、Windows 10に[カスタムインストール]でインストールする場合を例に説明します。

1 ソフトウェアを任意のフォルダーにダウンロードし、[setup.exe]をダブルクリックする

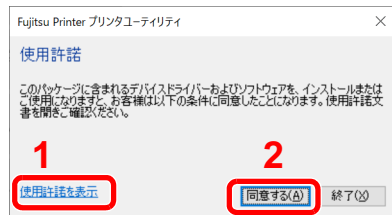
ソフトウェアは、Fujitsu Printer プリンタユーティリティに格納されています。



参考

- ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル] をクリックしてください。
- ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい] をクリックしてください。

2 画面を表示する



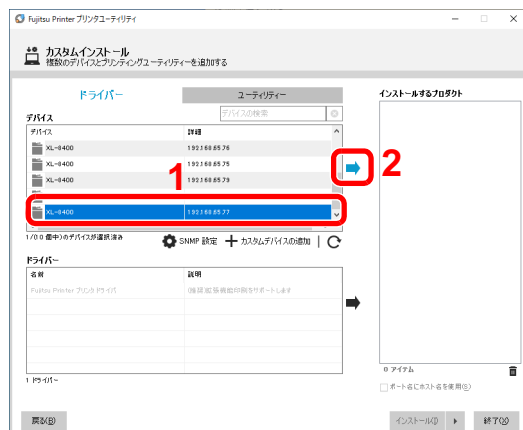
- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 [カスタムインストール]を選択する



4 インストールする

- 1 インストールするデバイスを選択します。



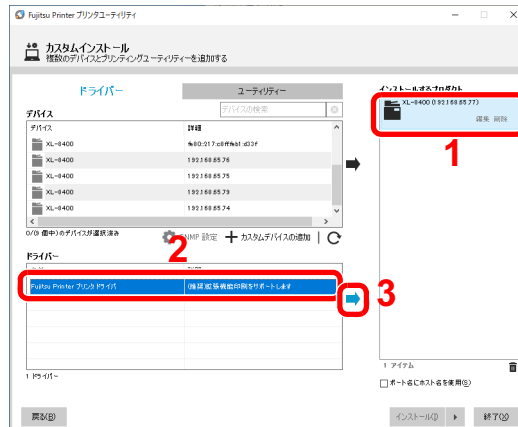
重要

Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトが使用できる状態に設定されている場合は、ポート名に必ずIPアドレスを指定ください。ホスト名を指定するとインストールが失敗することがあります。

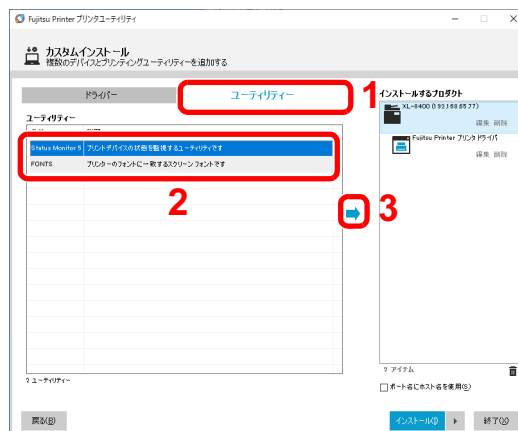
参考

- 本機の電源が切れている場合、本機は検出されません。本機が検出されない場合、本機とパソコンがネットワークまたはUSBケーブルで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、**C** (更新) をクリックしてください。
- 目的のデバイスが表示されないときは、[カスタムデバイスの追加] を選択して使用したいデバイスを直接選びます。

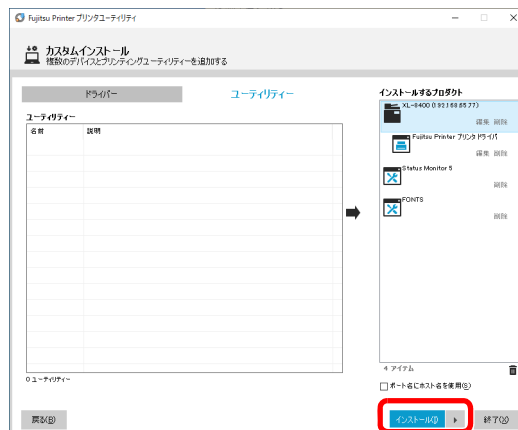
2 インストールするドライバーを選択します。



3 [ユーティリティ]タブをクリックして、インストールするユーティリティを選択します。

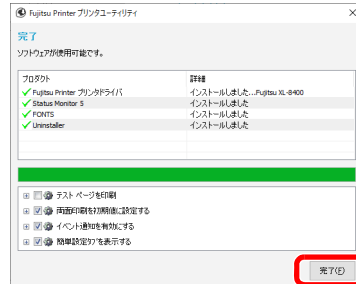


4 [インストール]をクリックします。



[インストール]をクリックすると、データ収集の協力をお願いする画面が表示されます。いずれかの回答を選択して、[OK]をクリックしてください。

5 インストールを終了する



「ソフトウェアが使用可能です。」と表示されたら、ソフトウェアを使用できます。テストページを印刷するには、「テストページを印刷」のチェックボックスをクリックし、本機を選択します。

[完了]をクリックすると、インストールウィザードは終了します。

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これで、ソフトウェアのインストール作業は終了です。

ソフトウェアをアンインストールする

Fujitsu Printer プリンタユーティリティでインストールしたソフトウェアを削除するときは、以下の手順で行ってください。

参考

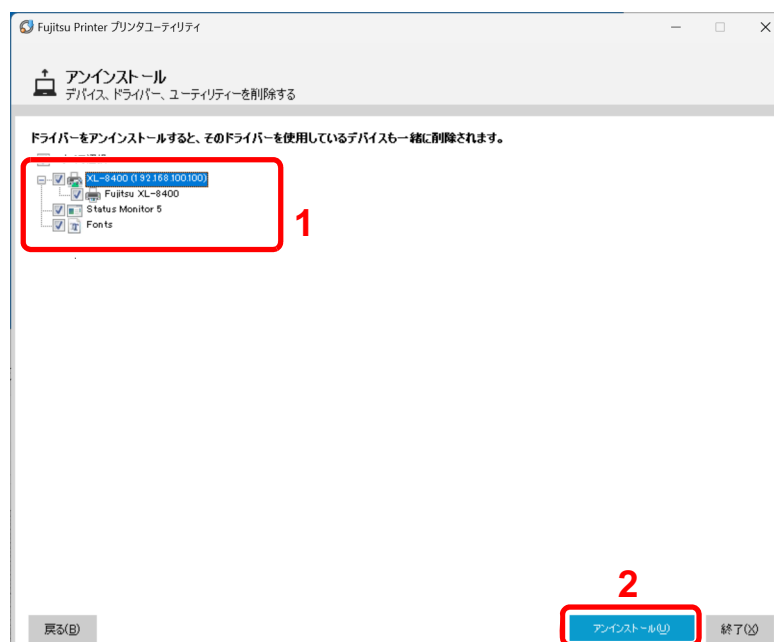
ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

1 画面を表示する

タスクバーから検索ボックスをクリック→検索欄に「コントロールパネル」と入力し、アプリを起動します。[プログラム]の[プログラムのアンインストール]を選択します。[Fujitsu Printer]を選択し、画面上部の[アンインストールと変更]を選択します。ソフトウェア アンインストールウィザードが表示されます。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れます。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。



参考

- ソフトウェアのアンインストールはFujitsu Printer プリンタユーティリティを使って行うことも可能です。
- Fujitsu Printer プリンタユーティリティの画面で[アンインストール]を選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

省エネ機能について

本機は、最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行します。

スリープとオートスリープ

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

オートスリープ

一定時間操作がないと自動でスリープ状態に切り替わる機能です。切り替わる時間は、工場出荷時で1分です。

本機を使用するときは、次の操作を行ってください。

- [OK]キーを選択する。

本機は18秒以内で再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

スリープ状態に切り替わる時間を設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [スリープ時間] > [OK]キー

2 設定する

- 1 スリープ時間を入力します。

参考

1～120分の間で設定できます。

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

- 2 [OK]キーを選択します。

スリープレベル(節電優先と復帰優先)

スリープは、節電優先と復帰優先の2つのモードに切り替えることができます。初期設定は、節電優先モードです。

節電優先とは、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できません。

参考

オプションのプリンタLANカードを装着している場合は、表示されません。

スリープレベルを選択して、各機能で節電優先を使用する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [スリープレベル設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [スリープレベル] > [OK]キー

2 スリープレベルを選択する

[▲][▼]キー > [復帰優先]または[節電優先] > [OK]キー

[節電優先]を設定した場合は、次の手順に進んで、機能別に節電優先モードに移行させるかどうかを設定してください。

3 スリープ条件を設定する







1 [▲][▼]キー > [状態] > [OK]キー

2 設定する機能を選択し、[OK]キーを選択します。

3 [▲][▼]キー > [使用しない]または[使用する] > [OK]キー

手順3-2と手順3-3を繰り返して他の機能についても設定します。

参考

- スリープ中に、「処理中」や「トナーが少なくなりました。」などの印刷可能な状態のエラーが発生した場合、操作パネルの  エラーランプは点灯/点滅せず、メッセージディスプレイには「スリープ中です。」と表示されます。警告表示の有無を確認する場合は、操作パネルの  [OK]キーを押し、スリープを解除してください。
- スリープの状態によらず、「紙づまり」や「トナーを交換してください」などの印刷できない状態のエラーが発生した場合、操作パネルの  エラーランプが点灯/点滅し、メッセージディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
- スリープ中、 [キャンセル]キーは無効です。スリープ中に印刷を中止する場合は、 [OK]キーを押しスリープを解除してから  [キャンセル]キーを押ししてください。

管理者に準備していただきたいこと

本機の管理者は、この章で説明していること以外に、下記の内容を確認の上必要な設定を行ってください。

セキュリティを強化するには

本機は、機器管理者の権限を持つユーザーと、管理者の権限を持つユーザーがそれぞれ1人工場出荷時に登録されています。このユーザーでログインすると、すべての設定が可能になりますので、ログインユーザー名やログインパスワードを変更してください。

強化したいこと	機能名	参照ページ
本機を使用するユーザーを制限したい	ユーザー管理	9-2ページ
本機を廃棄するとき、本機内のデータを完全に削除したい	セキュリティデータ消去	8-28ページ
傍受、盗聴から、通信内容を保護したい	IPP over SSL	8-19ページ
	HTTPS	8-19ページ
	SMTPセキュリティ	Fujitsu Printer Internet Service使用説明書参照
	POP3セキュリティ	Fujitsu Printer Internet Service使用説明書参照
	IPSec	8-16ページ
	SNMPv3	8-17ページ

参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

機器管理者

ユーザー名: DeviceAdmin
 ユーザー名(フリガナ): DeviceAdmin
 ログインユーザー名: 4000
 ログインパスワード: 4000
 アクセスレベル: 機器管理者

管理者

ユーザー名: Admin
 ユーザー名(フリガナ): Admin
 ログインユーザー名: Admin
 ログインパスワード: Admin
 アクセスレベル: 管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

▶ [ユーザー情報の変更 \(9-4ページ\)](#)

Fujitsu Printer Internet Serviceとは

本機をネットワークに接続してご使用の場合、Fujitsu Printer Internet Serviceを使用してさまざまな設定を行うことができます。

ここでは、Fujitsu Printer Internet Serviceへのアクセス手順と、セキュリティー設定、ホスト名の変更方法などについて説明します。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

参考

Fujitsu Printer Internet Serviceのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、すべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです（大文字・小文字は区別されます）。

ログインユーザー名： Admin

ログインパスワード： Admin

管理者と一般ユーザーがFujitsu Printer Internet Serviceで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明	管理者	一般ユーザー
デバイス情報	本機の構成を確認できます。	○	○
ジョブ状況	印刷およびジョブ履歴を含むすべてのデバイスのジョブ情報が表示されます。	○	○
文書ボックス	ジョブボックスの設定を行います。	○	-
デバイス設定	本機の詳細設定を行います。	○	-
機能設定	機能の詳細設定を行います。	○	-
ネットワーク設定	ネットワークの詳細設定を行います。	○	-
セキュリティー設定	セキュリティーの詳細設定を行います。	○	-
管理設定	管理の詳細設定を行います。	○	-

Fujitsu Printer Internet Service へアクセスする

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]

例) https://192.168.65.77/ (IPアドレスの場合)

https://MFP001 (ホスト名がMFP001の場合)



本機およびFujitsu Printer Internet Serviceに関する一般情報と現在の状態が、Webページに表示されます。

参考

「このWeb サイトのセキュリティ証明書には問題があります」の画面が表示された場合、証明書の設定をしてください。

▶ Fujitsu Printer Internet Service使用説明書

または、証明書を設定しないでこのまま続行することもできます。

2 設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。

参考

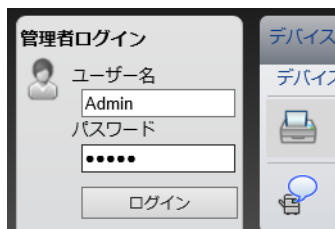
Fujitsu Printer Internet Serviceのすべてのページにアクセスするには、ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする必要があります。管理者権限を持つユーザーでログインすると、すべての操作が可能です。管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

セキュリティ設定を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです (大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

- 4 [セキュリティ設定]をクリックします。

2 設定する

[セキュリティ設定]メニューから設定したい項目を選択して、設定を行い、[設定]をクリックします。

給紙元	サイズ	種類	容量	状況
カセット1	A4	普通紙	550	30 %
カセット2	A4	普通紙	550	70 %
手差しトレイ	A4	普通紙	100	用紙あり



参考

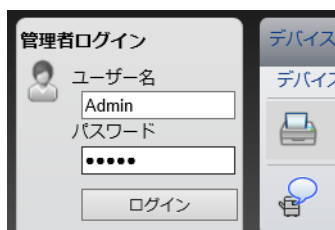
証明書に関する設定については、次を参照してください。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

デバイス情報を変更する

1 画面を表示する

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin

ログインパスワード: Admin

- 4 [デバイス設定]メニューの[システム]をクリックします。

2 設定する

デバイス情報を入力して、[設定]をクリックします。

ⓧ 重要

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

[管理設定]メニューの[リセット]をクリックし、「再起動」の[ネットワークの再起動]をクリックすることで、ネットワークインターフェイスカードの再起動ができます。

メール設定

SMTPを設定すると、ジョブが終了したことをメールで通知することができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、次の項目を設定してください。

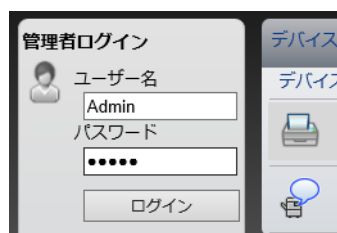
- SMTPの設定
設定項目:「SMTP」の「SMTPプロトコル」、「SMTPサーバー名」など
- 本機がメールを送信するときの差出人のアドレス
設定項目:「メール送信設定」の「差出人アドレス」
- メールサイズ制限の設定
設定項目:「メール送信設定」の「メール送信のサイズ制限」

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

SMTPプロトコルの画面を表示します。

- 1 Webブラウザを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
本機のIPアドレスまたはホスト名を確認するためにステータスページを印刷します。
[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ステータスページ] > [OK]キー > [はい]
- 3 管理者の権限でログインします。



管理者権限を持つデフォルトユーザーの工場出荷時の値は、次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

ログインユーザー名: Admin
ログインパスワード: Admin

4 [ネットワーク設定]メニューの[プロトコル]をクリックします。



2 設定する

「送信プロトコル」の「SMTP(メール送信)」で設定を[オン]にしてください。



3 [設定]をクリックする

4 画面を表示する

メール設定の画面を表示します。

[機能設定]メニューの[メール]をクリックします。



5 設定する

「SMTP」および「メール送信設定」の項目を入力します。

項目	説明
SMTP	本体からメールを送信するときに設定します。
SMTPプロトコル	SMTPプロトコルの設定を参照します。「SMTPプロトコル」の設定が[オン]になっているか確認してください。[オフ]の場合は、[プロトコル]をクリックして、SMTPプロトコルの設定を[オン]にしてください。
SMTPサーバー名*1	SMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25を使用します。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証をする場合、認証するユーザー情報を入力します。
SMTPセキュリティ	SMTPセキュリティーを設定します。「プロトコル」ページで「SMTP(メール送信)」の「SMTPセキュリティー」を設定してください。
接続確認	設定した内容が正しいかどうかをテストします。
ドメイン制限	ドメイン制限をする場合、[ドメインリスト]をクリックし、許可、または拒否する宛先のドメイン名を入力します。メールアドレスで指定することもできます。
POP3	本体からメールを送信する機能だけ使用する場合は、設定する必要はありません。本体でメールを受信する機能を使用する場合に設定します。 ▶ Fujitsu Printer Internet Service使用説明書
	POP3プロトコル
	着信チェック間隔
	直ちに実行
	ドメイン制限
	POP3ユーザー設定
メール送信設定	メール送信のサイズ制限
	差出人アドレス*1
	署名
	機能初期値

*1 入力が必要な項目です。

6 [設定]をクリックする

3 本機を使用する前に

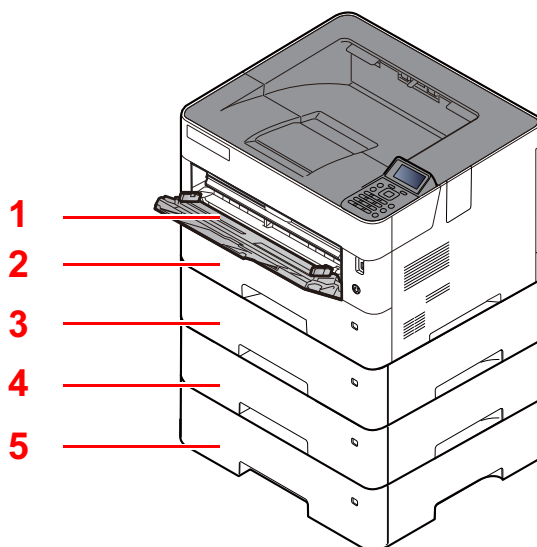
この章では、本機の基本的な操作について説明します。

用紙のセット	3-2
用紙の取り扱い上の注意	3-3
カセットにセットする	3-3
手差しトレイにセットする	3-7
用紙サイズと用紙種類の設定	3-10
排紙ストッパー	3-12

用紙のセット

カセットと手差しトレイに用紙をセットします。

各カセットへの補給方法は以下のページを参照してください。



番号	名称	参照先
1	手差しトレイ	3-7ページ
2	カセット1	3-3ページ
3	カセット2	3-3ページ
4	カセット3	3-3ページ
5	カセット4	3-3ページ

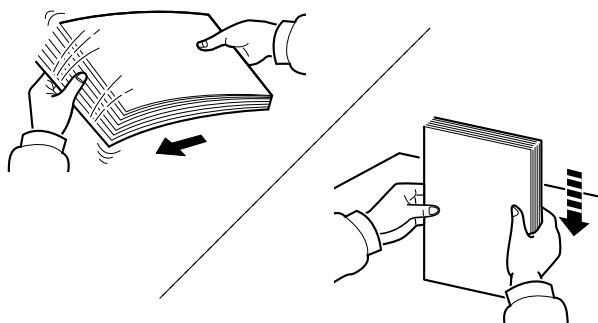
参考

- お使いの環境や用紙の種類(厚さ)によって、収納できる枚数は異なります。
- 異なるサイズ of 用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。また、手差しトレイについても、異なるサイズの用紙を同時にセットすることはできません。
- インクジェットプリンター用紙や表面に特殊な加工が施されている用紙は使用しないでください(紙づまりなど、故障の原因になる場合があります)。

➔ [用紙について \(11-21ページ\)](#)

用紙の取り扱い上の注意

包装紙から出した用紙は、カセットや手差しトレイにセットする前に、次の手順でさばいてください。



用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよくそろえてください。

さらに、下記にもご注意ください。

- 用紙に折れやカールなどがある場合は、まっすぐに伸ばしてください。折れやカールがあると、紙づまりの原因となります。
- 包装紙から出した用紙を高温高湿環境に放置すると、湿気でトラブルの原因となります。カセットに入れた残りの用紙は、用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しトレイに残った用紙も、保管袋に入れて密封保管してください。
- 本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るため、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。

カセットにセットする

カセットには、普通紙や再生紙、カラー紙を収納できます。

各カセットの収納枚数は以下のとおりです。

カセット	収納枚数
カセット1~4	550枚(普通紙:64 g/m ²)

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➔ [適正な用紙の選択 \(11-22ページ\)](#)



参考

A6、B6、往復はがきはカセット1のみ使用できます。

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➔ [用紙種類の設定について \(8-7ページ\)](#)

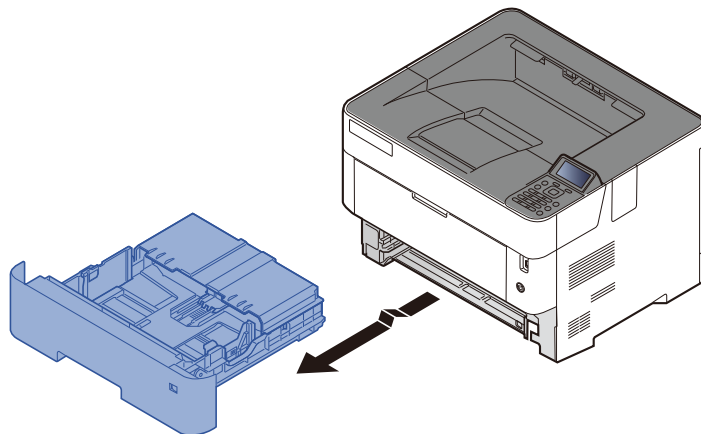


重要

カセットには、60~120 g/m²の用紙を収納できます。

カセットには120 g/m²より重い厚紙用紙を収納しないでください。120 g/m²より重い厚紙用紙は、手差しトレイを使用してください。

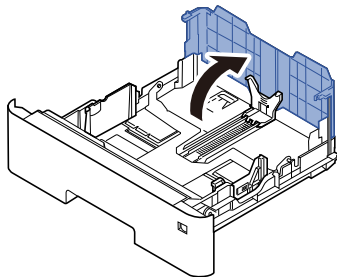
1 カセットを本機から引き出す



参考

カセットを引き出すときは、しっかり支えて落ちないようにしてください。

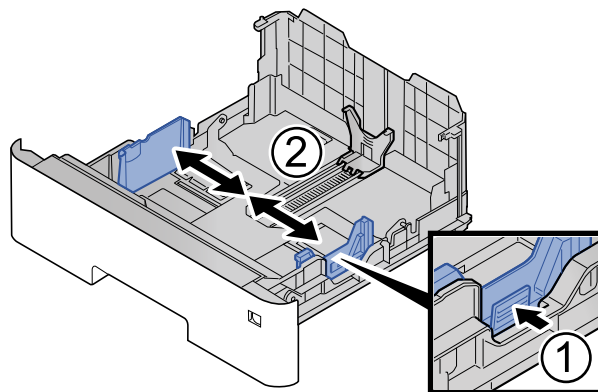
2 カセットカバーを開ける



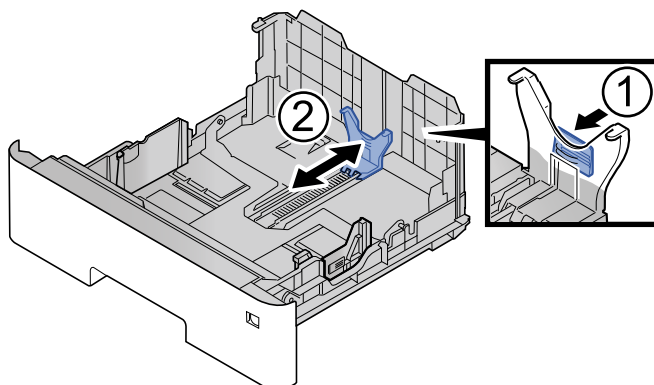
3 カセットのサイズを調整する

- 1 用紙幅ガイドの位置を調整します。用紙幅ガイドのつまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

用紙サイズはカセットに表示されています。

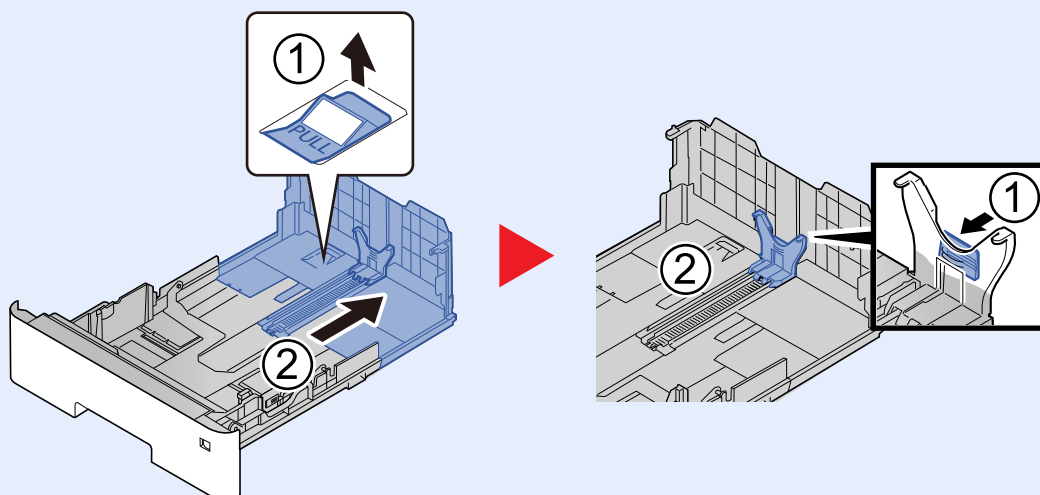




- 2 用紙長さガイドの位置を調整します。用紙長さガイドのつまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。



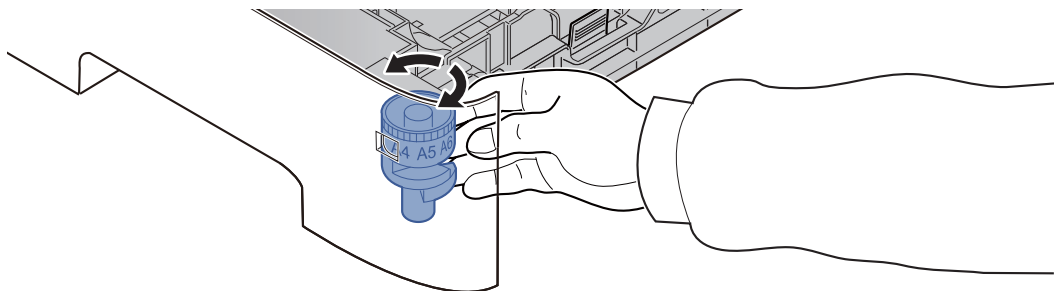
 参考

- カセットにA4-Rサイズを超える用紙を収納するときは、カセットを後に止まるところまで引き出して、用紙長さガイドを合わせてください。



-  は、縦向きを示します。用紙は、縦置きでセットしてください。本書では用紙をセットする向きを区別するため、A4、B5、A5など、縦横どちらの向きでもセット可能な用紙については、縦向き（縦置き）の用紙サイズに「-R」を記載しています。
-  は、横向きを示します。用紙は横置きでセットしてください。

- 3 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが用紙サイズウィンドウに見えるように合わせてください。



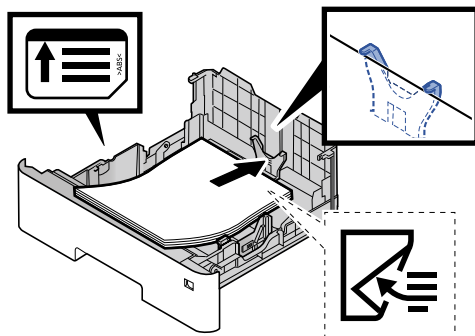
 参考

定形外用の紙を使用する場合は、サイズダイヤルをOtherにセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。

➔ [用紙サイズと用紙種類の設定 \(3-10ページ\)](#)

4 用紙をセットする

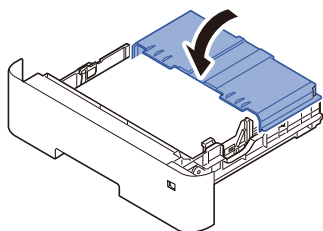
- 1 紙の間に空気を入れるようにさばき、水平な台の上で用紙をそろえます。
- 2 用紙の端をそろえて、カセットに入れます。



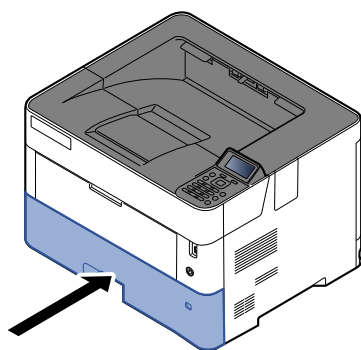
 重要

- 印刷する面を下にしてセットしてください。
 - 包装紙から出した用紙は、カセットにセットする前にさばいてください。
- ➔ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-3ページ\)](#)
- 用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。
 - 用紙の量は、収納上限を示すラベル(イラスト参照)の目盛り以下にしてください。
 - 用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを合わせずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

5 カセットカバーを閉じる



6 カセットをゆっくり奥まで押し込む



7 カセットにセットする用紙を操作パネルで設定する

➔ [カセットの用紙サイズと用紙種類 \(3-10ページ\)](#)

手差しトレイにセットする

手差しトレイには、普通紙(64 g/m²)を100枚まで、A3の普通紙(64 g/m²)を50枚まで補給できます。

補給できる用紙サイズの詳細については、次を参照してください。

➔ [適正な用紙の選択 \(11-22ページ\)](#)

用紙種類の設定については、次を参照してください。

➔ [用紙種類の設定について \(8-7ページ\)](#)

特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

☑ 重要

106 g/m²以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。

手差しトレイにセットできる用紙種類と枚数は次のとおりです。

- A4の普通紙(64 g/m²)、再生紙、カラー紙:100枚
- A3の普通紙(64 g/m²):50枚
- 厚紙(106~220 g/m²):5枚
- A4の厚紙(104.7 g/m²):50枚
- A3の厚紙(104.7 g/m²):10枚
- はがき:45枚
- 封筒:5枚

💡 参考

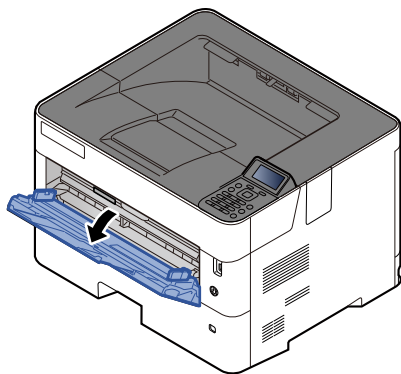
• 不定形サイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを入力してください。

➔ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-11ページ\)](#)

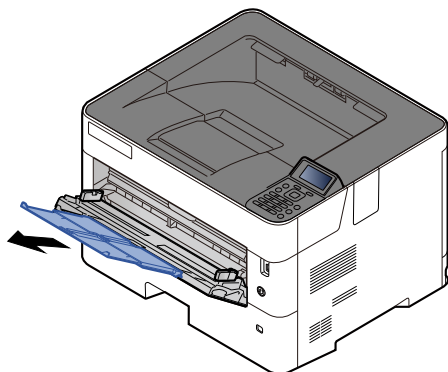
• 厚紙などの特殊紙を使用するときは、用紙種類を設定してください。

➔ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-11ページ\)](#)

1 手差しトレイを開ける

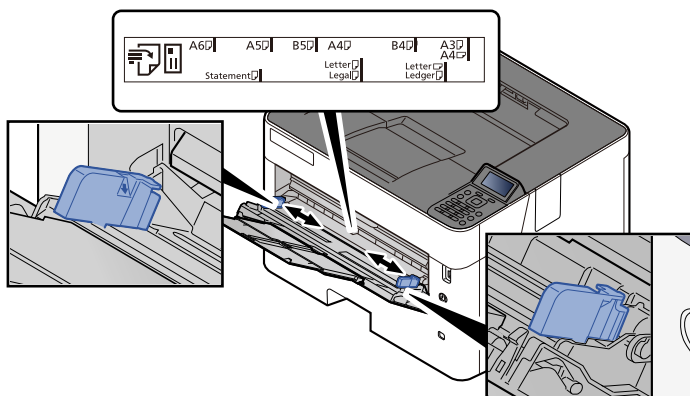


2 手差し補助トレイを伸ばす

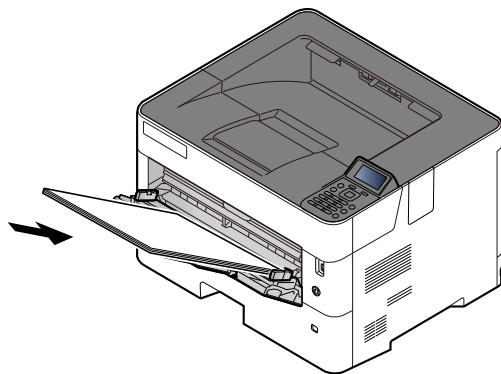


3 用紙ガイドのサイズを調整する

用紙サイズは手差しトレイに表示されています。



4 用紙をセットする

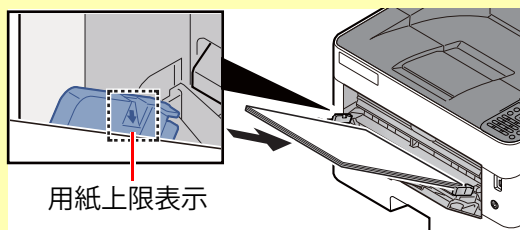


用紙ガイドに合わせて、用紙を止まる位置まで挿入してください。
包装紙から出した用紙は、セットする前にさばいてください。

▶ [用紙の取り扱い上の注意 \(3-3ページ\)](#)

☑ 重要

- 印刷する面を上にしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。
- 手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙と合わせてさばいてから再度補給してください。
- 用紙と用紙ガイドの間に隙間があるときは、斜め給紙や紙づまりの原因となりますので、隙間が生じないように用紙ガイドを調整し直してください。
- 用紙の量は、収納上限を示す用紙上限表示以下にしてください。



5 手差しトレイにセットする用紙を操作パネルで設定する

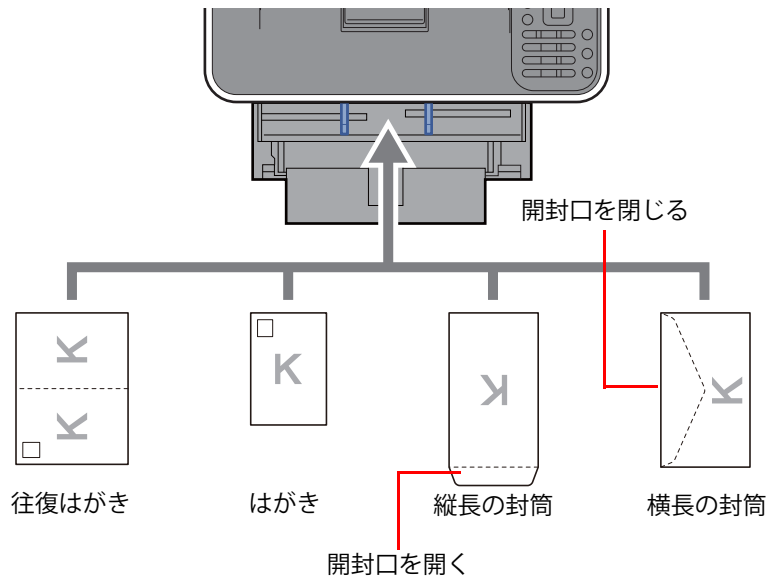
▶ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-11ページ\)](#)

はがき、封筒をセットするとき

印刷する面を上にしてセットします。印刷のしかたについては、次を参照してください。

▶ プリンタードライバー操作手順書

例)宛名を印刷する場合



✔ 重要

- 往復はがきは折られていないものをセットしてください。
- 封筒の補給のしかた(向き、裏表)は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

🔍 参考

手差しトレイに封筒を補給するときは、封筒の種類を設定してください。

▶ [手差しトレイの用紙サイズと用紙種類 \(3-11ページ\)](#)

用紙サイズと用紙種類の設定

カセット1および手差しトレイ、オプションの拡張給紙ユニット(カセット2~4)は、工場出荷時に用紙サイズが「A4」、用紙種類が「普通紙」に設定されています。

使用する用紙を変更するときは、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。

▶ [カセット1\(~4\)設定 \(8-6ページ\)](#)

カセットの用紙サイズと用紙種類

セットした用紙に合わせて、サイズダイヤルと用紙種類の設定を行ってください。

サイズダイヤルを「Other」に合わせた場合は、用紙サイズと用紙種類の設定を行ってください。

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [カセット1(~4)設定] > [OK]キー



参考

[カセット2]～[カセット4]は、オプションの拡張給紙ユニットが装着されているときに表示されます。

2 用紙種類を設定する

- 1 [▲][▼]キー > [用紙種類] > [OK]キー
- 2 用紙種類を選択して、[OK]キーを選択します。

3 用紙サイズを設定する

- 1 [▲][▼]キー > [その他用紙] > [OK]キー
- 2 用紙サイズを選択して、[OK]キーを選択します。
[カスタム]を選んだ場合は、次の手順で用紙の幅と長さを設定してください。
- 3 「カセット1(～4)設定」で、[▲][▼]キー > [カスタム用紙] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [入力長さ単位] > [OK]キー
- 4 用紙サイズの単位を選択して、[OK]キーを選択します。
- 5 [▲][▼]キー > [サイズ入力(Y)] > [OK]キー
- 6 用紙の長さ(Y)を入力して、[OK]キーを選択します。



参考

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

- 7 [▲][▼]キー > [サイズ入力(X)] > [OK]キー
- 8 用紙の長さ(X)を入力して、[OK]キーを選択します。



参考

テンキーを使うか、[▲]または[▼]キーを選択して、数値を入力します。

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類

手差しトレイで使用する用紙のサイズと種類を設定します。

▶ [手差し設定 \(8-6ページ\)](#)

1 画面を表示する

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [手差し設定] > [OK]キー

2 用紙サイズを設定する

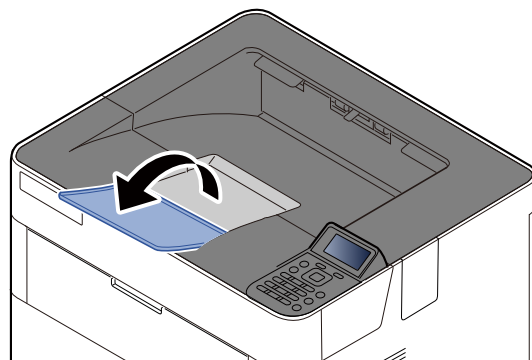
- 1 [▲][▼]キー > [用紙サイズ] > [OK]キー
- 2 用紙サイズを選択して、[OK]キーを選択します。

3 用紙種類を設定する

- 1 [▲][▼]キー > [用紙種類] > [OK]キー
- 2 用紙種類を選択して、[OK]キーを選択します。

排紙ストッパー

A4-R/Letter-R以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。



4 パソコンからの印刷

この章では、次の項目について説明します。

パソコンから印刷する	4-2
不定形サイズの内紙に印刷する	4-4
バナー用紙(長尺用紙)に印刷する	4-5
プリンタードライバーの印刷設定画面について	4-9
プリンタードライバーのヘルプの見かた	4-10
プリンタードライバーの初期設定値を変更する(Windows 10の場合)	4-10
パソコンで印刷を中止する	4-10
AirPrintで印刷	4-11
Wi-Fiダイレクトで印刷	4-11
本体に保存したデータを印刷する	4-12
パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する	4-12
プライベートプリントを使用して印刷する	4-12
試し刷り後保留を使用して印刷する	4-14
ジョブボックス設定	4-15
ステータスマニター	4-16
ステータスマニターの起動	4-16
ステータスマニターの終了	4-16
ステータスマニターの表示	4-16

パソコンから印刷する

Fujitsu Printer プリンタユーティリティ(プリンタードライバー、ソフトウェア)について

本製品には同梱しておりません。ドライバダウンロードページよりダウンロードしてください。

https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

「プリンタ(ドライバ)」-「Fujitsu Printer XLシリーズ、FMPRシリーズ」を選択した後に表示されるダウンロード検索ページで、型名(XL-8400)、OS(お使いのOS)を指定してダウンロードしてください。

パソコンで作成した文書を本機で印刷します。

参考

- パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、Fujitsu Printer プリンタユーティリティを使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。
- お使いの環境によっては、プリンタードライバーの下部に現在の設定値が表示されることがあります。



- はがきや封筒を印刷する場合は、本機の手差しトレイにはがきや封筒をセットしてから操作を行ってください。

➡ [はがき、封筒をセットするとき \(3-10ページ\)](#)

1 画面を表示する

アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

2 設定する

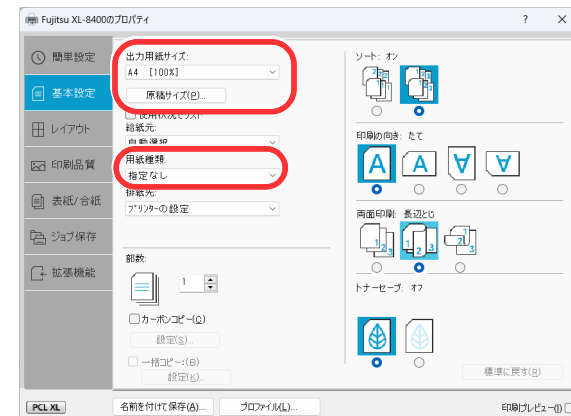
- 1 「プリンター」メニューから本機を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 2 [基本設定] タブを選択します。
- 3 「出力用紙サイズ」メニューをクリックして、印刷する用紙サイズを選択します。
はがきや封筒など、本機の出力用紙サイズにない用紙サイズをセットしたときは、用紙サイズを登録する必要があります。

➡ [不定形サイズの用紙に印刷する \(4-4ページ\)](#)

厚紙のような特殊紙に印刷するときは、「用紙種類」メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。



- 4 [OK] ボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

3 印刷を開始する

- [OK] ボタンをクリックします。

参考

[給紙元] が [自動選択] の場合、同じサイズの用紙が複数のカセット (給紙元) にセットされていると横置き の用紙を優先して給紙します。

A4、B5、A5などの用紙を縦置き (-R) でお使いいただく場合は、カセットのサイズダイヤルを縦置き に合わせプリンタードライバーの [給紙元] は、用紙をセットしたカセットを選択してください。

不定形サイズ of 用紙に印刷する

本機 of 出力用紙サイズにはない用紙サイズをセットしたときは、プリンタードライバー of 印刷設定画面にある「基本設定」タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、「出力用紙サイズ」メニューから選択できるようになります。

参考

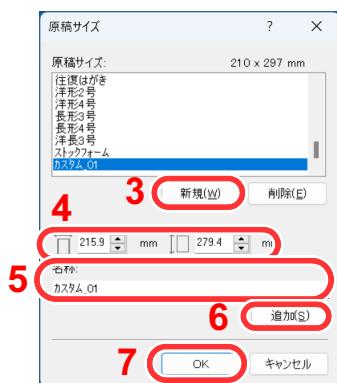
本機を操作して印刷する場合は、用紙のサイズと種類を設定してください。

➔ [手差しトレイ of 用紙サイズと用紙種類 \(3-11ページ\)](#)

- 1 印刷設定画面を表示する
- 2 登録する



- 1 「基本設定」タブをクリックします。
- 2 「原稿サイズ」ボタンをクリックします。
- 3 「新規」ボタンをクリックします。
- 4 用紙サイズを入力します。
- 5 用紙の名前を入力します。
- 6 「追加」ボタンをクリックします。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。
- 8 「出力用紙サイズ」メニューで手順4～7で登録した原稿サイズ(名)を選択します。
- 9 「用紙種類」メニューで用紙の種類を選択します。
- 10 「給紙元」メニューで「手差しトレイ」を選択します。



参考

はがきまたは封筒をセットした場合は、「用紙種類」メニューで「はがき」または「封筒」を選択してください。

バナー用紙(長尺用紙)に印刷する

幅297mm、長さ432.1~1220mmまでの用紙サイズを指定して印刷すると、バナー印刷として扱われます。

プリンタードライバーでバナー用紙を設定する操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

[ファイル]をクリックし、[印刷]を選択します。

2 原稿サイズの登録画面を表示する

1 「名前」メニューから本機を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

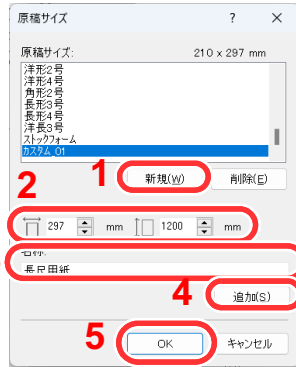


2 [基本設定]タブを選択します。



3 [原稿サイズ]を選択します。

3 原稿サイズを登録する



- 1 [新規] ボタンをクリックします。
- 2 登録するカスタム用紙の幅と長さを入力します。
- 3 用紙の名前を入力します。
- 4 [追加] ボタンをクリックします。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。

4 出力用紙サイズを設定する

- 1 「出力用紙サイズ」メニューで、登録した原稿サイズ(名)を選択します。



- 2 [OK] ボタンをクリックします。

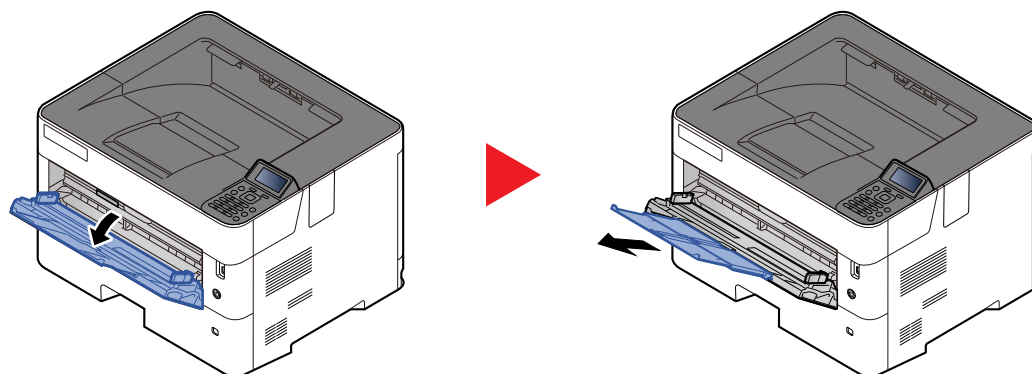


参考

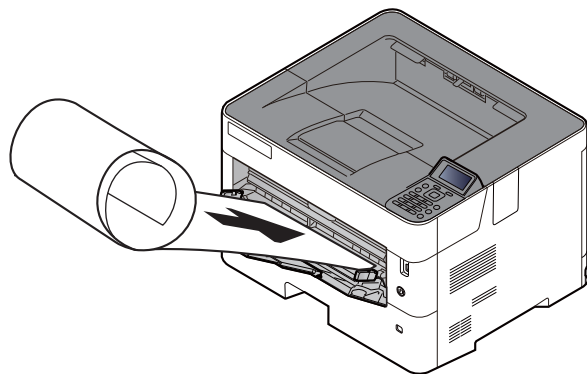
バナー印刷では、解像度が600dpiになります。

5 用紙をセットする

- 1 手差しトレイを開けて、手差し補助トレイを引き出します。



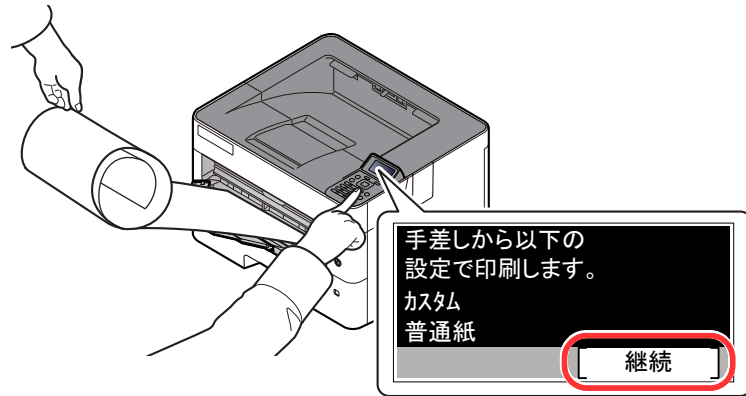
- 2 バナー用紙をセットします。



6 印刷する

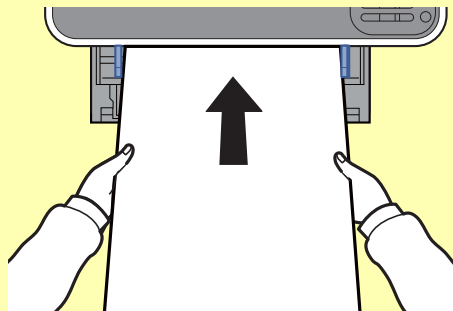
[OK] ボタンをクリックします。

印刷を実行すると、本機の操作パネルにメッセージが表示されるので、手差しトレイに用紙をセットし、落ちないように支えたまま [継続] を選択してください。[中止] を選択すると印刷は中止されます。



ⓧ 重要

- 複数枚印刷する際は、1枚印刷するごとに用紙をセットして操作パネルの [継続] を選択してください。
- [継続] を選択した後は、用紙が正しく給紙されるように、用紙を両手で支えてください。



- 上トレイに排紙される場合は、ストッパーを立てないでください。

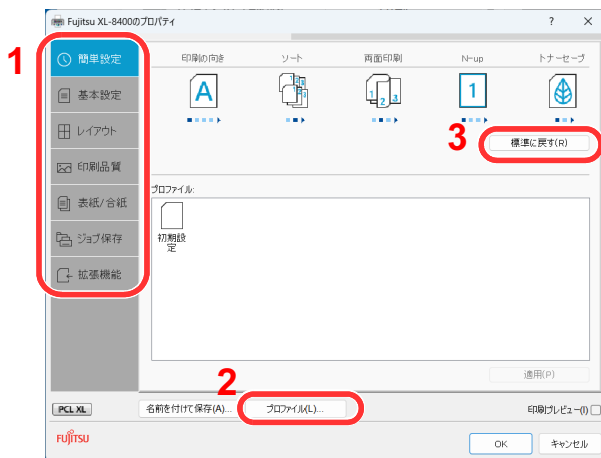
複数枚印刷する際に、1枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定できます。

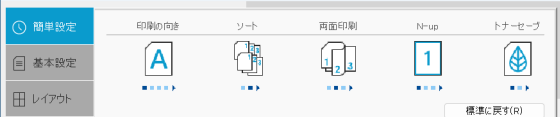
▶ [バナー印刷前の確認 \(8-27ページ\)](#)

プリンタードライバーの印刷設定画面について

プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。

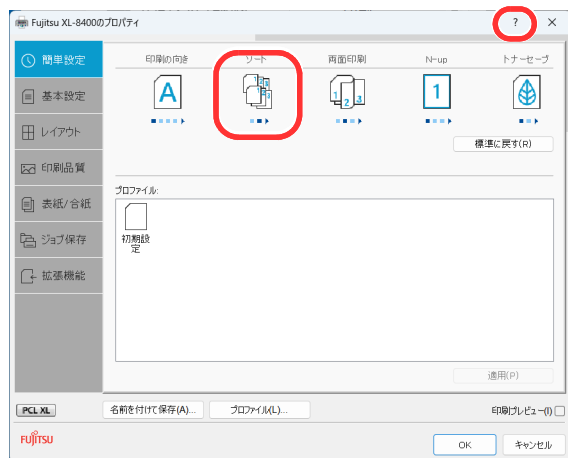
▶ プリンタードライバー操作手順書



No.	説明
1	<p>[簡単設定] タブ よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックすることにより印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。</p>  <p>[基本設定] タブ よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや両面印刷の設定ができます。</p> <p>[レイアウト] タブ 製本印刷、N-up印刷、ポスター印刷、縮小/拡大などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。</p> <p>[印刷品質] タブ 印刷結果の品質に関する設定ができます。</p> <p>[表紙/合紙] タブ 印刷ジョブ用に表紙や合紙を挿入できます。</p> <p>[ジョブ保存] タブ 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくことで簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。</p> <p>[拡張機能] タブ 印刷データにウォーターマーク(すかし文字)を付加するための設定ができます。</p>
2	<p>[プロファイル] プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくことで便利です。</p>
3	<p>[標準に戻す] クリックすると設定内容を初期値に戻すことができます。</p>

プリンタードライバーのヘルプの見かた

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の2つの方法でヘルプを表示することができます。



- 設定画面右上の[?]ボタンをクリックし、続けて知りたい設定項目をクリックします。
- 知りたい設定項目をクリックした後キーボードの[F1]キーを押します。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する (Windows 10の場合)

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。設定項目については、次を参照してください。

▶ プリンタードライバー操作手順書

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックする
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[印刷設定]メニューをクリックする
- 3 初期設定値を設定し、[OK]ボタンをクリックする


パソコンで印刷を中止する

プリンタードライバーで印刷を実行した後、本機で印刷が始まる前に中止したいときは、次の操作を行ってください。

参考

本機で印刷を中止する場合は、次を参照してください。

▶ [ジョブのキャンセル \(5-2ページ\)](#)

- 1 Windows画面右下のタスクバーに表示されるプリンターアイコン()をダブルクリックして、ダイアログボックスを表示します。
- 2 印刷を中止したいファイルをクリックし、「ドキュメント」メニューから[キャンセル]を選択します。

AirPrintで印刷

AirPrintは、iOS 4.2以降またはMac OS X 10.7以降の製品に標準で搭載されている印刷機能です。

プリンタードライバーをインストールしていなくても、本機に接続し、印刷できます。

AirPrintで印刷するとき、本機を識別するために、Fujitsu Printer Internet Serviceから機器の位置情報を設定できます。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)



Wi-Fiダイレクトで印刷

Wi-Fiダイレクトは、Wi-Fi Allianceが定めた無線LAN規格です。無線LANの機能の1つで、無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを介さずに、機器同士が一对一で直接通信できます。

Wi-Fiダイレクトで印刷する手順は、通常の端末からの手順と同じです。

プリンタープロパティのポート指定でプリンター名またはBonjour名を使用する場合は、Wi-Fiダイレクト接続時でもその名称を指定して印刷できます。

ポートにIPアドレスを使用する場合は、本体側のIPアドレスを指定してください。

本体に保存したデータを印刷する

プリンタードライバーの[ジョブ保存]タブで設定を行い印刷すると、ジョブボックス(メモリー)に印刷データが保存され、本体側の操作で印刷を実行することができます。

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで操作してください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する。[\(4-12ページ\)](#)



操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する。

次のボックスから印刷できます。

- ▶ [個人/ジョブ保留ボックス \(4-12ページ\)](#)
- ▶ [クイック/試し刷りボックス \(4-14ページ\)](#)

パソコンからジョブボックスを指定してジョブを保存する

ジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]をクリックします。
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[RAMディスク]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4 アプリケーションソフトの[ファイル]をクリックし、[印刷]を選んでください。印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 5 名前の[▼]ボタンをクリックして、リストから本機を選んでください。
- 6 [プロパティ]ボタンをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 7 [ジョブ保存]タブをクリックし、[ジョブ拡張機能]のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定してください。



参考

プリンタードライバーの操作方法は、次を参照してください。

- ▶ [プリンタードライバー操作手順書](#)

プライベートプリントを使用して印刷する

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバーで4桁のパスワード(アクセスコード)を指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源を切ったとき、データは消去されます。

プライベートプリントでは、個人/ジョブ保留ボックスに文書を保存します。個人/ジョブ保留ボックスのできる主な作業は次のとおりです。

- ▶ [文書を印刷する \(4-13ページ\)](#)
- ▶ [文書を削除する \(4-13ページ\)](#)

文書を印刷する

個人/ジョブ保留ボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス]キー > [▲][▼]キー > [個人/ジョブ保留] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK]キー
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。
[すべての文書]を選択すると、すべての文書の右側にチェックマークがつきます。
文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。
- 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー
- 3 アクセスコードを入力して、[OK]キー
- 4 印刷部数を入力して、[OK]キー
印刷を開始します。
印刷が終了すると、個人/ジョブ保留のデータは自動で消去されます。

文書を削除する

個人/ジョブ保留ボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス]キー > [▲][▼]キー > [個人/ジョブ保留] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK]キー
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。
[すべての文書]を選択すると、すべての文書の右側にチェックマークがつきます。
文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。
- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー
- 3 アクセスコードを入力して、[OK]キー > [はい]
文書が削除されます。

試し刷り後保留を使用して印刷する

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、操作パネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

試し刷り後保留では、クイック/試し刷りボックスに保存します。クイック/試し刷りボックスでできる主な作業は次のとおりです。

➔ [文書を印刷する \(4-14ページ\)](#)

➔ [文書を削除する \(4-14ページ\)](#)

文書を印刷する

クイック/試し刷りボックスに保存されている文書を印刷することができます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス]キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を印刷する

- 1 印刷する文書を選択して、[選択] > [OK]キー
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。
[すべての文書]を選択すると、すべての文書の右側にチェックマークがつきます。
文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。
- 2 [▲][▼]キー > [印刷] > [OK]キー
- 3 印刷部数を入力して、[OK]キー
印刷を開始します。

文書を削除する

クイック/試し刷りボックスに保存されている文書を削除できます。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [文書ボックス]キー > [▲][▼]キー > [クイック/試し刷り] > [OK]キー
- 2 文書を作成したユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 文書を削除する

- 1 削除する文書を選択して、[選択] > [OK]キー
文書を選択すると、選択された文書の右側にチェックマークがつきます。
[すべての文書]を選択すると、すべての文書の右側にチェックマークがつきます。
文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。
チェックマークのついた文書を選択して、もう一度[選択]を選択すると、選択が解除されます。
- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]
文書が削除されます。

ジョブボックス設定



ジョブボックスに関する設定を行います。

1 画面を表示する

[文書ボックス]キー > [▲][▼]キー > [ジョブボックス設定] > [OK]キー

2 設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
クイックコピー保持数	ボックスの空き容量を保つために、最大保持数を設定することができます。 設定値:0 ~300の範囲  参考 0を設定すると試し刷り後保留は使用できません。
一時保存文書消去	ジョブボックスの一時保存文書を、保存した一定時間後に自動的に消去するように設定します。 設定値:設定しない、1 時間、4 時間、1 日、1 週間  参考 この機能は、設定後に保存した文書に有効です。この機能の設定に関わらず、電源を切ると一時保存文書は消去されます。

ステータスマニター

ステータスマニターは、プリンターの状態を監視し、報告する機能を備えています。

参考

ステータスマニターを起動する場合は、以下の内容を確認してください。

- プリンタードライバがインストールされている。
- 「プロトコル設定」で[Enhanced WSD]か、[EnhancedWSD(SSL)]が[使用する]に設定されている。

▶ [プロトコル設定 \(8-16ページ\)](#)

ステータスマニターの起動

印刷を開始すると、同時にステータスマニターも起動します。

ステータスマニターの終了

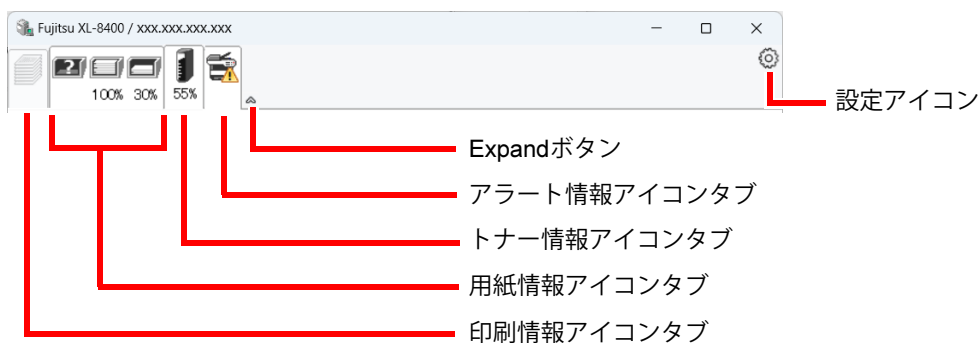
ステータスマニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了:
設定アイコンをクリックしてメニューを表示し、アプリケーションの終了を選択するとステータスマニターが終了します。
- 自動的に終了:
操作を行わない状態が続くと、ステータスマニターが自動的に終了します。

ステータスマニターの表示

ステータスマニターの表示は次のとおりです。

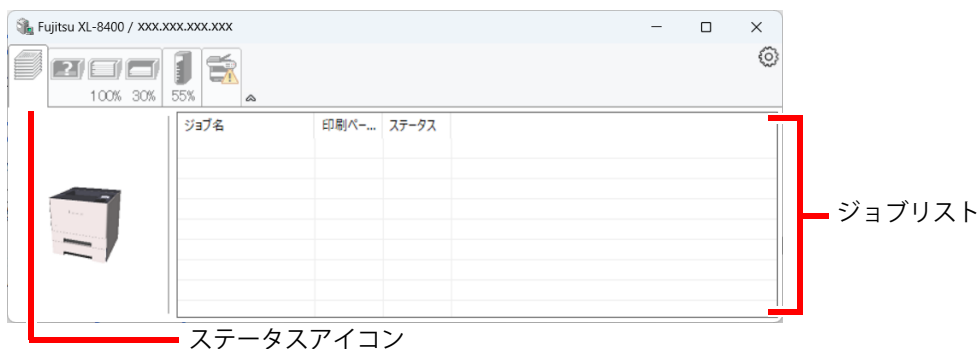
プリンターの状態がアイコンで表示されます。Expandボタンをクリックすると詳細情報を表示します。



各アイコンタブをクリックすると、各詳細情報が表示されます。

印刷情報アイコンタブ

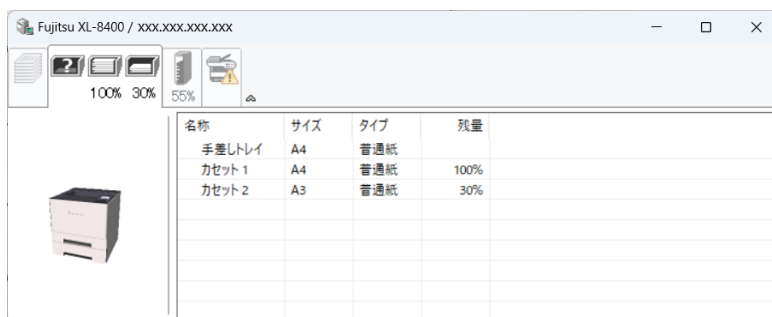
印刷ジョブの状況が表示されます。



ジョブリストでジョブを選択し、右クリックで表示されるメニューでキャンセルできます。

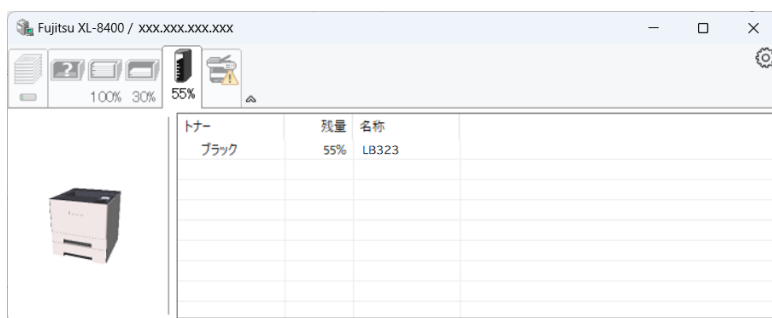
用紙情報アイコンタブ

プリンターにセットされている用紙の情報と用紙残量が表示されます。



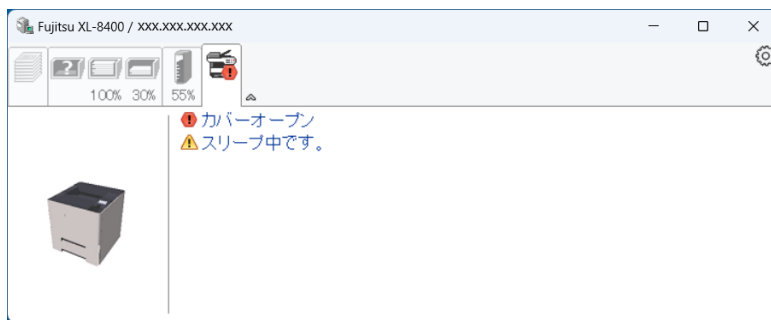
トナー情報アイコンタブ

トナー残量が表示されます。



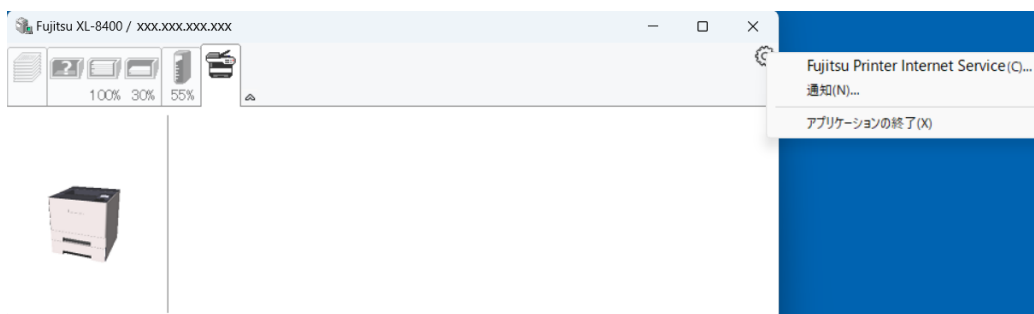
アラート情報アイコンタブ

エラーが発生した場合、3Dイメージとメッセージでお知らせが表示されます。



ステータスマニターコンテキストメニュー

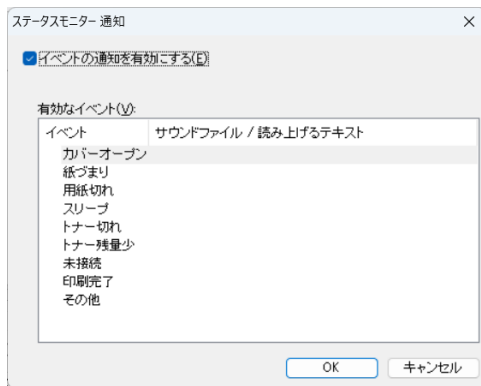
設定アイコンをクリックすると、以下のメニューが表示されます。



- **Fujitsu Printer Internet Service**
TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってFujitsu Printer Internet Serviceにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。このメニューはUSB接続の場合は表示されません。
▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)
- **通知**
ステータスマニターの表示の設定を行います。
▶ [ステータスマニター通知設定 \(4-19ページ\)](#)
- **アプリケーションの終了**
ステータスマニターが終了します。

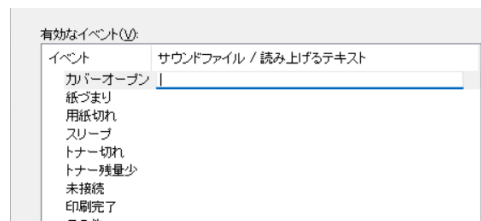
ステータスマニター通知設定

[設定]アイコンをクリックし、[通知]メニューをクリックすると、ステータスマニターの設定とイベントリストの内容が表示されます。



イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

- 1** [イベントの通知を有効にする]のチェックボックスにチェックを入れます。
この設定をオフにすると、印刷を実行しても、ステータスマニターが起動しません。
- 2** 有効なイベントリストから音声で通知するイベントを選択します。
- 3** [サウンドファイル/読み上げるテキスト]欄をクリックします。
画面右側の[...]ボタンをクリックして、ファイルを指定します。



参考

使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

画面に読み上げるテキストを作成する場合は、テキストボックスにテキストを入力してください。

5 本体側の操作

この章では、次の項目について説明します。

ジョブのキャンセル	5-2
文書ボックスとは	5-3

ジョブのキャンセル

[キャンセル]キーを選択してジョブをキャンセルすることができます。

1 メッセージディスプレイに「処理中」が表示されていることを確認して、[キャンセル]キーを選択する。

「ジョブ中止リスト」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。





2 キャンセルする

1 中止したいジョブを選択して、[OK]キーを選択します。

2 [はい]を選択します。

ジョブは中止されます。

参考

- ジョブをキャンセルし、「中止中です。」が表示されている場合は、現在印刷中のページが出力された後に印刷を中止します。
- スリープ中、 [キャンセル]キーは無効です。スリープ中に印刷を中止する場合は、 [OK]キーを押しスリープを解除してから [キャンセル]キーを押してください。
-  [キャンセル]キーを選択し「ジョブ中止リスト」が表示されている間は、ジョブが一時停止されます。
ジョブの一時停止中、[オートパネルリセット]が設定されている場合は、一定時間でジョブが再開します。
この設定をオフにするには、[オートパネルリセット]で[設定する]を選択してください。

➔ [オートパネルリセット \(8-25ページ\)](#)

文書ボックスとは

文書ボックスでは、文書を保存して再利用できます。

文書ボックスには次の種類があります。

ジョブボックス

パソコンから実行したジョブを保存するためのボックスです。ジョブボックスには、個人/ジョブ保留ボックスとクイック/試し刷りボックスがあります。

参考

- ジョブボックスの一時保存文書を自動的に消去するように設定できます。

▶ [一時保存文書消去 \(4-15ページ\)](#)

- ジョブボックスの操作については、次を参照してください。

▶ [本体に保存したデータを印刷する \(4-12ページ\)](#)

プライベートプリント ([4-12ページ](#))

プライベートプリントは、本機を操作するまでジョブを印刷されないように指定することができます。アプリケーションソフトウェアから送信するとき、プリンタードライバで4桁のアクセスコードを指定してください。ジョブは機密性を確保するため、操作パネルでアクセスコードを入力することによって印刷されます。印刷と同時に、または電源を切ったとき、データは消去されます。

試し刷り後保留 ([4-14ページ](#))

試し刷り後保留は、複数部数印刷する際に、1部だけ印刷して残りの印刷を保留する機能です。パソコンから試し刷り後保留を有効にして文書を印刷すると、1部だけ印刷して印刷データがここに保存されます。残り部数は、操作パネルの操作で印刷することができます。部数を変更することもできます。

6 さまざまな機能を使う

この章では、次の項目について説明します。

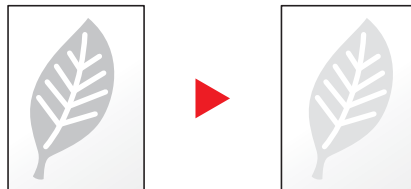
各機能について	6-2
トナーセーブ	6-2
両面	6-2
静音モード	6-2

各機能について

トナーセーブ

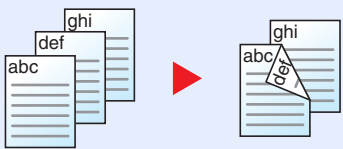
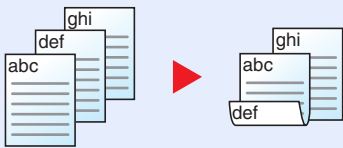
トナーセーブを設定するとトナーの消費量を節約します。
試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



両面

用紙の両面に印刷します。
両面には次の方法があります。

設定項目	説明
設定しない	この機能を設定しません。
長辺とじ 	うら面の印刷をおもて面と同じ方向で印刷します。
短辺とじ 	うら面の印刷をおもて面に対して180°回転させて印刷します。仕上がった印刷を上でとじると、各見開きのページが同じ方向になります。

静音モード

本機の動作音を抑えることができます。
動作音が気になる場合は設定してください。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

参考

- 静音モード時は、通常よりも印刷速度は遅くなります。
- 「ジョブごとの設定」で[禁止]に設定している場合は、使用できません。

▶ [ジョブごとの設定 \(8-29ページ\)](#)

7 ジョブ/消耗品/デバイスを管理する

この章では、次の項目について説明します。

ジョブの状況確認	7-2
ジョブの履歴を確認する	7-3
ジョブ履歴を送信する	7-4
デバイスの状態確認(デバイス/通信)	7-5
トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)	7-6

ジョブの状況確認

実行中または待機中のジョブの状況を確認できます。

状況確認画面の表示

1 画面を表示する

印刷待機中または印刷中に、[状況確認] > [▲][▼]キー > [ジョブ状況] > [OK]キー

2 確認したいジョブを選択する

確認したいジョブを選択して、[OK]キーまたは[詳細]を選択します。



参考

すべてのユーザーのジョブ状況を表示したり、自分だけのジョブ状況を表示したりすることができます。

➔ [状況/履歴の表示 \(8-27ページ\)](#)

また、この設定は、Fujitsu Printer Internet Serviceからも変更できます。

➔ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

3 確認する

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

項目	説明
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
状況	ジョブの状態 [処理中]: 印刷を開始する前の状態 [一時停止]: 印刷の一時停止やエラーにより印刷を一時停止 [中止中]: ジョブのキャンセル中 [待機中]: 印刷待機中 [----]: ジョブは終了しています。
ジョブ種類	[プリンター]: プリンター印刷 [レポート]: レポート/リスト印刷 [ボックス]: 文書ボックスからの印刷
受付時刻	ジョブの受付時刻
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名
印刷ページ数	<ul style="list-style-type: none"> 総印刷ページ数 印刷部数/総印刷部数

ジョブの履歴を確認する

終了したジョブの履歴を確認できます。

参考

ジョブ履歴はパソコンからFujitsu Printer Internet Serviceを使って確認することもできます。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

ジョブ履歴画面の表示



1 画面を表示する

- 1 印刷待機中または印刷中に、[状況確認]を選択します。
- 2 [▲][▼]キー > [ジョブ履歴] > [OK]キー

2 確認したいジョブを選択する

確認したいジョブを選択して、[OK]キーまたは[詳細]を選択します。

各ジョブの右隣に、ジョブの結果を表すアイコンが表示されます。

- **OK**: ジョブは通常に処理されました。
-  : ジョブエラー
-  : ジョブの中断

3 ジョブ履歴を確認する

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。

項目	説明
ジョブ名	ジョブ名にあるジョブ名が長すぎて表示されないとき、[詳細]を選択するとジョブ名がすべて表示されます。[OK]キーを選択すると、元の画面に戻ります。
結果	ジョブの結果 [OK]: ジョブが完了しました。 [エラー]: エラーが発生しました。 [中止]: ジョブが中止されました。
ジョブ種類	[プリンター]: プリンター印刷 [レポート]: レポート/リスト印刷 [ボックス]: 文書ボックスからの印刷
受付時刻	ジョブの受付時刻
ユーザー名	このジョブを実行したユーザー名
印刷ページ数	<ul style="list-style-type: none"> • 総印刷ページ数 • 印刷部数/総印刷部数



参考

操作中にログインユーザー名入力画面が表示されたら、ログインしてください。

▶ [ログイン・ログアウト \(2-13ページ\)](#)

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

ジョブ履歴を送信する

ジョブ履歴をメールで送信することができます。必要なときに手動で送信したり、件数を設定して定期的に自動送信することもできます。

▶ [ジョブ履歴 \(8-5ページ\)](#)

デバイスの状態確認(デバイス/通信)

本機を構成するデバイスや本機に接続されている機器/回線の状態を確認できます。

1 画面を表示する

印刷待機中または印刷中に、[状況確認]を選択します。

2 確認する

確認したい項目を選択します。[OK]キーを選択すると、選択した機器の状態が表示されます。

確認できる項目は、次のとおりです。

「ネットワーク接続」

ネットワークの接続状態が表示されます。

「Wi-Fi」

Wi-Fiの接続状態と本機のネットワーク名(SSID)が表示されます。

「Wi-Fi ダイレクト」

- [▲][▼]キー > [プッシュボタン接続] > [OK]キーの順に選択して、接続したいデバイスのプッシュボタンを実行すると、本機との接続が開始されます。
- [▲][▼]キー > [詳細情報] > [OK]キーの順に選択すると、Wi-Fiダイレクトで本機に接続するために必要な情報が表示されます。
- [▲][▼]キー > [接続の状態] > [メニュー] > [▲][▼]キー > [接続デバイスリスト] > [OK]キーの順に選択すると、接続されているデバイスのリストが表示されます。
- [▲][▼]キー > [接続の状態] > [メニュー] > [▲][▼]キー > [すべて切断] > [OK]キーの順に選択すると、接続されているすべての接続が切断されます。


「オプションネットワーク接続」

オプションのプリンタLANカードの接続状態が表示されます。

トナーや用紙の残量確認(用紙/消耗品)

メッセージディスプレイで、トナーや用紙の有無を確認できます。

参考

メッセージディスプレイに「スリープ中です。」と表示されている場合、 [OK] キーを押しスリープを解除してから、トナーや用紙の有無を確認してください。

1 画面を表示する

トナー残量を確認したい場合は、印刷待機中に、[トナー]を選択します。
[用紙]を選択すると、用紙状況の画面に戻ります。

2 確認する

確認できる項目は、次のとおりです。

「トナー状況」

トナー残量が段階的に表示されます。

「用紙状況」

給紙元の用紙のサイズ、残量が確認できます。用紙残量は段階的に表示されます。

8 システムメニュー

この章では、次の項目について説明します。

本機の初期設定(システムメニュー)	8-2
メニューの項目	8-2
レポート	8-3
カウンター	8-5
用紙設定	8-5
印刷設定	8-8
ネットワーク	8-12
オプションネットワーク	8-22
共通設定	8-23
セキュリティー	8-27
ユーザー/部門管理	8-29
調整/メンテナンス	8-29
ソフトウェア	8-30

本機の初期設定(システムメニュー)

本機の動作全般に関わる設定を行います。

[メニュー]キーを選択すると、メッセージディスプレイに設定画面が表示されます。表示された設定を選択します。

▶ [操作方法 \(2-11ページ\)](#)

参考

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。
ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

次の[メニューの項目 \(8-2ページ\)](#)を参照して、必要な設定を行ってください。

メニューの項目

ここでは、メニューで設定できる機能を説明しています。メニューの項目を選択して、さらに設定項目を選択すると、設定を行うことができます。詳細については、次の表を参照してください。

メニューの項目	説明	参照ページ
レポート印刷	本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。	8-3ページ
ジョブ履歴		8-5ページ
カウンター	印刷ページ数を参照します。	8-5ページ
用紙設定	用紙に関する設定を行います。	8-5ページ
印刷設定	印刷に関する設定を行います。	8-8ページ
ネットワーク	ネットワークに関する設定を行います。	8-12ページ
優先ネットワーク	送信機能、ネットワーク認証の接続時に使用するネットワークを設定します。	8-22ページ
オプションネットワーク	オプションのプリンタLANカードの設定を行います。	8-22ページ
言語選択	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。	8-23ページ
日時設定	日付や時間に関する設定を行います。	8-23ページ
ブザー	本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。	8-24ページ
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。	8-24ページ
画面の明るさ	メッセージディスプレイの明るさを設定します。	8-24ページ
画面のバックライト	メッセージディスプレイのバックライトを設定します。	8-25ページ
エラー処理設定	エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	8-25ページ
タイマー設定	時間に関する設定を行います。	8-25ページ
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。	8-27ページ
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。	8-27ページ
バナー印刷前の確認	バナー用紙に複数部数印刷したい場合に、1枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。	8-27ページ
セキュリティ	本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。	8-27ページ

メニューの項目	説明	参照ページ
ネットワークセキュリティー	SSLサーバーの設定を行います。	8-27ページ
I/Fブロック設定	USBデバイスやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。	8-28ページ
セキュリティーレベル	セキュリティーレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。	—
データセキュリティー	メモリーに保存されているデータに関する設定を行います。	8-28ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。 ユーザー管理の詳細は、次を参照してください。 ➔ ユーザー管理を有効にする (9-3ページ) 部門管理の詳細は、次を参照してください。 ➔ 部門管理を有効にする (9-10ページ)	8-29ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	8-29ページ
再起動	電源を切ることなく、CPU を再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。	8-29ページ
ソフトウェア	本機のシステムとエンジンソフトのバージョンを確認します。	8-30ページ

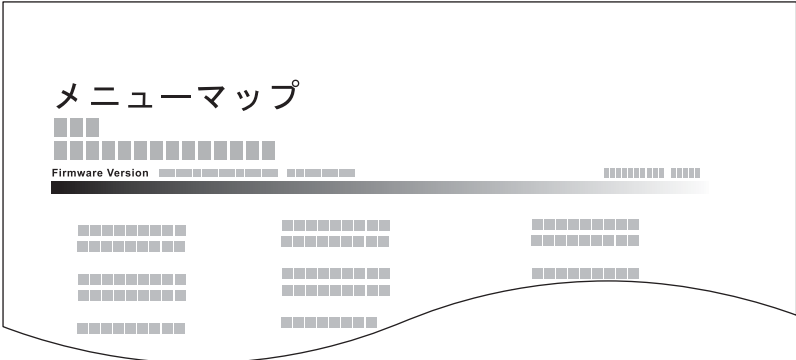
レポート

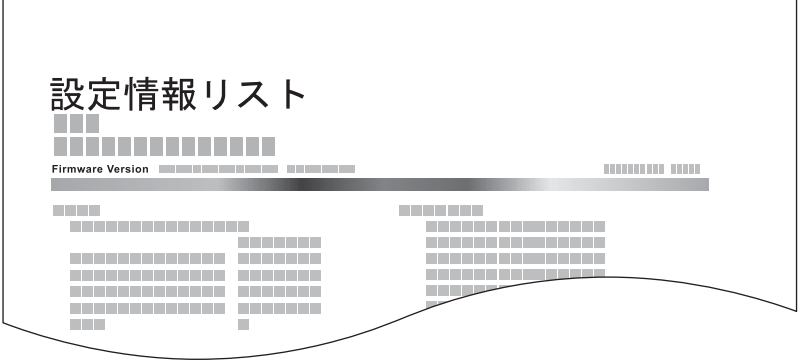

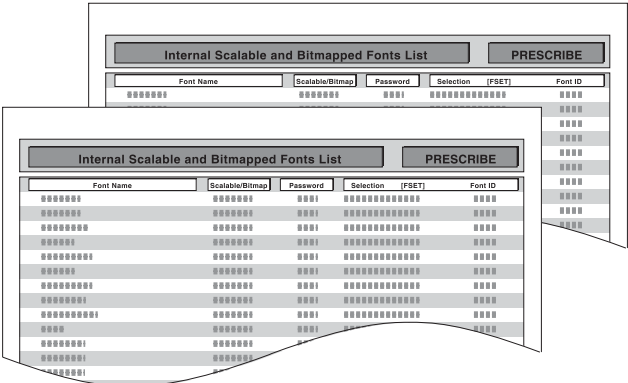

本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。

また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。

レポート印刷

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [レポート印刷] > [OK]キー

項目	説明
メニューマップ	<p>メニューマップを印刷します。本機の設定が確認できます。</p> 

項目	説明
<p>設定情報リスト</p>	<p>システムメニューの設定値を一覧で印刷します。本機の設定が確認できます。</p> 
<p>ステータスページ</p>	<p>ステータスページを印刷します。現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。</p> 
<p>フォントリスト</p>	<p>フォントリストを印刷します。本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。</p> 
<p>RAMファイルリスト</p>	<p>RAMディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。</p> <p> 参考</p> <p>[RAMディスクモード]を[設定する]にしている場合に表示されます。</p>
<p>セキュリティデータ消去</p>	<p>セキュリティデータの完全消去レポートを印刷します。</p>

ジョブ履歴

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [レポート] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ジョブ履歴] > [OK]キー

項目	説明
自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。 設定値 Off/On: 設定しない、設定する 履歴数: 自動送信をするジョブ履歴の件数を設定します。設定範囲は1~100件です。 [Off/On]を[設定する]にしている場合に表示されます。
履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。
宛先	ジョブ履歴を送信する宛先を確認したり、設定します。 設定値 確認: ジョブ履歴を送信する宛先を確認します。 アドレス入力: ジョブ履歴を送信する宛先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。
件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。 設定値: 送信する際の件名を設定します。設定範囲は60字以内です。
個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。 設定値: 含める、含めない

カウンター

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [カウンター] > [OK]キー

項目ごとに、印刷枚数を参照します。


項目	説明
用紙サイズ別	用紙サイズ別で印刷枚数が表示されます。
N-up別	N-up設定別で印刷枚数が表示されます。
両面別	両面設定別で印刷枚数が表示されます。

用紙設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙設定] > [OK]キー

用紙に関する設定を行います。

項目	説明
手差し設定	手差しトレイで使用する用紙サイズと種類を選択します。 ➔ 手差し設定 (8-6ページ)
カセット1~4設定	カセット1~4で使用する用紙サイズと種類を選択します。 ➔ カセット1(~4)設定 (8-6ページ)
用紙種類の設定	それぞれの用紙種類に対して、重さ(用紙の厚さ)を設定します。 また、カスタム1~8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。 ➔ 用紙種類の設定について (8-7ページ)
初期設定に戻す	「用紙種類の設定」で設定したすべての種類の用紙について属性の設定をリセットします。 ➔ 用紙種類の設定 (8-5ページ)

項目	説明
用紙セット時の確認	用紙をセットしたときに、用紙設定の確認画面を表示するかどうかをカセットごとに設定します。
手差しトレイ	設定値: 設定しない、設定する
カセット1(～4)	 参考 [カセット2]～[カセット4]は、オプションの拡張給紙ユニットが装着されているときに表示されます。

手差し設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [手差し設定] > [OK]キー
 手差しトレイの用紙サイズと用紙種類について設定します。

☑ 重要

本機では未サポートの用紙種類、用紙サイズも表示されます。使用可能な用紙サイズについては、以下をご確認ください。

▶ [用紙サイズ \(11-22ページ\)](#)

項目	説明
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 設定値: A3、B4、A4-R、A4、B5-R、B5、A5-R、A5、A6、B6、ISO B5、Ledger、Legal、Folio、Letter-R、Letter、Executive、Statement-R、Oficio II、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Envelope #9、Envelope #6、216 × 340mm、8K、16K-R、16K、はがき、往復はがき、洋形2号、洋形4号、カスタム * 縦横どちらの向きでもセット可能な用紙において、「-R」は縦向きを示します。
用紙種類 ^{*1}	用紙種類を選択します。 設定値: 普通紙、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム1～8

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合は、次を参照してください。

▶ [用紙種類の設定について \(8-7ページ\)](#)

カセット1(～4)設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [用紙設定] > [OK]キー > [カセット1(～4)設定] > [OK]キー
 カセット1～4の用紙サイズと用紙種類について設定します。

☑ 重要

本機では未サポートの用紙種類、用紙サイズも表示されます。使用可能な用紙サイズについては、以下をご確認ください。

▶ [用紙サイズ \(11-22ページ\)](#)

項目	説明
用紙種類 ^{*1}	用紙種類を選択します。 設定値 カセット1: 普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、はがき、上質紙、カスタム1～8 カセット2～4: 普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、封筒、上質紙、カスタム1～8

項目	説明
その他用紙	<p>用紙サイズを選択します。</p> <p>設定値</p> <p>カセット1:A3、B4、A4-R、A4、B5-R、B5、A5-R、A5、A6、B6、ISO B5、Ledger、Legal、Folio、Letter-R、Letter、Executive、Statement-R、Oficio II、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、216 × 340mm、8K、16K-R、16K、往復はがき、カスタム</p> <p>カセット2~4:A3、B4、A4-R、A4、B5-R、B5、A5-R、ISO B5、Ledger、Legal、Folio、Letter-R、Letter、Executive、Oficio II、Envelope C5、Envelope C4、216 × 340mm、8K、16K-R、カスタム</p> <p>* 縦横どちらの向きでもセット可能な用紙において、「R」は縦向きを示します。</p>
カスタム用紙 ^{*2}	<p>カセット1~4で使用するカスタムサイズを登録します。</p> <p>設定値</p> <p>カセット1:</p> <p>mm X:105~297 mm(1 mm単位) Y:148~432 mm(1 mm単位)</p> <p>inch X:4.13~11.69"(0.01"単位) Y:5.83~17.00"(0.01"単位)</p> <p>カセット2~4:</p> <p>mm X:148~297 mm(1 mm単位) Y:210~432 mm(1 mm単位)</p> <p>inch X:5.83~11.69"(0.01"単位) Y:8.27~17.00"(0.01"単位)</p> <p>X=幅、Y=長さ</p> <div style="text-align: center;"> </div>

*1 用紙種類を「普通紙」から変更する場合

▶ [用紙種類の設定について\(8-7ページ\)](#)

用紙種類の設定で、用紙の重さがカセットから給紙できない重さに設定されている場合、用紙種類は表示されません。

*2 その他用紙から[カスタム]を選択した場合に表示されます。

用紙種類の設定について



重要

本機では、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

各用紙種類に設定できる用紙の重さは次のとおりです。

用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類	用紙の重さ	秤量(g/m ²)、用紙種類
軽い	52 g/m ² ~59 g/m ²	重い1	106 g/m ² ~135 g/m ²
普通1	60 g/m ² ~74 g/m ²	重い2	136 g/m ² ~163 g/m ²
普通2	75 g/m ² ~90 g/m ²	重い3	164 g/m ² ~220 g/m ²
普通3	91 g/m ² ~105 g/m ²		

各用紙種類に設定されている重さの初期値は次のとおりです。

用紙種類	初期値	用紙種類	初期値
普通紙	普通1	カラー紙	普通3
薄紙	軽い	レターヘッド	普通3
ラベル紙	重い1	封筒 ^{*1}	重い3
再生紙	普通1	厚紙 ^{*1}	重い3
プレプリント	普通1	上質紙	普通1
ボンド紙	普通3	カスタム1～8	普通1
はがき	重い3		

*1 通常よりも印刷速度が遅くなります。

また、カスタム1～8は、両面印刷と用紙種類名の変更ができます。



項目	説明	
両面	許可	両面印刷できます。
	禁止	両面印刷は禁止されます。
名前入力	<p>カスタム1～8の名前を変更します。16文字以内で入力できます。手差しトレイに用紙種類を選択するときなどに、変更した名前が表示されます。</p> <p>▶ 文字の入力方法 (11-17ページ)</p>	


印刷設定

[メニュー]キー > [▲] [▼]キー > [印刷設定] > [OK]キー

印刷に関する設定を行います。



初期値：下線がついている値

項目	説明
給紙元	<p>優先して使用する給紙元を設定します。</p> <p>設定値: <u>手差しトレイ、カセット1～4</u></p> <p> 参考</p> <p>[カセット2]～[カセット4]はオプションの拡張給紙ユニットが装着されているときに表示されます。</p>
自動カセット切替	<p>印刷中に給紙カセットに用紙がなくなった場合の動作を選択します。</p> <p>設定値: <u>設定しない、設定する</u></p> <p> 参考</p> <p>[設定しない]を選択すると、用紙がなくなった場合、「カセット○に用紙を補給してください。」(○はカセットの番号)または「手差しトレイに用紙を補給してください。」と表示して印刷を停止します。</p> <p>メッセージに表示されたカセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。</p> <p>他のカセットから印刷する場合は、[代用給紙]を選択して給紙元を選択して、[OK]キーを選択します。</p> <p>[設定する]を選択すると、用紙1枚ごとに優先度の高い給紙元を自動的に選択して印刷します。給紙元の用紙がなくなっても、用紙サイズと種類が一致する他のカセットがあるときは、給紙元を自動的に変更して印刷を継続します。</p>

項目	説明
手差しトレイ優先	手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。 設定値 設定しない: プリンタードライバーの設定に従います。 自動給紙時: プリンタードライバーで自動を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。 常時: 手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定に関わらず手差しトレイから給紙します。
給紙指定動作	パソコンからの印刷時、給紙元と用紙種類を選択している場合の給紙方法を設定します。 設定値 自動: 用紙サイズおよび用紙種類にあわせて給紙元を選択し、印刷します。 固定: 選択した給紙元の用紙で印刷します。
両面	両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。 設定値: 設定しない 、長辺とじ、短辺とじ
A4/LTR共通使用	サイズの近いA4サイズとLetterサイズを共通サイズとみなすかどうかを設定します。 設定値 設定しない: A4サイズとLetterサイズは共通サイズとみなされません。 設定する: A4サイズとLetterサイズが共通サイズとみなされます。どちらかのサイズが給紙元であれば給紙されます。
エミュレーション設定	—
エミュレーション	本機を他のプリンター用のコマンドで動作させるためのエミュレーションを設定します。 設定値: PCL6、NEC PC-PR201、IBM 5577、EPSON VP-1000、KPD、KPD (自動)
ANK フォント 漢字フォント	初期フォント (ANKフォント・漢字フォント) を設定します。プリンター内蔵フォントだけでなく、プリンターのメモリーにフォントをダウンロードしている場合は、初期フォントとして設定できます。
フォントの種類	フォントの種類を設定します。 設定値: 標準
フォントID	フォントIDを設定します。
Courier ^{*1}	Courierフォントの太さを、設定します。 設定値: 標準、太い
Letter Gothic ^{*1}	Letter Gothicフォントの太さを、設定します。 設定値: 標準、太い
サイズ ^{*2}	初期フォントに設定したANKフォントのサイズを設定します。 設定値: 4.00 ~ 999.75 (0.25ポイント単位)  参考 初期フォントを等幅フォントに設定している場合は、この機能は表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。
ピッチ ^{*1}	フォントの文字ピッチの設定ができます。 設定値: 0.44 ~ 99.99 (0.01ポイント単位)、 初期値: 10.00
コードセット	文字コードセットを設定します。選択できる文字コードセットは、現在選択されているフォントにより変化します。

*1 [ANK フォント]のみ

*2 [漢字フォント]のみ

項目	説明
印刷品質	印刷品質を設定します。
スモーキング	本機には、スモーキング機能が搭載されています。スモーキングを設定すると、9600 dpi 相当 (600dpi×15 階調)×600 dpi の滑らかな印刷を実現できます。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
トナーセーブ	トナーの消費量を抑える機能です。ただし印刷はうすくなりますので、試し印刷などのときに設定してください。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
トナーセーブ節約レベル	トナー節約レベル(トナーセーブ)の初期値を選択します。 設定値 : 1 (低く)、 <u>2</u> 、 <u>3</u> 、 <u>4</u> 、 <u>5</u> (高く)
印刷解像度	印刷時の解像度を設定します。 設定値 : <u>Fine1200</u> 、 <u>Fast1200</u> 、600 dpi、300 dpi  参考 操作パネルの設定よりも、プリンタードライバーでの設定が優先されます。
印刷濃度	印刷の濃度を全体的にこく、またはうすくします。5段階で調整します。 設定値 : 1 うすい、 <u>2</u> ~ <u>4</u> 、 <u>5</u> こい、 初期値 : 3
印刷環境	印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。
部数	印刷部数を1~999部まで設定します。 設定値 : 1~999部、 初期値 : 1
縮小印刷	印刷データを縮小して印刷する(縮小印刷)ための設定を行います。縮小前の用紙サイズと縮小率を設定します。 ▶ 縮小印刷の設定について (8-11ページ)  参考 縮小印刷では、等倍の印刷結果とは異なり、文字の線幅が一定にならない場合や、図形、イメージおよびパターンなどの中に線が見られる場合があります。また細かい線などは印刷されない場合があります。また、バーコードを縮小印刷すると、読み取れない場合があります。
印刷向き	印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。 設定値 : <u>たて</u> 、 <u>よこ</u>
改行(LF)動作	本機が改行コード(文字コード0AH)を受信したときの動作を設定します。 設定値 : <u>改行(LF)のみ</u> 、 <u>改行(LF)+(CR)</u> 、 <u>改行(LF)を無視</u>
復帰(CR)動作	本機が復帰コード(文字コード0DH)を受信したときの動作を設定します。 設定値 : <u>復帰(CR)のみ</u> 、 <u>改行(LF)+(CR)</u> 、 <u>復帰(CR)を無視</u>
印刷範囲補正	プリンターの印刷範囲を補正します。用紙の全面に4.2 mmの非印刷領域があります。アプリケーションによっては、印刷位置が意図したものと異なる場合があります。この場合には印刷位置を補正して、印刷位置を縦横方向にずらすことができます。この設定はプリンタードライバーの[PCL XL]ボタンをクリックし、[PDL(ページ記述言語)]ダイアログボックスの[言語選択]リストから[PCL 5e]を選択した場合のみ有効になります。 設定値 範囲補正(たて): -76.0~+76.0 mm 範囲補正(よこ): -76.0~+76.0 mm、 初期値 : 0.0mm
ワイドA4	この設定を[設定する]にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL6のエミュレーションでのみ有効になります。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
XPS印刷範囲設定	XPS印刷サイズ調整の初期値を設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>

項目	説明
TIFF/JPEGサイズ	JPEGまたはTIFFファイルを印刷する際の、画像のサイズ(解像度)の初期値を設定します。 設定値 : <u>用紙サイズに合わず</u> 、画像解像度、印刷解像度
文書名入力	ジョブに名前をつけるときに、自動的に入力される名前(名前の初期値)を設定します。また付加情報として、日時とジョブ番号の有無も設定できます。 設定値 文書名:32文字以内で入力できます。 付加情報:なし、日付、ジョブ番号、 <u>ジョブ番号+日付</u> 、日付+ジョブ番号
ユーザー名	プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
ジョブ名	プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>ジョブ名</u> 、番号+ジョブ名、ジョブ名+番号
ジョブの終端	使用環境や他の理由で印刷ジョブが最後まで処理されなかった場合に、ジョブ終端とみなす条件を設定します。 設定値 EQJ:ジョブデータの終端を表すコマンドの検出までを1ジョブとします。 セッションの終了:ネットワーク接続の1セッション中に含まれるデータを1ジョブとします。 UEL:ジョブの終端部のUELの検出までを1ジョブとします。

縮小印刷の設定について

縮小印刷は次のように表示されます。

ソースサイズ:縮小前の用紙サイズです。印刷データに設定されている用紙サイズと同一でなければなりません。

ターゲットサイズ/縮小率:縮小後の用紙サイズまたは縮小率です。用紙サイズまたは倍率で表示されます。

ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率	ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率
カセットサイズ	100% (カセットサイズ)	A4	100% (A4)
	98% (カセットサイズ)		Letter (94%)
Ledger	100% (Ledger)		B5 (86%)
	Letter (70%)		A5 (70%)
	98% (Ledger)		98% (A4)
Legal	100% (Legal)		B4
	98% (Legal)	B5 (70%)	
Letter	100% (Letter)	A4 (81%)	
	A4 (94%)	98% (B4)	
	98% (Letter)	100% (A3)	
Officioll	100% (Officioll)	A3	
Folio	100% (Folio)		B4 (86%)
8K	100% (8K)		98% (A3)

ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率	ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率
16K	100% (16K)	SF(ストックフォーム)	A4
A5	100% (A5)		B4
		98% (A6)	
B5	100% (B5)		
	A5 (81%)		
	98% (B5)		

ネットワーク

ネットワークに関する設定を行います。

ホスト名

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ホスト名] > [OK]キー

項目	説明
ホスト名	本機のホスト名を確認します。ホスト名の変更はFujitsu Printer Internet Serviceで行います。 ▶ デバイス情報を変更する (2-39ページ)

Wi-Fiダイレクト設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fiダイレクト設定] > [OK]キー
Wi-Fiダイレクトの設定を行います。




参考

この機能は、オプションのプリンタ無線LANカードを装着している場合に表示されます。

初期値：下線がついている値

項目	説明
Wi-Fiダイレクト	Wi-Fiダイレクトを使用するかどうかを設定します。 <u>設定値</u> : 設定しない、設定する
デバイス名	デバイス名を設定します。 参考 <ul style="list-style-type: none"> 文字数は最大32文字までです。 [Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。
IPアドレス	本機のIPアドレスを確認します。 ▶ TCP/IP設定 (8-14ページ) 参考 [Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。
自動切断設定	Wi-Fiダイレクトで接続された機器を自動的に切断します。 <u>設定値</u> : 設定しない、設定する 参考 [Wi-Fiダイレクト]が[設定する]の場合に表示されます。

初期値：下線がついている値

項目	説明
自動切断時間	<p>自動切断設定を設定した場合は、自動的に切断されるまでの時間を設定できます。</p> <p>設定値:0日0時0分~99日23時59分</p> <p> 参考</p> <p>[自動切断設定]が[使用する]の場合に表示されます。</p>




Wi-Fi設定





[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Wi-Fi設定] > [OK]キー
Wi-Fiの設定を行います。






参考

この機能は、オプションのプリンタ無線LANカードを装着している場合に表示されます。

初期値：下線がついている値

項目	説明
Wi-Fi	<p>Wi-Fiを使用するかどうか設定します。</p> <p>設定値:設定しない、設定する</p>
セットアップ	—
接続の状態	無線LANの状態を確認できます。
簡単セットアップ	<p>ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。</p> <p> 参考</p> <p>WEPが設定されているアクセスポイントと接続する場合は、[WEPキーインデックス]を選択してWEPキーインデックスを選択してください。</p>
利用可能なネットワーク	<p>接続可能なアクセスポイントを選択して[OK]キーを選択し、WEPキーまたは事前共有キーを入力すると接続を開始します。</p> <p> 参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [更新]を選択すると、リストが更新されます。 ・ アクセスポイントのセキュリティ設定がWEPの場合は、[メニュー]を選択して[WEPキーインデックス]を設定してください。
WEPキーインデックス	<p>アクセスポイントで設定しているキーインデックスの値を選択してください。</p> <p>設定値:0~3</p>
プッシュボタン方式	<p>アクセスポイントがプッシュボタン式に対応している場合、プッシュボタンを操作して無線設定を行うことができます。この設定でプッシュボタンを実行し、アクセスポイントのプッシュボタンを押して接続を開始します。</p> <p> 参考</p> <p>プッシュボタン式はWPSのみに対応しています。</p>
PIN方式(本体)	<p>本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。</p>

項目	説明																				
カスタムセットアップ	無線LANの詳細設定を変更できます。																				
ネットワーク名(SSID)	本機を接続する無線LANのSSID (Service Set Identifier) を設定します。  参考 文字数は最大32文字までです。																				
ネットワーク認証	ネットワーク認証の方式を選んでください。 設定値 : <u>オープンシステム</u> 、WPA2/WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA2/WPA-EAP、WPA2-EAP																				
暗号化	暗号化方式を設定します。ネットワーク認証の方式により設定値が異なります。 <table border="1" data-bbox="491 573 1481 1043"> <thead> <tr> <th>ネットワーク認証</th> <th colspan="2">暗号化方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">オープンシステム</td> <td>無効</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>WEP</td> <td>WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3</td> </tr> <tr> <td>WPA2/WPA-PSK</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES、<u>自動</u> 事前共有キー:64文字まで</td> </tr> <tr> <td>WPA2-PSK</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで</td> </tr> <tr> <td>WPA2/WPA-EAP</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES、<u>自動</u></td> </tr> <tr> <td>WPA2-EAP</td> <td colspan="2">データの暗号化:AES</td> </tr> </tbody> </table>	ネットワーク認証	暗号化方式		オープンシステム	無効	—	WEP	WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3	WPA2/WPA-PSK	データの暗号化:AES、 <u>自動</u> 事前共有キー:64文字まで		WPA2-PSK	データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで		WPA2/WPA-EAP	データの暗号化:AES、 <u>自動</u>		WPA2-EAP	データの暗号化:AES	
ネットワーク認証	暗号化方式																				
オープンシステム	無効	—																			
	WEP	WEPキー:26文字まで WEPキーインデックス:0~3																			
WPA2/WPA-PSK	データの暗号化:AES、 <u>自動</u> 事前共有キー:64文字まで																				
WPA2-PSK	データの暗号化:AES 事前共有キー:64文字まで																				
WPA2/WPA-EAP	データの暗号化:AES、 <u>自動</u>																				
WPA2-EAP	データの暗号化:AES																				
TCP/IP設定	—																				
TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>																				
IPv4設定	TCP/IP (IPv4) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[設定する]の場合に表示されます。																				
DHCP	DHCP (IPv4) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>																				
Auto-IP	Auto-IPを使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>																				
IPアドレス	IPアドレスを入力します。 設定値 : <u>###.###.###.###</u>  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。																				
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 設定値 : <u>###.###.###.###</u>  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。																				
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを入力します。 設定値 : <u>###.###.###.###</u>  参考 この機能は、DHCPを[設定する]にしている場合は入力できません。																				

項目	説明
DNSサーバー	DNSサーバー (IPv4) を設定します。 設定値 : <u>自動(DHCP)</u> 、Manual  参考 [Manual] を選択した場合は、「プライマリーサーバー」と「セカンダリーサーバー」を入力してください。
IPv6設定	TCP/IP (IPv6) でネットワークに接続するときに設定します。[TCP/IP]が[設定する]の場合、表示されます。
IPv6設定	IPv6を使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
Link Local	[IPv6設定] で[設定する]を選択した場合、ネットワークの再起動後、IPアドレスが表示されます。
手動設定	TCP/IP (IPv6) のIPアドレス、プレフィックス長、およびゲートウェイアドレスを手動で入力します。 設定値 IPアドレス(手動): 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割 プレフィックス長: 0~128 デフォルトゲートウェイ: 128ビットのアドレスを、4桁の16進数で構成される8つのグループで表現。コロン(:)で分割  参考 [IPv6設定] が[設定する]の場合に表示されます。 [デフォルトゲートウェイ] を入力する場合は、[RA (Stateless)] を[設定しない]に設定します。
RA (Stateless)	RA (Stateless) を使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>  参考 [IPv6設定] が[設定する]の場合に表示されます。 [設定する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス1(~5)]にIPアドレスが表示されます。
DHCPv6設定	DHCP (IPv6) サーバーを使用するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>  参考 [IPv6設定] が[設定する]の場合に表示されます。 [設定する]に設定した場合、ネットワークの再起動後、[IPアドレス]にIPアドレスが表示されます。
DNSサーバー	DNSサーバー (IPv6) を設定します。 設定値 : <u>自動(DHCP)</u> 、Manual  参考 [Manual] を選択した場合は、「プライマリーサーバー」と「セカンダリーサーバー」を入力してください。
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

有線ネットワーク設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [有線ネットワーク設定] > [OK]キー
有線ネットワークの設定を行います。

初期値：下線がついている値

項目	説明
TCP/IP設定	設定値は次を参照してください。 ▶ TCP/IP設定 (8-14ページ)
LANインターフェイス	使用するLANインターフェイスを設定します。 設定値 : 自動、10BASE-Half、10BASE-Full、100BASE-Half、100BASE-Full、1000BASE-T

☑ 重要



設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

プロトコル設定





[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [プロトコル設定] > [OK]キー
プロトコルの設定を行います。






初期値：下線がついている値

項目	説明
Bonjour	—
Off/On	Bonjourを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 無効、 <u>有効</u>  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi ^{*2}	
有線	
IPフィルター(IPv4)	—
Off/On	IPフィルター(IPv4)を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>
IPフィルター(IPv6)	—
Off/On	IPフィルター(IPv6)を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>
IPSec	—
Off/On	IPSecを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>

項目	説明
NetBEUI	—
Off/On	NetBEUIを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 無効、 <u>有効</u>  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi ^{*2}	
有線	
SNMPv3	—
Off/On	SNMPv3を使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 無効、 <u>有効</u>  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi ^{*2}	
有線	
FTP (Server)	—
Off/On	FTPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 無効、 <u>有効</u>  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi ^{*2}	
有線	
SNMP	—
Off/On	SNMPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : 無効、 <u>有効</u>  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
Wi-Fi ^{*2}	
有線	
SMTP	—
Off/On	SMTPを使用してメールを送信するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
POP3	—
Off/On	POP3を使用してメールを受信するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する

項目	説明
RAW Port	—
Off/On	Raw Portを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
LPD	—
Off/On	LPDを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
IPP	—
Off/On	IPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。使用するには、Fujitsu Printer Internet Serviceからセキュリティー設定で[非セキュア (IPPSとIPP)]を選択してください。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は631です。 ^{*1} 設定値 :1~32767  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。

項目	説明
IPP over SSL	—
Off/On	SSLで保護されたIPPを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1*3} 設定値 :設定しない、 <u>設定する</u>  参考 設定が[設定する]の場合、証明書のインストールが必要になります。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。 ▶ Fujitsu Printer Internet Service使用説明書
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 :無効、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
HTTP	—
Off/On	HTTPを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 :設定しない、 <u>設定する</u>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 :無効、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
HTTPS	—
Off/On	HTTPSを使用して通信を行うかどうかを設定します。 ^{*1*3} 設定値 :設定しない、 <u>設定する</u>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 :無効、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
LDAP	—
Off/On	LDAPを使用するかどうかを設定します。 設定値 :設定しない、 <u>設定する</u>

項目	説明
WSD-PRINT	—
Off/On	<p>弊社が独自に提供するWeb サービスを使用するかどうかを設定します。WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーはこのEnhanced WSD のWeb サービスを利用します。^{*1}</p> <p>設定値: <u>設定しない</u>、設定する</p>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	<p>各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 無効、<u>有効</u></p>
Wi-Fi ^{*2}	<p> 参考</p>
有線	<p>[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
Enhanced WSD	—
Off/On	<p>弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。^{*1}</p> <p>設定値: <u>設定しない</u>、設定する</p> <p> 参考</p> <p>[設定しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAX ドライバーが使用できません。</p>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	<p>各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 無効、<u>有効</u></p>
Wi-Fi ^{*2}	<p> 参考</p>
有線	<p>[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。</p>
EnhancedWSD(SSL)	—
Off/On	<p>弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。^{*1*3}</p> <p>設定値: <u>設定しない</u>、設定する</p> <p> 参考</p> <p>[設定しない]を選択した場合、WIAドライバー、TWAINドライバー、Network FAXドライバーが使用できません。</p>
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	<p>各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。</p> <p>設定値: 無効、<u>有効</u></p>
Wi-Fi ^{*2}	<p> 参考</p>
有線	<p>[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。</p>

項目	説明
REST	—
Off/On	RESTを使用するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は9080です。 ^{*1} 設定値 : <u>1</u> ～32767  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
REST over SSL	—
Off/On	SSLで保護されたRESTを使用するかどうかを設定します。 ^{*1*3} 設定値 : <u>設定しない</u> 、 <u>設定する</u>  参考 設定が[設定する]の場合、証明書のインストールが必要になります。工場出荷時の証明書は、本機が所有している証明書です。 ▶ Fujitsu Printer Internet Service使用説明書
ポート番号	使用するポート番号を設定します。ポート番号の工場出荷時の値は9081です。 ^{*1} 設定値 : <u>1</u> ～32767  参考 [Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。
利用可能なネットワーク	—
Wi-Fi ダイレクト ^{*2}	各ネットワークで有効にするかどうかを設定します。 設定値 : <u>無効</u> 、 <u>有効</u>
Wi-Fi ^{*2}	 参考
有線	[Off/On]が[設定する]の場合に表示されます。

*1 デバイスまたはネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

*2 この機能は、オプションのプリンタ無線LANカードを装着している場合に表示されます。

*3 「SSL設定」で「SSL」を[設定する]にしてください。

▶ [SSL設定 \(8-27ページ\)](#)

 **重要**

設定変更後にネットワークの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

優先ネットワーク

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [優先ネットワーク] > [OK]キー

参考

この機能は、オプションのプリンタLANカードまたはプリンタ無線LANカードを装着している場合に表示されます。

初期値：下線がついている値

項目	説明
優先ネットワーク	送信機能、ネットワーク認証の接続時に使用するネットワークを設定します。 設定値 : Wi-Fi、 <u>有線</u> 、オプションネットワーク

Ping

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [Ping] > [OK]キー

項目	説明
Ping	送信先のホスト名またはIPアドレスを入力することで、送信先と通信ができるかどうかを確認します。

ネットワークの再起動

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークの再起動] > [OK]キー

項目	説明
ネットワークの再起動	本機のネットワークを再起動します。

オプションネットワーク

オプションのプリンタLANカードの設定を行います。

参考

このメニューは、オプションのプリンタLANカードを装着している場合に表示されます。

基本設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [オプションネットワーク] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [基本設定] > [OK]キー

初期値：下線がついている値

項目	説明
TCP/IP	設定値は、次を参照してください。 ▶ TCP/IP設定 (8-16ページ) [Bonjour]の設定値は、次を参照してください。 ▶ プロトコル設定 (8-16ページ)
NetWare	NetWareを使用して文書を受信します。 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>
AppleTalk	AppleTalkを使用して文書を受信するかどうかを設定します。 ^{*1} 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>

項目	説明
IPSec	IPSecを使用するかどうかを設定します。 <u>設定値</u> : 設定しない、設定する
LANインターフェイス	LANインターフェイスを選択します。 ^{*1} <u>設定値</u> : 自動、10BASE-Half、10BASE-Full、100BASE-Half、100BASE-Full、1000BASE-T
MACアドレスフィルター	MACアドレスフィルターを使用するかどうかを設定します。 <u>設定値</u> : 設定しない、設定する
ネットワークの再起動	ネットワークを再起動します。

*1 デバイスまたは本機のネットワークの再起動後に設定が切り替わります。

共通設定

本機全般について設定します。

言語選択



[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [言語選択] > [OK]キー

項目	説明
言語選択	メッセージディスプレイに表示される言語を設定します。

日時設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [日時設定] > [OK]キー

日付や時間に関する設定を行います。

項目	説明
日付	設置場所の日付を設定します。 <u>設定値</u> : 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31) ▶ 日付と時刻の設定 (2-15ページ)  参考 日付を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
時刻	設置場所の時刻を設定します。 <u>設定値</u> : 時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59) ▶ 日付と時刻の設定 (2-15ページ)  参考 時刻を変更すると、オプションやアプリケーションをお試しで使用することができなくなります。
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 <u>設定値</u> : 月/日/年、日/月/年、年/月/日
タイムゾーン サマータイム	GMT(世界標準時)からのタイムゾーンを設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。 ▶ 日付と時刻の設定 (2-15ページ)

ブザー

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ブザー] > [OK]キー

本機の操作中に鳴るブザーについて設定します。

初期値：下線がついている値

項目	説明
操作確認音	操作パネルのキーを選択したときに鳴る音です。 設定値: <u>設定しない</u> 、設定する
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: <u>設定しない</u> 、設定する
準備完了音	操作が可能になったときに鳴る音です。 設定値: <u>設定しない</u> 、設定する
注意音	エラーが発生したときに鳴る音です。 設定値: <u>設定しない</u> 、設定する

RAMディスク設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [RAMディスク設定] > [OK]キー

初期値：下線がついている値

項目	説明
RAMディスク設定	RAMディスクを作成し、その容量を設定します。 RAMディスクを作成することによって、ジョブボックスからプリントデータを印刷することができます。 設定値 RAMディスクモード: <u>設定しない</u> 、設定する RAMディスクサイズ: <u>1</u> ~16

重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

参考

プリンターの処理に負荷がかかる印刷(大量ページの高解像度での部単位印刷など)において、パソコンから送信されたデータをプリンターが受け切れない場合、パソコンの画面に「印刷エラー」のエラーメッセージが表示(ポップアップ)されることがあります。

プリンター側が再びデータの受信可能な状態になると、自動的にエラーは解除されそのまましばらくお待ちいただければ、エラーの発生したデータも正常に印刷されます。

印刷は正常に完了しますが、「印刷エラー」のエラーメッセージを表示しないようにするには、操作パネルから[RAMディスクモード]の設定を[設定しない]に変更してください。

画面の明るさ

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [画面の明るさ] > [OK]キー

初期値：下線がついている値

項目	説明
画面の明るさ	メッセージディスプレイの明るさを設定します。 設定値: 暗く -2、暗く -1、 <u>ふつう</u> 0、明るく +1、明るく +2

画面のバックライト

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [画面のバックライト] > [OK]キー

初期値：下線がついている値


項目	説明
画面のバックライト	メッセージディスプレイのバックライトを設定します。 設定値 : <u>点灯する</u> 、点灯しない、操作時

エラー処理設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [エラー処理設定] > [OK]キー

エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。

初期値：下線がついている値


項目	説明
両面用紙エラー	選択した用紙サイズまたは用紙種類で、両面印刷できない場合の処理方法を設定します。 設定値 片面: 片面印刷で印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
用紙ミスマッチ	給紙元を指定してパソコンから印刷するとき、ドライバーで指定した用紙サイズまたは用紙種類と、指定した給紙元にセットされている用紙サイズまたは用紙種類が、一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 印刷を続ける: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止: メッセージが表示され、印刷を停止します。
給紙時のサイズエラー	給紙元を指定してパソコンから印刷するとき、ドライバーで指定した用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが、一致しない場合の処理方法を設定します。 設定値 印刷を続ける: 設定を無視して印刷します。 エラーで停止 : メッセージが表示され、印刷を停止します。  参考 印刷が完了したジョブについては、印刷を再度実行しません。
手差し紙なし	給紙元を手差しトレイに固定して印刷するとき、手差しトレイに用紙がない場合、用紙なしメッセージを表示するかどうかを設定します。 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>



タイマー設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [タイマー設定] > [OK]キー

時間に関する設定を行います。

初期値：下線がついている値

項目	説明
オートパネルリセット	オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。ここでは、オートパネルリセットを使用するかどうかを設定します。 設定値 : 設定しない、 <u>設定する</u>  参考 リセットされるまでの時間は、次を参照してください。 ▶ パネルリセット時間 (8-26ページ)

項目	説明
パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合は、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。 設定値 :5~495秒(5秒単位)、 初期値 :120秒
スリープレベル設定	 参考 オプションのプリンタLANカードを装着している場合は、表示されません。
スリープレベル	スリープレベルを設定します。 節電優先を設定すると、復帰優先よりもさらに消費電力を抑えることができます。 設定値 :復帰優先、 節電優先
スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。 設定値 :1~120分(1分単位)、 初期値 :1分 ▶ スリープとオートスリープ (2-33ページ)
週間予約設定	各曜日で指定した時刻に、本機を自動的にスリープにしたり、復帰させるように設定します。
週間予約	週間予約をするかどうかを設定します。 設定値 : 設定しない 、 設定する
スケジュール	本機をスリープにしたり、復帰させる時刻を曜日ごとに設定します。
リトライ設定	—
リトライ回数の制限	本機をスリープにする動作のリトライを行うかどうかを設定します。 設定値 : 設定する 、 設定しない
リトライ回数	リトライする回数を設定します。 設定値 :0~10回、 初期値 :0回  参考 この機能は[リトライ回数の制限]を[設定する]にしている場合に表示されます。
リトライ間隔	リトライする間隔を設定します。 設定値 :10~60秒(10秒単位)、 初期値 :50秒
エラー後自動継続	処理中にエラーが発生すると、通常は処理が停止してユーザーによる対処を待ちます。エラー後自動継続は、エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能です。 設定値 : 設定しない 、 設定する
エラー後継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。 設定値 :5~495秒(5秒単位)、 初期値 :30秒
改ページ待ち時間	本機は、パソコンからの印刷データを受け取る際、データの末尾であることを示す情報がないと、最終ページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページ(印刷)を行います。この待ち時間を5~495秒の範囲で設定します。 設定値 :5~495秒(5秒単位)、 初期値 :5秒
Pingタイムアウト時間	「ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。 設定値 :1~30秒(1秒単位)、 初期値 :5秒

状況/履歴の表示

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [状況/履歴の表示] > [OK]キー


初期値：下線がついている値

項目	説明
状況/履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。
ジョブ状況の詳細	設定値 : <u>すべて表示</u> 、自分のジョブのみ、表示しない
ジョブ履歴	設定値 : <u>すべて表示</u> 、自分のジョブのみ、表示しない

トナー残量少の通知

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [トナー残量少の通知] > [OK]キー

初期値：下線がついている値

項目	説明
トナー残量少の通知	トナーが残り少なくなったときに、トナーを発注するタイミングを管理者に通知するトナー残量を設定します。 設定値 Off/On: <u>設定しない</u> 、設定する トナー残量: 通知するトナー残量を設定します。 設定範囲は5~100%(5%単位)です。  参考 [設定しない]を選択した場合は、トナー残量が5%になると通知します。

バナー印刷前の確認

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [共通設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [バナー印刷前の確認] > [OK]キー

初期値：下線がついている値

項目	説明
バナー印刷前の確認	バナー用紙に複数部数印刷したい場合に、1枚ごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する

セキュリティー

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティー機能の設定ができます。

ネットワークセキュリティー

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティー] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワークセキュリティー] > [OK]キー

SSL設定

初期値：下線がついている値

項目	説明
SSL	SSLサーバーの設定を行います。 設定値 Off/On: <u>設定しない</u> 、設定する

I/Fブロック設定

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [I/Fブロック設定] > [OK]キー
 USBデバイスやオプションインターフェイスなど、外部機器とのインターフェイスをブロックして、本機を保護することができます。

初期値：下線がついている値

項目	説明
USBデバイス	USBインターフェイスコネクタ(USBデバイス)をブロックして保護します。 設定値： <u>ブロックしない</u> 、ブロックする
オプションインターフェイス	オプションインターフェイスをブロックして保護します。 設定値： <u>ブロックしない</u> 、ブロックする
パラレルインターフェイス	パラレルインターフェイスをブロックして保護します。 設定値： <u>ブロックしない</u> 、ブロックする

☑ 重要

設定変更後にシステムの再起動、または電源のOFF/ONが必要です。

セキュリティレベル

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティレベル] > [OK]キー


初期値：下線がついている値

項目	説明
セキュリティレベル	セキュリティのレベルを設定します。 設定値 高い：弊社が推奨するセキュリティ設定です。通常はこの設定を使用してください。 低い：メンテナンス時に使用します。通常は使用しないでください。 最高：[高い]の状態に加えて、外部のコマンドから本体の設定を変更できないようにします。

データセキュリティ

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [セキュリティ] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [データセキュリティ] > [OK]キー
 メモリーに保存されているデータに関する設定を行います。

初期値：下線がついている値

項目	説明
セキュリティデータ消去	本機に登録されている次の情報を、工場出荷時に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> システム設定  参考 <ul style="list-style-type: none"> 途中で処理を取り消すことはできません。 この機能を実行する前に、I/Fブロック設定をすべて[ブロックしない]に設定してください。 ▶ I/Fブロック設定 (8-28ページ) この操作を行う前にモジュラーケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。 消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源起動後に自動的に消去を実行しますが、完全な動作保証はできません。
今すぐ実行	セキュリティデータの完全消去を実行します。

初期値：下線がついている値

項目		説明
	タイマー予約	指定された時刻に本機内のアドレス情報や画像データを完全に消去します。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する [設定する]を選択した場合は、完全消去を実行する日時を設定してください。設定範囲は、年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)です。
	実行後の機器使用	セキュリティーデータの消去後、本機に使用制限を行います。 [禁止する]を選択すると、本機の操作ができなくなります。 設定値 : <u>許可する</u> 、禁止する

ユーザー/部門管理

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

本機の管理に関する設定を行います。

- ▶ [ユーザー管理について \(9-2ページ\)](#)
- [部門管理について \(9-9ページ\)](#)
- [ID不明ジョブ処理 \(9-17ページ\)](#)

調整/メンテナンス

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [調整/メンテナンス] > [OK]キー

印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。

初期値：下線がついている値

項目		説明
静音モード		本機の動作音を抑えることができます。
	静音モード	静音モードを設定します。動作音が気になるときに設定してください。 設定値 : <u>設定しない</u> 、設定する
	ジョブごとの設定	ジョブごとに静音モードを設定することができます。ここではジョブごとの設定を許可するかどうか設定します。 設定値 : <u>許可</u> 、禁止
再起動		電源を切ることなく、CPUを再起動することができます。本機の動作が不安定なときなどに実行してください(パソコンの再起動と同様です)。
サービス設定		本機の保守・点検を行います。主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。
	サービスステータスページ	ステータスページを印刷します。
	ネットワークステータス	ネットワークステータスページを印刷します。
	OPネットワークステータス	オプションネットワークステータスページを印刷します。 この機能は、オプションのプリンタLANカードを装着している場合に表示されます。
	テストページ	テストページを印刷します。
	イベントログ	イベントログを印刷します。
	ドラム	ドラム表面をリフレッシュします。 画像が全体的にうすい、ぼやける場合は、実行することで改善される場合があります。

項目	説明
ドラム2	ドラム表面をリフレッシュします。 白地に黒点が入る場合は、実行することで改善される場合があります。 この操作にはA3用紙が適しています。A4用紙を使用して実行する場合は、用紙を横向き(横置き)でセットし、3回程度実行することをお勧めします。A3用紙またはA4用紙をご準備ください。
トナーインストール	現像ユニットに、強制的にトナーを補給します。 トナー補給動作は、次回起動時に行われます。
自動ドラムリフレッシュ	自動でドラム表面をリフレッシュします。 設定値 :設定しない、短い、標準、長い
ドラムヒーター	ドラムヒーターのON/OFFを設定します。 設定値 :設定しない、設定する
高度調整	高度調整モードを設定します。 設定値 :標準、1001~2000m、2001~3000m、3001~4000m
MC	メインチャージャーの出力を設定します。 白地部分が灰色に見える、画像濃度の低下などの場合に変更します。 設定値 :01~07、初期値:4
転写調整	転写電流を設定します。 設定値 :標準、線画優先

ソフトウェア

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ソフトウェア] > [OK]キー

項目	説明
ソフトウェア	本機のシステムとエンジンソフトのバージョンを確認します。

9 ユーザー管理/部門管理

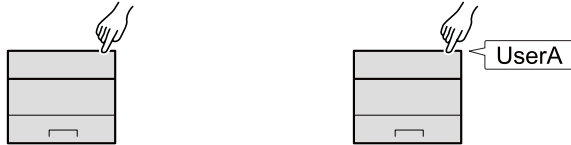
この章では、次の項目について説明します。

ユーザー管理について	9-2
ユーザー管理を有効にする	9-3
ユーザー管理の設定	9-4
ユーザー情報の変更	9-4
印刷のユーザー管理	9-5
ネットワークユーザー情報の取得	9-6
PINコード認証を設定する	9-7
ユーザー管理の使いかた	9-8
ログイン/ログアウト	9-8
部門管理について	9-9
部門管理を有効にする	9-10
部門管理方式	9-10
部門管理の設定	9-11
部門の新規登録	9-11
使用制限	9-11
部門の編集	9-12
部門の削除	9-12
印刷の部門管理	9-13
部門管理の運用	9-14
制限超過時設定	9-14
使用枚数の集計	9-14
部門管理レポート印刷	9-15
部門管理の使いかた	9-16
ログイン/ログアウト	9-16
ID不明ジョブ処理	9-17

ユーザー管理について

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

- 1 ユーザー管理を有効にする
([9-3ページ](#))
- 2 ログインユーザー名とパスワードを入力してジョブを実行する
([2-13ページ](#))

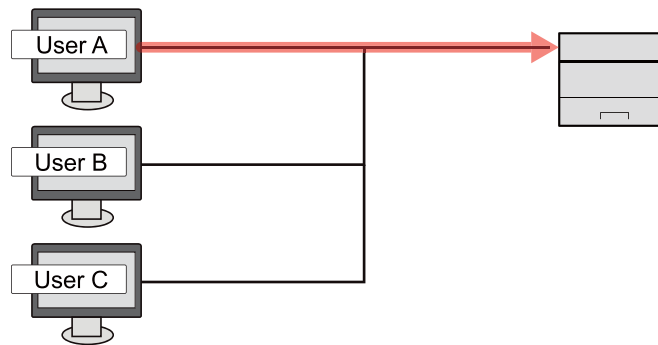


ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

パソコンから印刷するユーザーを管理する場合

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでユーザー管理を設定する
([9-5ページ](#))
- 2 印刷する



ユーザー管理を有効にする

ユーザー管理を有効にします。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

2 設定する

- 1 [▲][▼]キー > [ユーザー管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [認証方法] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ネットワーク認証] > [OK]キー

参考

ユーザー管理を無効にする場合は[設定しない]を選択します。

- 2 [▲][▼]キー > [ネットワーク認証設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [サーバータイプ] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [NTLM]、[Kerberos]または[Ext.] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ホスト名] > [OK]キー

- 3 認証サーバーのホスト名(64文字以内)を入力し、[OK]キーを選択します。

- 4 認証サーバーのドメイン名を選択して、[OK]キーを選択します。

ドメイン名が設定されていない場合は、「-----」を選択して、[メニュー]を選択してください。
[編集]を選択して、[OK]キーを選択して、ドメイン名(256文字以内)を入力してください。[OK]キーを選択するとドメイン名が登録されます。

登録されているドメイン名を編集あるいは削除する場合は、登録されているドメイン名を選択して、[メニュー]を選択してください。

参考

ドメイン名は10件まで登録できます。

- 5 サーバータイプに[Ext.]を選択した場合は、[▲][▼]キー > [ポート] > [OK]キー

- 6 ポート番号を入力して、[OK]キーを選択します。

参考

ログインユーザー名とパスワードが認証されないとき、以下の設定を確認してください。

- 本機のネットワーク認証の設定
- 認証サーバーのユーザープロパティ
- 本機と認証サーバーの時刻設定

本機の設定でログインできない場合、ローカルユーザーリストに登録されている管理者でログインし、設定を修正してください。

ユーザー管理の設定

ユーザーの変更、ユーザー管理の設定を行います。

参考

工場出荷時は、機器管理者の権限を持つデフォルトユーザーと管理者の権限を持つデフォルトユーザーが各1人登録されています。各デフォルトユーザーのユーザー情報は次のとおりです(大文字・小文字は区別されます)。

機器管理者

ユーザー名:	DeviceAdmin
ユーザー名(フリガナ):	DeviceAdmin
ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000
アクセスレベル:	機器管理者

管理者

ユーザー名:	Admin
ユーザー名(フリガナ):	Admin
ログインユーザー名:	Admin
ログインパスワード:	Admin
アクセスレベル:	管理者

ユーザー名、ログインユーザー名、ログインパスワードはセキュリティ保護のため、定期的に変更することをお勧めします。

▶ [ユーザー情報の変更 \(9-4ページ\)](#)

ユーザー情報の変更

ユーザー情報を変更できます。変更できる項目は「ログインユーザー名」、「ログインパスワード」、および「部門コード」です。

参考

機器管理者のユーザー情報を変更する場合は、機器管理者の権限でログインしてください。その他のユーザーでログインした場合は、ユーザー情報の参照しかできません。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは機器管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000

- 2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカルユーザーリスト] > [OK]キー

2 ユーザー情報を変更する

1 ユーザー情報を変更したいユーザーを選択して、[OK]キーを選択します。

2 ユーザー情報を変更します。

「ログインユーザー名」または「ログインパスワード」の[編集]を選択して、情報を入力して[OK]キーを選択します。

[▶]キーを選択すると次のページが表示されます。[◀]キーを選択すると前のページに戻ります。ここでは、「ユーザー名」およびユーザー名の「ふりがな」を参照することもできます。

項目	説明
ユーザー名	ユーザーリストに表示される名前を参照します。
ふりがな	ユーザー名のふりがなを参照します。
ログインユーザー名	ログインのときに入力するログインユーザー名を変更します。
ログインパスワード	ログインのときに入力するパスワードを変更します。半角英数字で最大64文字まで入力できます。
部門コード	ユーザーが所属している部門を登録することができます。所属部門を登録したユーザーでログインすると、部門コードを入力する必要がなくなります。 ▶ 部門管理について (9-9ページ)

参考

管理者権限を持たないユーザーでログインしている場合は、ログインしているユーザーの情報しか変更できません。

3 [OK]キーを選択します。

ユーザー情報が変更されます。

印刷のユーザー管理

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理することができます。

プリンタードライバーの設定

パソコンから本機で印刷するユーザーを管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。

ここでは、Windows 10を例に説明します。

1 画面を表示する

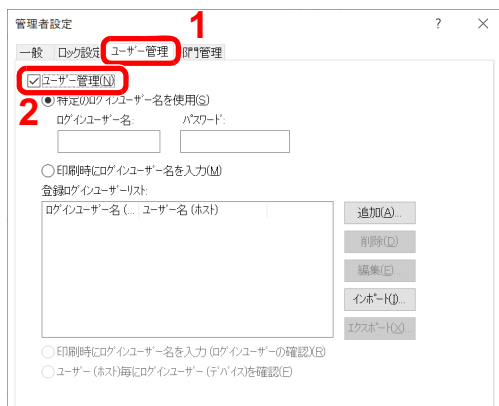
1 Windowsの[スタート]ボタン→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンター]を選択します。

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。

3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [ユーザー管理] タブの[ユーザー管理] を選択します。



- 2 ユーザー管理を設定します。

[特定のログインユーザー名を使用]: 特定のユーザー名とパスワードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じユーザーログインを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびにユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。

[印刷時にログインユーザー名を入力]: 印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にログインユーザー名を入力(ログインユーザーの確認)]: 印刷時に、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ユーザー名とパスワードは「登録ログインユーザーリスト」に登録されているものを入力します。ユーザー名とパスワードは、印刷するたびに入力する必要があります。

[ユーザー(ホスト)毎にログインユーザー(デバイス)を確認]: 印刷時に、Windowsユーザー名を「登録ログインユーザーリスト」で検索し、登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、ユーザー権限のみのユーザーは印刷がキャンセルされます。管理者権限を持つユーザーはユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

- 3 [OK] をクリックします。



参考

ユーザー管理についてのその他の設定は、次を参照してください。

➔ [プリンタードライバー操作手順書](#)

ネットワークユーザー情報の取得

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するために必要な項目を設定します。



参考

- この設定は、「ユーザー管理」の「認証方法」で[ネットワーク認証]を設定し、「サーバータイプ」で[NTLM]または[Kerberos]を設定した場合のみ表示します。

➔ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

- ネットワークユーザー情報を取得する設定は、操作パネルで行います。取得する情報については、Fujitsu Printer Internet Serviceでさらに詳細な設定が可能です。

➔ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [ネットワークユーザー情報] > [OK]キー

設定できる項目は、次のとおりです。

項目	詳細
Off/On	ネットワークユーザー情報取得の有無を設定します。 設定値: 設定しない、設定する
認証方式	認証方式を設定します。 設定値: 簡易認証、SASL

 参考

[認証方式]は、「ユーザー管理」の「認証方法」で[ネットワーク認証]を設定し、「サーバタイプ」で[Kerberos]を設定した場合のみ表示します。

PINコード認証を設定する

 参考

PINコード認証を使用する場合は、ネットワーク認証を有効にし、サーバタイプを[Ext.]に設定する必要があります。

▶ [ユーザー管理を有効にする \(9-3ページ\)](#)

1 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

 参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000

ログインパスワード: 4000

2 [▲][▼]キー > [ユーザー管理設定] > [OK]キー

2 設定する

[▲][▼]キー > [PINコードログイン] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する]または[設定しない] > [OK]キー

ユーザー管理の使いかた

ユーザー管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウト

ユーザー管理が有効の場合は、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログイン、ログアウトの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

本機の操作中にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら次を参照してください。

▶ [ログイン・ログアウト \(2-13ページ\)](#)

ログアウト

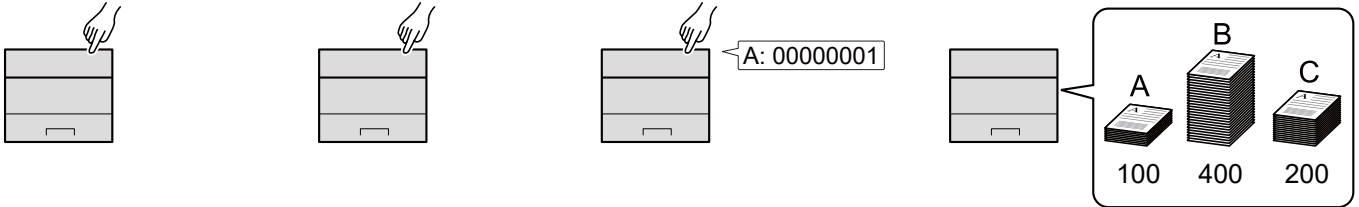


操作が終了したら、[ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。[ログアウト]キーは、ユーザー管理がオンの状態で、ログイン状態の場合のみに有効です。

部門管理について

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別に印刷の使用枚数を管理できる機能です。

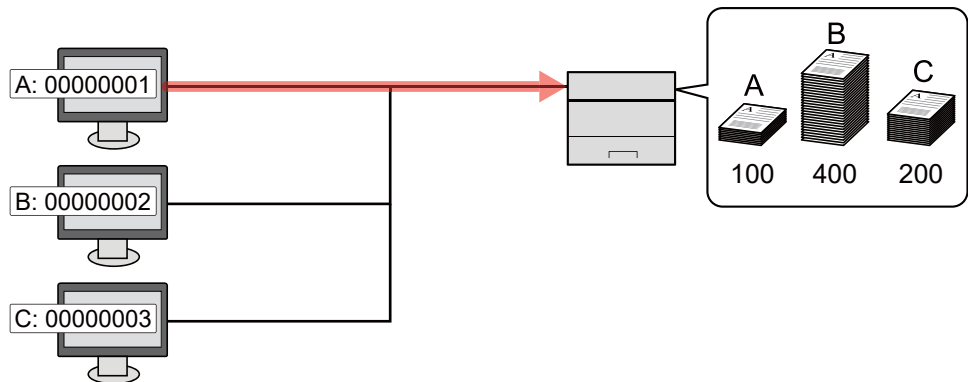
- 1 部門管理を有効にする (9-10ページ)
- 2 部門を設定する (9-11ページ)
- 3 部門コードを入力してジョブを実行する (9-16ページ)
- 4 使用枚数が集計される。



パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理する場合

パソコンから本機で印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーの設定が必要です。

- 1 プリンタードライバーでパソコンに部門管理を設定する (9-13ページ)
- 2 印刷する
- 3 使用枚数が集計される。



部門管理を有効にする

部門管理を有効にします。操作手順は次のとおりです。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー

2 設定する

- [▲][▼]キー > [部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [設定する] > [OK]キー

参考

- ・ 部門管理を無効にする場合は、[設定しない]を選択してください。
- ・ 初期画面に戻ると、自動でログアウトされ、部門コードを入力する画面が表示されます。続けて作業を行う場合は、部門コードを入力してください。

部門管理方式

部門管理方式を設定します。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー

2 設定する

- [▲][▼]キー > [部門管理方式] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [ローカル]または[ネットワーク] > [OK]キー

部門管理の設定

部門の登録や編集、削除をしたり、部門ごとに使用制限を設定できます。

部門の新規登録

新しい部門を登録します。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名:	4000
ログインパスワード:	4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理(ローカル)] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー > [新規登録]

2 部門コードを入力する

「部門コード」を入力 > [OK]キー

部門リストに新しい部門が追加されます。

参考

すでに登録されている「部門コード」は使用できません。別の部門コードを入力してください。

使用制限

部門ごとに使用を禁止したり、使用できる枚数を制限したりすることができます。

使用制限できる項目

項目	詳細
印刷制限	印刷の合計の使用枚数を制限します。

使用制限の方法

使用制限の方法は次のとおりです。

項目	詳細
設定しない	使用を制限しません。
カウンター制限	使用枚数を、1~9,999,999枚の範囲(1枚単位)で制限します。
使用禁止	使用を禁止します。

部門の編集

登録されている部門情報の変更ができます。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理(ローカル)] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー

2 編集する

- 1 部門情報を変更したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。
- 2 [▲][▼]キー > [詳細/編集] > [OK]キー
- 3 変更したい項目を選択し、[OK]キーを選択します。
- 4 「部門の新規登録」の手順2および「使用制限」を参照して、部門情報を変更します。
➔ [部門の新規登録 \(9-11ページ\)](#)
[使用制限 \(9-11ページ\)](#)
- 5 [OK]キーを選択します。
部門情報が変更されます。

部門の削除

部門を削除します。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000
ログインパスワード: 4000

- 2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理(ローカル)] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門リスト] > [OK]キー

2 削除する

- 1 削除したい部門を選択して、[OK]キーを選択します。

- 2 [▲][▼]キー > [削除] > [OK]キー > [はい]

部門が削除されます。

印刷の部門管理

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理することができます。

プリンタードライバーの設定

パソコンから印刷したジョブの使用枚数を管理するには、プリンタードライバーで次の設定が必要です。

ここでは、Windows 10の場合を例に説明します。

1 画面を表示する

- 1 Windowsの[スタート]ボタン→[Windows システムツール]→[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]を選択します。
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ]メニューをクリックします。
- 3 [デバイス設定]タブの[管理者設定]をクリックします。

2 設定する

- 1 [部門管理]タブの[部門管理]を選択します。



- 2 部門管理を設定します。

[特定のコードを使用]: 特定の部門コードを指定して、すべての印刷ジョブに対して同じ部門コードを使用します。この設定が選択されていると、印刷するたびに部門コードを入力する必要はありません。

[印刷時にコードを入力]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードを入力(コードリストの確認)]: 印刷時に、部門コードを入力する画面が表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されているものを入力します。部門コードは印刷するたびに入力する必要があります。

[印刷時にコードリストから選択]: 印刷時に部門コードリストが表示されます。部門コードは「部門コードリスト」に登録されている必要があります。

[ユーザー(ホスト)ごとに部門コードを確認]: Windowsユーザー名が「部門コードリスト」に登録されている場合は印刷できます。登録されていない場合、部門コードを入力する画面が表示されます。その場合は、本製品に登録されている部門コードを入力してください。

- 3 [OK]をクリックします。

参考

部門管理についての詳細の設定は、次を参照してください。

➔ [プリンタードライバー操作手順書](#)

部門管理の運用

制限超過時設定

部門の印刷制限枚数が超過した場合の動作を設定できます。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [制限超過時設定] > [OK]キー

詳細については、次の表を参照してください。

項目	説明
制限超過時設定	制限枚数に達したときの処理を変更できます。処理の内容は次のとおりです。 設定値 即時禁止:制限枚数に達した時点でジョブの処理が禁止されます。 次ジョブから禁止:印刷中のジョブは続行されますが、次のジョブから使用禁止になります。

使用枚数の集計

使用枚数を集計することができます。集計は、全部門または部門別に行います。また、一定期間管理した使用枚数をリセットして、新たに使用枚数のカウントを始めることができます。

[メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理(ローカル)] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門別集計] > [OK]キー

部門別集計

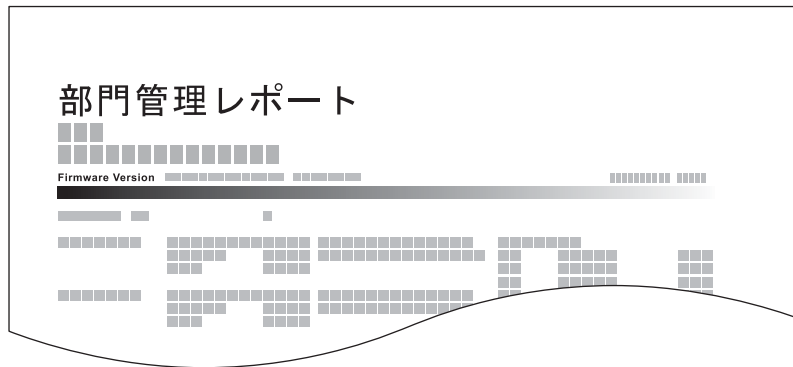
部門別の使用枚数を集計します。また、部門別に使用枚数をリセットできます。

使用枚数は次の項目別にカウントされています。

項目	説明
印刷ページ数	使用枚数が表示されます。また、「両面集計」、「N-up集計」でそれぞれの使用枚数も確認できます。
合計	使用枚数が表示されます。
N-up(なし)	N-up設定をしていない印刷の使用枚数が表示されます。
N-up(2in1)	N-up印刷(2in1)の使用枚数が表示されます。
N-up(4in1)	N-up印刷(4in1)の使用枚数が表示されます。
両面(片面)	片面印刷の使用枚数が表示されます。
両面(両面)	両面印刷の使用枚数が表示されます。
カウンターリセット	使用枚数をリセットします。 確認画面で[はい]を選択してください。

部門管理レポート印刷

全部門で集計された枚数を、部門管理レポートとして印刷できます。



部門管理レポートを印刷する操作手順は、次のとおりです。

1 用紙を準備する

カセットにA4の用紙が補給されていることを確認します。

2 画面を表示する

1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000
ログインパスワード: 4000

2 [▲][▼]キー > [部門管理設定] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [部門管理(ローカル)] > [OK]キー

3 印刷する

[▲][▼]キー > [部門レポート] > [OK]キー > [はい]

部門管理レポートが印刷されます。

部門管理の使いかた

部門管理を設定しているときの操作を説明します。

ログイン/ログアウト

部門管理が有効の場合は、本機を使用するとき、部門コードを入力する画面が表示されます。

ログインの操作手順は、次のとおりです。

ログイン

- 1 本機を操作して部門コードを入力する画面が表示されたら、テンキーで部門コードを入力して、[OK]キーを選択します。

参考

- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

- 2 通常の操作を行います。

ログアウト



ログアウトするときは、[ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻りません(ユーザー管理がオンの状態で、ログイン状態の場合のみに有効です)。

ID不明ジョブ処理

ログインユーザー名(ユーザー)が不明なジョブ、またはログインユーザー名(ユーザー)のないジョブがパソコンから届いた場合の処理方法を選択することができます。ユーザー管理が無効で、部門管理を有効にしている場合は、ジョブの部門コードが不明のときの処理方法となります。

設定項目は次のとおりです。

項目	詳細
許可する	ジョブを処理します。
拒否する	ジョブを処理しません。

1 画面を表示する

- 1 [メニュー]キー > [▲][▼]キー > [ユーザー/部門管理] > [OK]キー

参考

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。ここでは管理者の権限でログインしてください。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名: 4000
ログインパスワード: 4000

2 設定する

- [▲][▼]キー > [不明ユーザー設定] > [ID不明ジョブ処理] > [OK]キー > [▲][▼]キー > [拒否する]または[許可する] > [OK]キー

10 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

日常のお手入れ	10-2
清掃	10-2
トナーカートリッジの交換と注意事項	10-4
廃棄トナーボックスの交換	10-9
こまったときは	10-11
一般的な問題について	10-11
こんな表示がでたら	10-16
紙づまりが発生したら	10-22

日常のお手入れ

清掃

印刷品質を保つため、定期的に本機を清掃します。

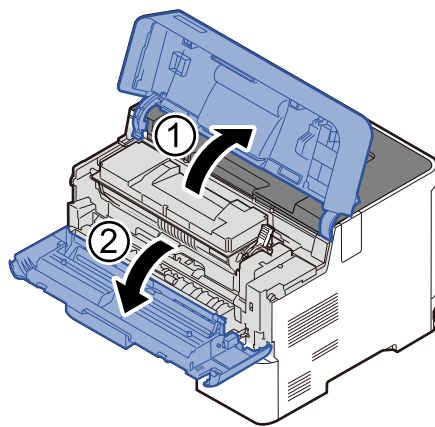


注意

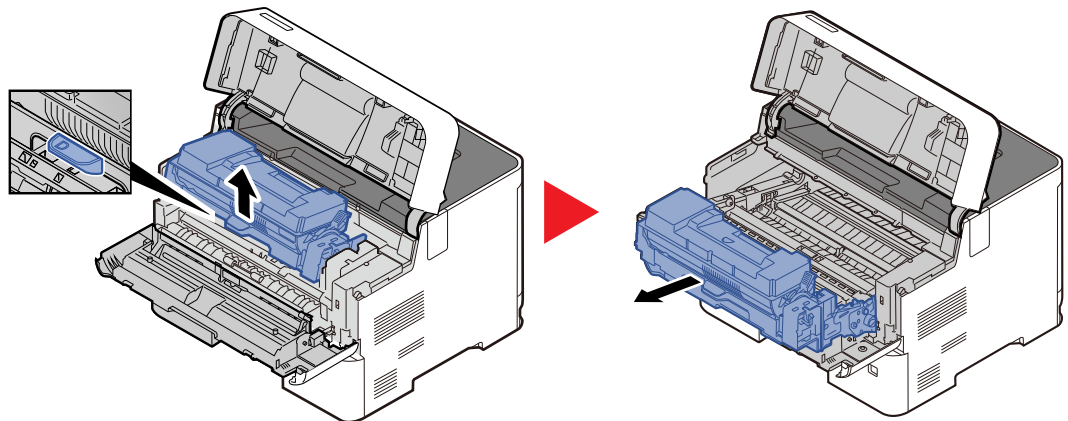
本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レジストローラー

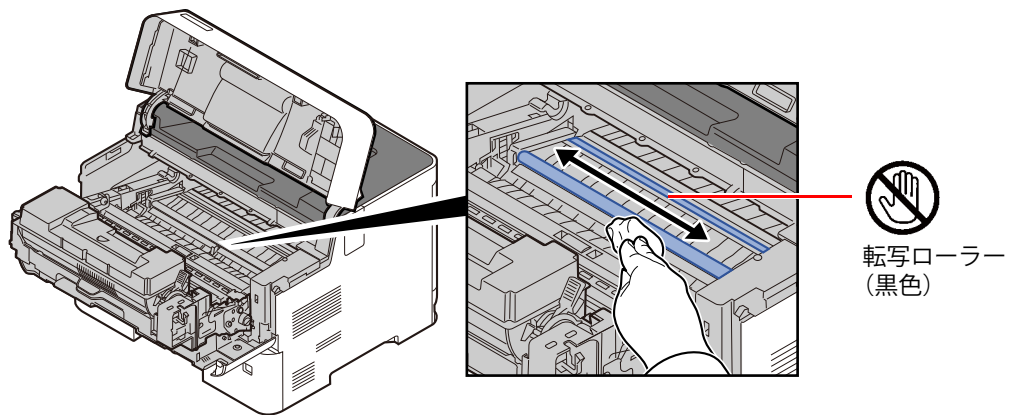
- 1 上カバー①、前カバー②の順にカバーを開ける



- 2 [D]をつまみ、ドラムユニットを持ち上げ、手前に引き出す



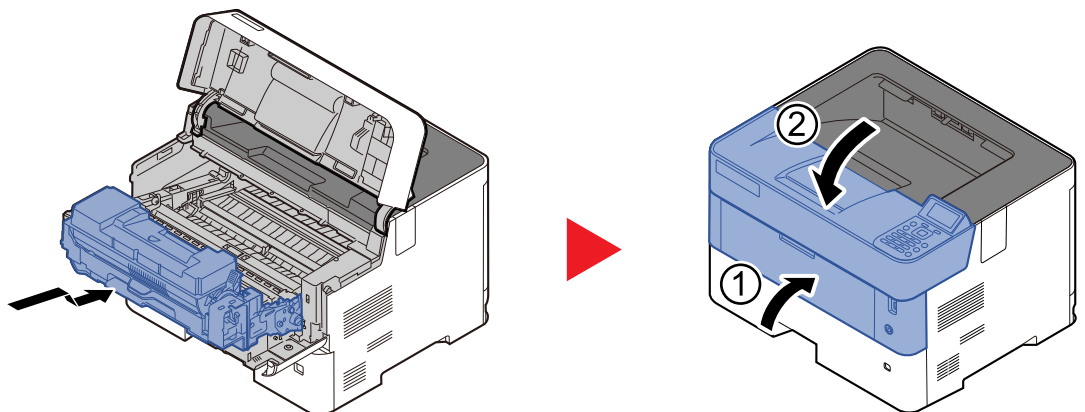
3 乾いた柔らかい布で、レジストローラーに付着しているほこりや汚れを拭き取る



☑ 重要

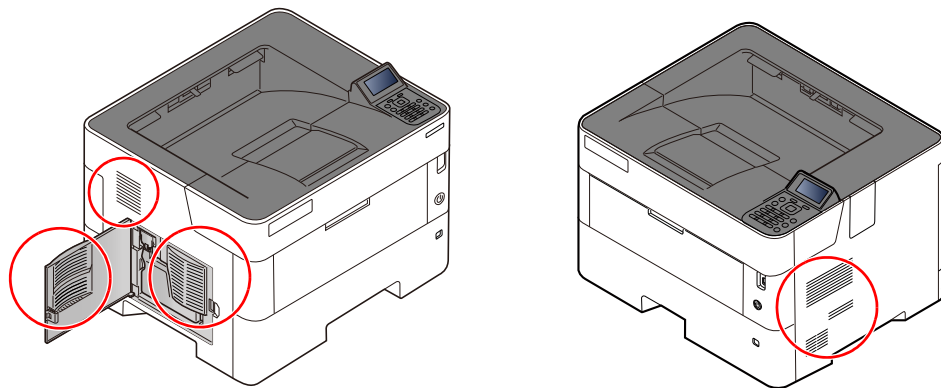
清掃中は転写ローラー (黒色) に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

4 ドラムユニットをゆっくりと戻し、前カバー①、上カバー②の順にカバーを閉める



通風孔

乾いた柔らかい布で、通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ってください。



トナーカートリッジの交換と注意事項

トナー残量が少なくなってくると、メッセージディスプレイに「トナーが少なくなりました」と表示されます。新しいトナーカートリッジをご用意ください。

メッセージディスプレイに「トナーを交換してください」が表示されたときは、すぐにトナーカートリッジを交換してください。

商品名	商品番号	備考
トナーカートリッジLB323	0899920	約10,000ページ印刷可能 (JIS X 6931 (ISO/IEC19752)に基づく)

トナーカートリッジの交換時期

1本のトナーカートリッジで印刷可能な枚数は、印刷データ(どれだけのトナーを使うか)によって変わります。JIS X 6931 (ISO/IEC 19752)に準拠し、トナーセーブモードをオフで使用した場合、トナーカートリッジの印刷量の目安は約10,000ページです(本機に添付のトナーカートリッジ(スターター)も同じです)。

トナーカートリッジの寿命については、印字率、1ジョブあたりの印刷ページ数、用紙サイズなどによって、印刷枚数が規定枚数以下になる場合があります。

参考

- 「トナーが少なくなりました。」と表示されると、トナー補給動作が実行される場合があります。
「トナーが少なくなりました。」と表示された場合は、お早めに新しいトナーカートリッジに交換してください。
- 使用済みのトナーカートリッジや廃棄トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービス([11-33ページ](#))をご利用ください。

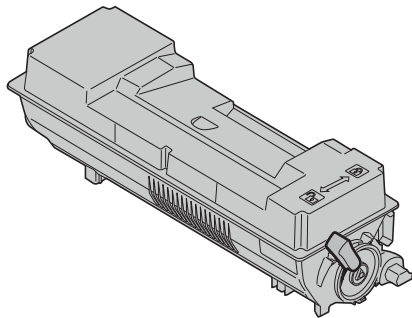
注意

- トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。
- トナーカートリッジは、純正品のご使用をお奨めします。
富士通プリンターは、純正のトナーカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。
- トナーカートリッジや廃棄トナーボックスを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服についたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。

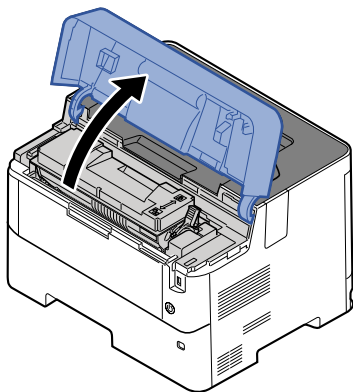
重要

トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、開封から12ヶ月以内で使い切ることをお勧めします。長期間保管したものを使用すると、印刷ムラ/汚れ/かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、購入後は24ヶ月を目安にご使用をお願いいたします。

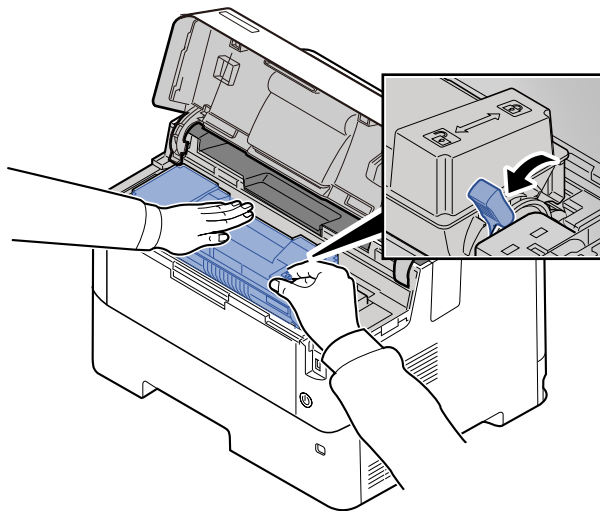
トナーカートリッジの交換方法



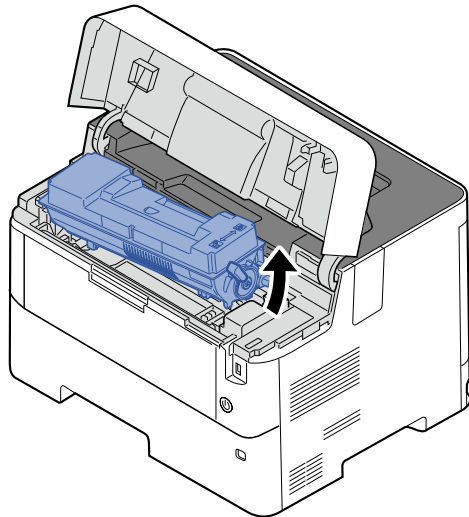
1 上カバーを開ける



2 トナーカートリッジロックレバー(青)を矢印方向に倒してロックを解除する



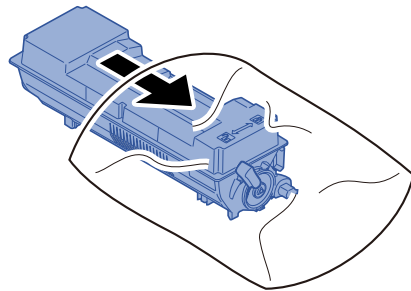
3 トナーカートリッジをゆっくりと取り出す



参考

トナーカートリッジを本体から取り出すときは、右側を最初に持ち上げてください。

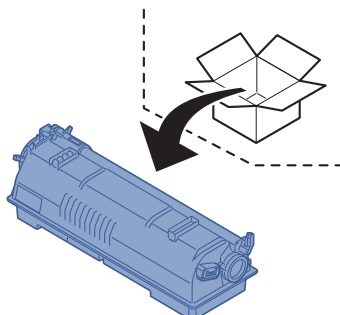
4 取り出したトナーカートリッジをビニール袋(トナーカートリッジに同梱)に入れる



注意

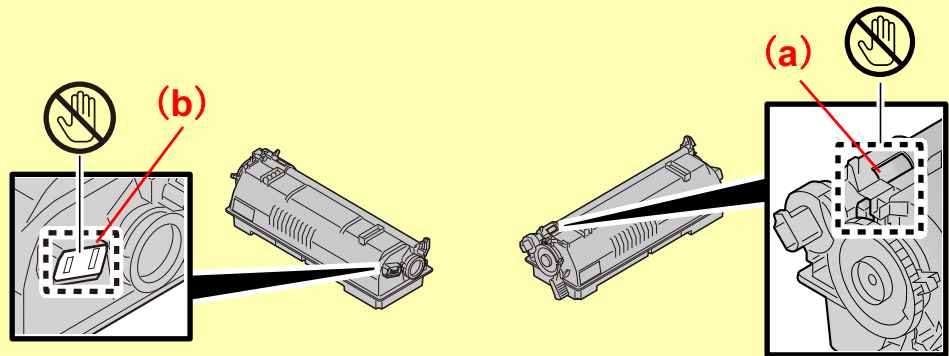
一度使用したトナーカートリッジは振らないでください。振るとトナーがこぼれるおそれがあります。

5 新しいトナーカートリッジを箱から取り出す

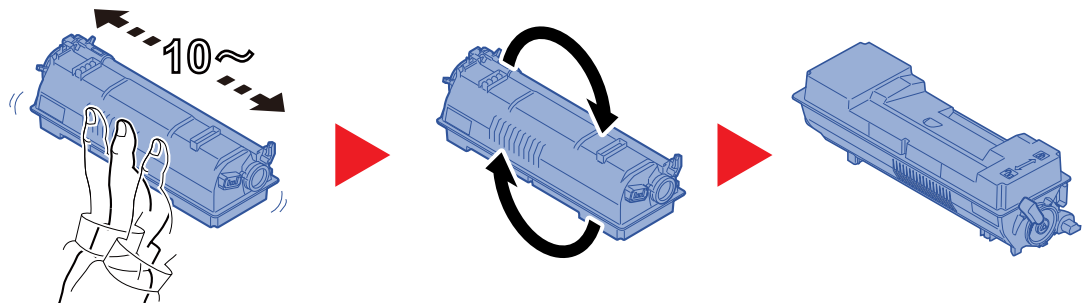


✔ 重要

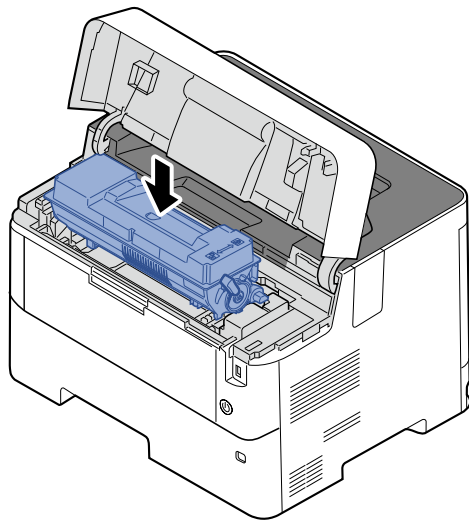
トナーカートリッジの中心を強く押ししたり、トナー供給口(a)や端子部(b)に手を触れないでください。



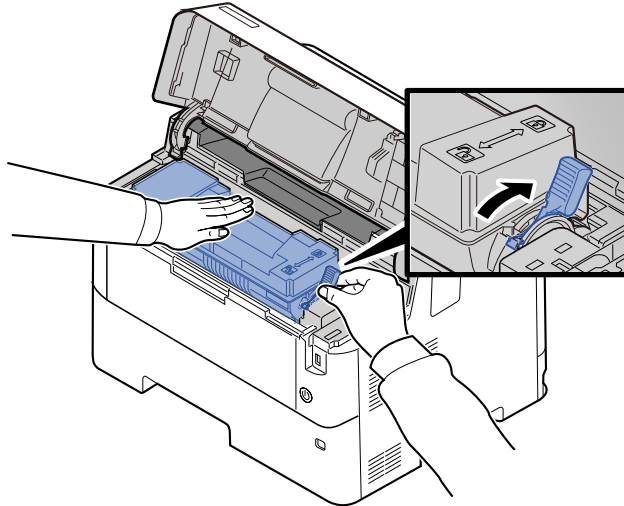
6 トナーカートリッジを裏向きの状態で水平に10回以上振り、ひっくり返す



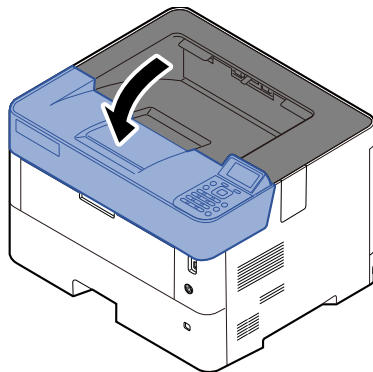
7 トナーカートリッジをセットする



8 トナーカートリッジロックレバー(青)を矢印の方向に倒してロックする



9 上カバーを静かに閉める



参考

- 上カバーが閉まらない場合は、トナーカートリッジロックレバーが正しい位置にあるか(手順8)もう一度確認してください。
- 新しいトナーカートリッジをセットしたときは、トナーインストール動作が行われます。印刷可能状態になるまで約5分かかりますので、そのまましばらくお待ちください。
- 使用済みのトナーカートリッジや廃棄トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービス ([11-33ページ](#)) をご利用ください。

廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスがいっぱいになったときは、すぐに廃棄トナーボックスを交換します。

廃棄トナーボックスは、サプライ品のトナーカートリッジと同梱されています。

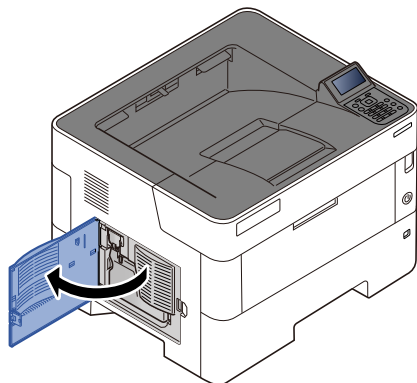
➔ [サプライ品一覧 \(11-15ページ\)](#)



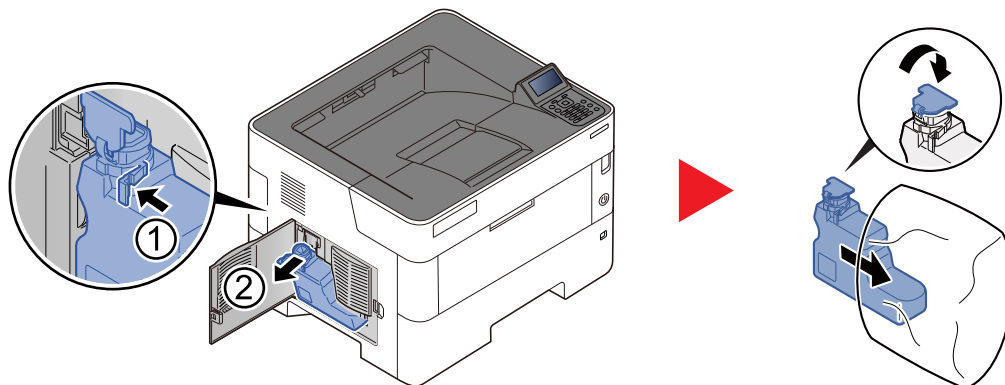
注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

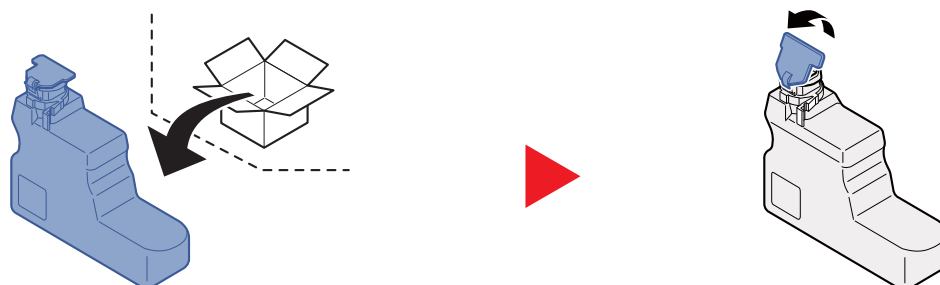
1 左カバーを開ける



2 廃棄トナーボックスを取り外し、廃棄トナーボックスのキャップを閉め、ビニール袋(トナーカートリッジに同梱)に入れる

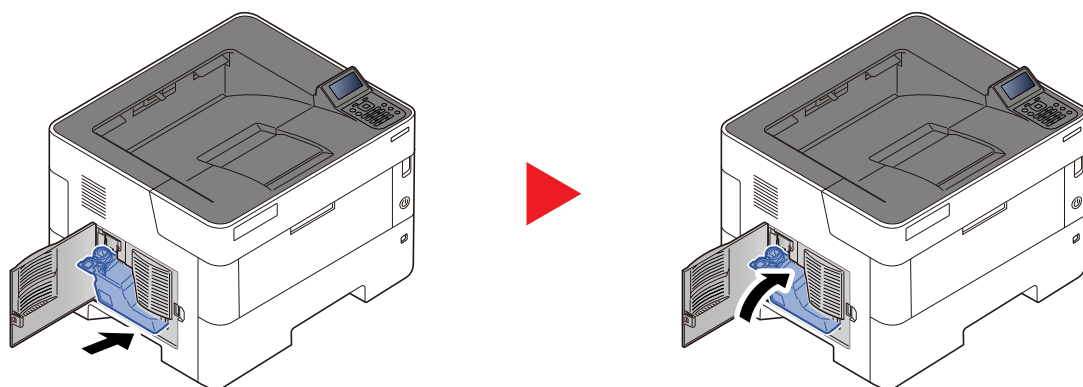


3 新しい廃棄トナーボックスを取り出し、キャップを開ける

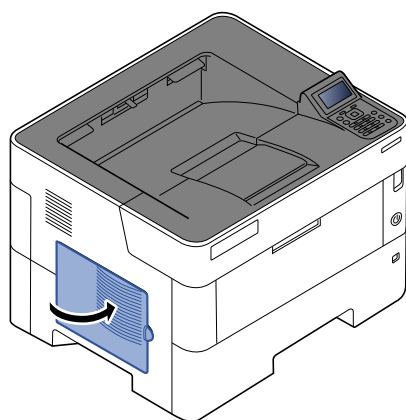


4 廃棄トナーボックスを取り付ける

取り付ける際には、奥までしっかりと押し込んでください。



5 左カバーを閉める



参考

使用済みのトナーカートリッジや廃棄トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービス ([11-33ページ](#)) をご利用ください。

こまったときは

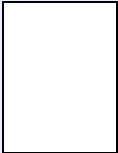
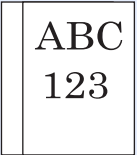
一般的な問題について

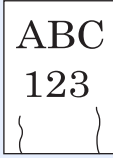

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってください。

ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、お問い合わせ窓口(11-33ページ)にご連絡ください。

機械動作のトラブル

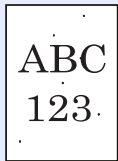
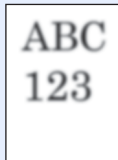
機械動作のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

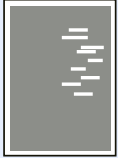
現象	確認事項	処置	参照ページ
アプリケーションが立ち上がらない。	オートパネルリセットの設定時間が短くありませんか？	オートパネルリセットの設定時間を30秒以上に設定してください。	8-26ページ
電源を入れても、画面に何も表示されない。	電源コードを確認してください。	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-7ページ
何も印刷しない。 	—	アプリケーションソフトの設定を確認してください。	—
	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [トナーインストール]を選択し、[OK]キー > [OK]キーを選択、電源を入れ直してください。この動作には約5～10分かかります。	8-29ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットし直してください。	3-2ページ
	—	異なる種類の用紙と交換してください。	11-21ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-2ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-2ページ
	用紙がカールしたり、折れやシワがありませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	一度印刷した用紙を使用していませんか？	新しい用紙に交換してください。	3-2ページ
	つまった用紙や紙片が本機内部に残っていませんか？	つまった用紙を取り除いてください。	10-22ページ
用紙が2枚以上重なって出る。(重送) 	—	用紙を正しくセットし直してください。	3-2ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
用紙にシワが発生する。 	用紙が正しくセットされていますか？	用紙を正しくセットし直してください。	3-2ページ
	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙のセット方向を前後180度変えてください。	3-2ページ
	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
用紙にカールが発生する。 	—	用紙をカセットから一度取り出し、用紙を裏返してセットし直す、または用紙のセット方向を前後180度変えてください。 カールが低減される場合があります。	3-2ページ
	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
プリンタードライバーがインストールできない。	Wi-FiまたはWi-Fiダイレクト機能が使用できる状態で、ドライバーをホスト名でインストールしていませんか？	ホスト名の代わりにIPアドレスを指定してください。	—
印刷が開始されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか？	電源プラグを、確実にコンセントに接続してください。	2-7ページ
	電源が入っていますか？	電源を入れてください。	2-9ページ
	USBケーブルやネットワークケーブルが、正しく接続されていますか？	USBケーブルやネットワークケーブルを確実に接続してください。	2-6ページ
[Auto IP]を[使用する]に設定したが、IPアドレスが取得できない。	TCP/IP (v4)のIPアドレスに0.0.0.0以外のアドレスが設定されていませんか？	TCP/IP (v4)のIPアドレスに0.0.0.0を設定してください。	2-16ページ
排紙口付近から湯気が出る	本機を使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	本機を使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。	—
無線LANで印刷ができない	オプションのプリンタ無線LANカードは装着されていますか？	オプションのプリンタ無線LANカードを装着し、設定してください。	11-2ページ 8-13ページ
	Wi-Fiを使用する設定になっているか確認してください。	Wi-Fiを使用する設定にしてください。	8-13ページ
	[ネットワーク名 (SSID)]や[事前共有キー]などが正しく設定されていない。	無線LANアクセスポイントの設定内容に合わせて、本機の設定を確認してください。	
	シグナルの強さを確認してください。	本機の[レポート印刷]から[ステータスページ]を印刷し、シグナルの強さを確認してください。	8-13ページ 8-3ページ

画像のトラブル

画像のトラブルには次のような現象があります。現象に応じて、処置を行ってください。

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像が全体的にうすい。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	8-10ページ
	トナーカートリッジをよく振りましましたか？	トナーカートリッジを数回左右に振ってください。	10-4ページ
	トナーセーブを設定していませんか？	[トナーセーブ]の設定を、[設定しない]に切り替えてください。	8-10ページ
	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	8-7ページ
	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
画像の白地部分が全体的に灰色に見える。 	濃度を変更していますか？	適切な濃度に設定してください。	8-10ページ
	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[MC]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択し設定値を大きくしてください。調整する際は、現状の設定値から1段階ずつ大きくしてください。1段階大きくしても、効果が現れない場合は、もう1段階、設定を大きくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。	8-29ページ
画像の白地部分に黒点が入る。 	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム2]を選択し、手差しトレイにA3用紙をセットし[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
画像がぼける。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
	湿気が高い、または急激に温度や湿度が変化する場所で使用していませんか？	湿度が適切な環境で使用してください。	—
	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
画像の位置がずれる。 	用紙が正しくセットされていますか？	カセットの用紙幅ガイドの位置を確認してください。	3-3ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
画像に不規則な横白筋が入る。 	標高1,000m以上の高地で使用していませんか？ —	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[高度調整]>[2001~3000m]または[3001~3500m]の設定を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。 異なる種類の用紙と交換してください。	8-29ページ 11-21ページ
使用環境が標高1000 m以上の高地であり、画像に黒点が入る。 	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[高度調整]>[2001~3000m]または[3001~3500m]の設定を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
用紙の先端や裏側が汚れる。 	本体内部が汚れていませんか？	本体内部を清掃してください。	10-2ページ
画像の一部が周期的にうすい、または白い筋が入る。 	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ
前の画像が周期的にうすく残る。 	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	3-10ページ
文字が途切れる、またはかすれる。 	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[トナーインストール]を選択し、[OK]キー>[OK]キーを選択、電源を入れ直してください。この動作には約5~10分かかります。	8-29ページ
縦方向に黒の筋、帯が入る。 	—	[メニュー]キー>[調整/メンテナンス]>[サービス設定]>[ドラム2]を選択し、手差しトレイにA3用紙をセットし、[OK]キー>[OK]キーを選択してください。	8-29ページ

現象	確認事項	処置	参照ページ
横方向に白、黒の筋または帯が入る。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラム2]を選択し、手差しトレイにA3用紙をセットし [OK]キー > [OK]キーを選択してください。	8-29ページ
縦方向に濃度ムラがある。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラム2]を選択し、手差しトレイにA3用紙をセットし [OK]キー > [OK]キーを選択してください。	8-29ページ
画像が一部映らない。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
文字がブレる。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [ドラム]を選択し、 [OK]キー > [OK]キーを選択してください。	8-29ページ
文字がブレる。 	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	3-10ページ
トナーがはがれる。 	—	用紙種類の設定が正しいか確認してください。	3-10ページ
尾引きが発生する。 	用紙が湿気を含んでいませんか？	新しい用紙に交換してください。また、用紙の保存場所を湿気の少ないところに移してください。	3-2ページ
尾引きが発生する。 	—	[メニュー]キー > [調整/メンテナンス] > [サービス設定] > [転写調整]で[線画優先]に変更してください。	8-29ページ

こんな表示がでたら

メッセージディスプレイにメッセージが出たときには、それぞれ確認事項と処理方法を参考に問題を解決してください。

問題が解決されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、お問い合わせ窓口 ([11-33ページ](#)) にご連絡ください。

英数字

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
IDが違います。	—	プライベートプリントで印刷するときに、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。	4-12ページ
IPv6アドレスを[]で囲んでください。	—	ホスト名に入力されたIPv6アドレスが[]で囲まれていません。例のようにIPv6アドレスを囲んで入力してください。 (例: [ae3:9a0:cd05:b1d2:28a:1fc0:a1:10ae]:140)	—
MKを交換してください	—	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスキットの交換が必要です。お問い合わせ窓口 (11-33ページ) にご連絡ください。 警告発生以降の印字品質については保証できません 	—
RAMディスクエラーです。 [OK]を押してください。	—	RAMディスクでエラーが発生しました。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。 以下のエラーコードが表示されます。 04:RAMディスク上の空き容量が足りません。メニューの「RAMディスク設定」でRAMディスクサイズを大きくしてください。	8-24ページ

あ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
アクセスポイントが検出できませんでした。	—	アクセスポイントが正しく設定されているか確認してください。	8-13ページ
上カバーを閉じてください。	—	プリンターの上カバーが開いています。上カバーを閉めてください。	—
上トレイの用紙がいっぱいです。 用紙を取り除いてください。	—	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。	—
後ろカバーを閉じてください。	—	プリンターの後ろカバーが開いています。後ろカバーを閉じてください。	—
エラーが発生しました。 電源スイッチを入れ直してください。	—	電源をいったんオフにし、再度オンにしてください。このメッセージが再度表示される場合は電源を切り、お問い合わせ窓口 (11-33ページ) にご連絡ください。	—

か行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カセット n が抜けています。	—	表示された番号のカセットが入っていません。カセットを正しく入れてください。	3-3ページ
カセット n で紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止します。[ヘルプ]を選択すると、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-24ページ
カセット n に用紙を補給してください。 ↑↓ 用紙サイズ設定と使用している用紙のサイズを合わせてください。	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[代用給紙]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[OK]を選択してください。	3-3ページ
カセット n に用紙を補給してください。 (用紙サイズ) (用紙種類)	表示されているカセットの用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷をする場合は、[代用給紙]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を選択してください。 ジョブを中止するときは、[中止]を選択してください。	3-3ページ
カセット n の用紙なし。	—	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元(給紙カセットまたはオプションの拡張給紙ユニット)に、要求された用紙を補給してください。	3-3ページ
カセット n を確認してください。	—	カセットを引き出してから閉じてください。	—
機器管理者権限が必要です。	—	設定を変更するには、機器管理者の権限でログインする必要があります。	2-35ページ
給紙できません。 カセット n をセットしてください。	—	給紙できません。画面に表示されているカセットをセットしてください。	—
権限がありません。	—	設定を変更するには、管理者の権限でログインする必要があります。	2-35ページ
故障が発生しました。 サービス担当者に連絡してください。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、お問い合わせ窓口(11-33ページ)にご連絡ください。	—
このジョブは実行できません。 認可設定で使用が禁止されています。	—	グループ認可設定で使用が禁止されています。 ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
このユーザー名は登録されていません。	—	入力されたログインユーザー名が間違っています。ログインユーザー名を確認してください。	2-35ページ

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
この部門コードはすでに登録されています。	—	入力された部門コードはすでに登録されています。別の部門コードを登録してください。	9-11ページ
この用紙は両面印刷できません。 ^{*1}	両面印刷できないサイズ、種類の用紙を選択していませんか？	両面印刷可能な用紙を選択する場合は、[代用給紙]を選択してください。両面印刷を解除して印刷する場合は、[継続]を選択してください。ジョブを中止するときは、[中止]を選択してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➔ [エラー後自動継続 \(8-26ページ\)](#)

さ行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
最大接続数を超えるため接続できません。	3台の端末が同時に接続されていませんか？	使用していない端末の接続を解除するか、または本機の自動切断時間を設定して、端末の接続を切断してください。	7-5ページ
最大登録数を超えました。追加できません。	—	部門管理の登録件数が100件を超えたので登録できません。	9-11ページ
実行できません。	—	ジョブの処理中などのため、データの消去ができません。	—
指定外のトナーです。 [ヘルプ]を押してください。	装着されたトナーは純正消耗品(指定トナー)ですか？	非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。	—
ジョブが保存できません [OK]を押してください。	—	ジョブボックス機能を使った印刷時に、RAMディスクの容量が不足している、またはRAMディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。[OK]を選択すると、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。	—
セキュリティレベルが低いです	—	セキュリティレベルを低い設定にしているとき表示されます。	8-28ページ
接続できません。	—	Wi-FiまたはWi-Fiダイレクトの接続が完了しなかった場合に表示されます。設定内容や電波の状態を確認してください。	7-5ページ

た行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
中止中です。	—	データのキャンセル中に表示されます。	—
手差しトレイで紙づまりです。	—	紙づまりが発生すると、印刷が停止します。[ヘルプ]を選択すると、ガイダンスが画面に表示されます。電源を入れたまま、ガイダンスに従って取り除いてください。	10-23ページ
手差しトレイに用紙を補給してください。 (用紙サイズ) (用紙種類)	給紙元に設定している用紙サイズと実際に給紙した用紙サイズが異なっていませんか？	手差しトレイに、印刷データと一致した用紙がありません。用紙をセットしてください。[OK]キーを選択すると印刷を再開します。他の給紙元から印刷する場合は、[代用給紙]を選択すると[給紙元の選択]が表示され、給紙元を変更できます。給紙元を変更しないで印刷する場合は、[継続]を選択します。印刷を中止する場合は、[キャンセル]キーを選択します。	3-7ページ
手差しトレイの用紙なし。	—	給紙元の用紙がなくなりました。手差しトレイに、要求された用紙を補給してください。	3-7ページ
トナーが少なくなりました	—	トナーカートリッジの交換時期が近づいています。トナーカートリッジを準備してください。	—
トナーを交換してください	—	トナーカートリッジを交換してください。	10-4ページ
ドラムリフレッシュ中です。お待ちください。	—	品質保持のため、機械が調整モードに入っています。しばらくお待ちください。	—

な行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
認証サーバーに接続できません。	—	[OK]キーを押し、以下を確認してください。 ・認証サーバーへの登録は正しく行われていますか？ ・認証サーバーのパスワードとコンピュータ名は正しいですか？ ・ネットワークは正しく接続されていますか？。	—
ネットワークに接続できません。ネットワークを確認してください。	—	オプションネットワークに接続できませんでした。オプションネットワークの設定を確認してください。	8-22ページ
ネットワークユーザー情報を取得できませんでした。	—	ネットワーク認証中、ユーザー情報を取得するときにエラーが発生しました。再度ログインしてください。	—

は行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
廃棄トナーボックスが使用済みトナーでいっぱいです。	廃棄トナーボックスがいっぱいになっていませんか？	廃棄トナーボックスを交換してください。	10-9ページ
廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。	—	廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-9ページ
パスワードが違います。	—	正しいパスワードを入力してください。	—
左カバーを閉じてください。	—	プリンターの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。	—
複数印刷できません。 [OK]を押してください。	—	1部だけ印刷することができます。印刷する場合は[OK]を押してください。	—
複数のアクセスポイントが有効になっているため接続できません。	—	Wi-Fi接続時の設定でアクセスポイントのプッシュボタンを同時に複数台押していませんか？ 使用したいアクセスポイントを1台指定して再接続を行うか、またはしばらく待ってから1台のみで再接続してください。	—
部門管理設定エラーです。 [OK]を押してください。	—	外部からジョブを実行する際に、部門管理の設定に失敗しました。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—
部門管理で禁止されています。 [OK]を押してください。	—	部門管理で機能の使用が禁止されています。ジョブは中止されます。 [OK]を選択してください。	9-11ページ
部門管理の制限を超えました。 [OK]を押してください。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。 このジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	9-11ページ
部門コードが違います。	—	部門コードが一致しないため、登録している部門コードを確認してください。	9-11ページ
部門コードが違います。 [OK]を押してください。*1	—	外部からジョブを実行する際に、部門コードが間違っています。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-26ページ\)](#)

ま行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
メモリーオーバーフローです。 一部印刷されないページがあります。 ^{*1}	—	空きメモリーがなくなったため、これ以上ジョブを継続できません。読み込んだページを処理するときは[継続]を選択してください。一部処理されないページがあります。ジョブを中止するときは[中止]を選択してください。 同じ原稿を印刷する場合は、次の操作で実行できる場合があります。 ・システムメニューの[RAMディスク設定]で[設定する]を選択し、RAMディスクサイズを小さくする 参考:[RAMディスクサイズ]の設定値を変更する場合は管理者にご相談ください。	

*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-26ページ\)](#)

ら行

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
ログインユーザー名またはパスワードが違います。	—	NTLMサーバーへの認証に失敗しました。正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。	—
ログインユーザー名またはパスワードが違います。 ジョブを中止します。 ^{*1}	—	外部からジョブを実行する際に、ログインユーザー名またはパスワードが間違っています。ジョブは中止されます。[OK]を選択してください。	—

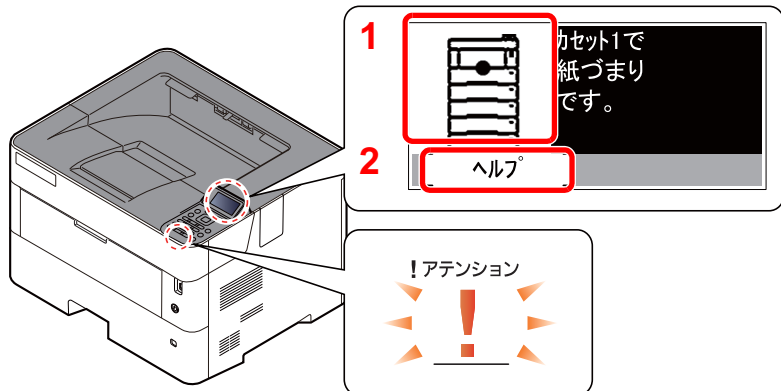
*1 エラー後自動継続を[設定する]にしている場合は、一定時間経過した後に、自動的に処理を再開します。

➡ [エラー後自動継続 \(8-26ページ\)](#)

紙づまりが発生したら

紙づまりが発生すると、印刷が停止し、メッセージディスプレイに「紙づまりです。」が表示されます。以降の手順を参照して、つまっている用紙を取り除きます。

紙づまり位置表示



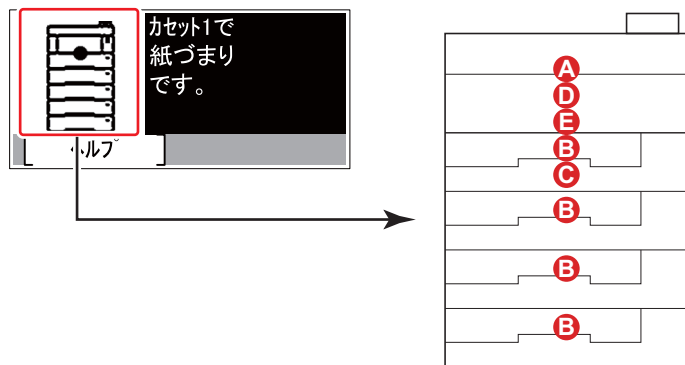
- 1 紙づまりの位置情報を表示します。
- 2 ヘルプ画面を表示します。

参考

ヘルプ画面については、以下を参照してください。

➔ [ヘルプ画面の使いかた \(2-12ページ\)](#)

紙づまりが発生すると、メッセージディスプレイに紙づまり位置表示と処置方法が表示されます。



紙づまり位置表示	紙づまりの位置	参照ページ
A	手差しトレイ	10-23ページ
B	カセット1~4	10-24ページ
C	両面ユニット	10-25ページ
D	本体内部	10-26ページ
E	上トレイ・後ろカバー内部	10-27ページ

紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

注意事項

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り出すときに用紙が破れた場合、紙片を本機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。



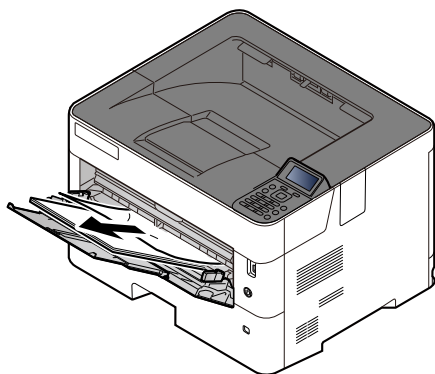
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

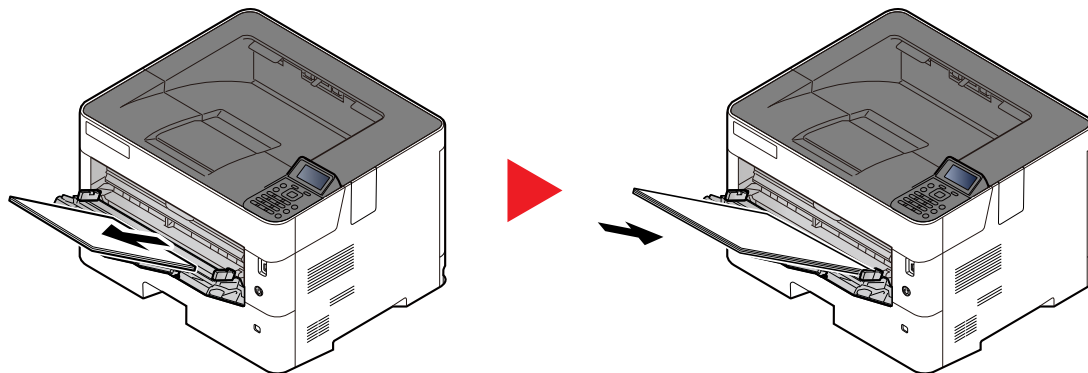
手差しトレイ

手差しトレイに用紙をセットしている場合は、いったん手差しトレイの用紙を取り出してください。

1



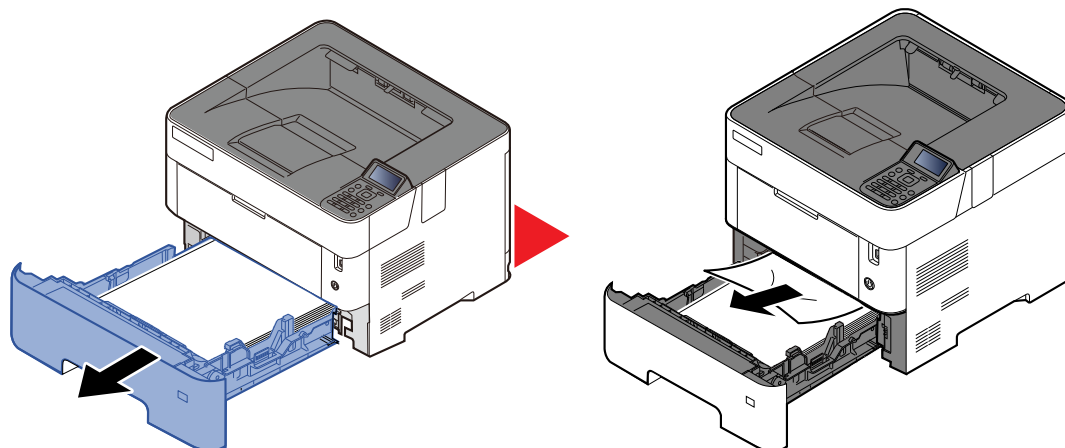
2



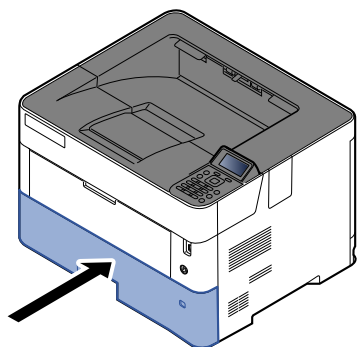
カセット1~4

カセット1~4の紙づまりの処置方法はすべて同じです。ここではカセット1を例に説明します。

1

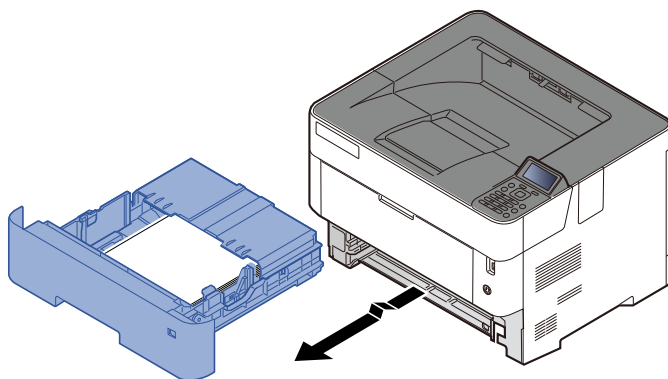


2

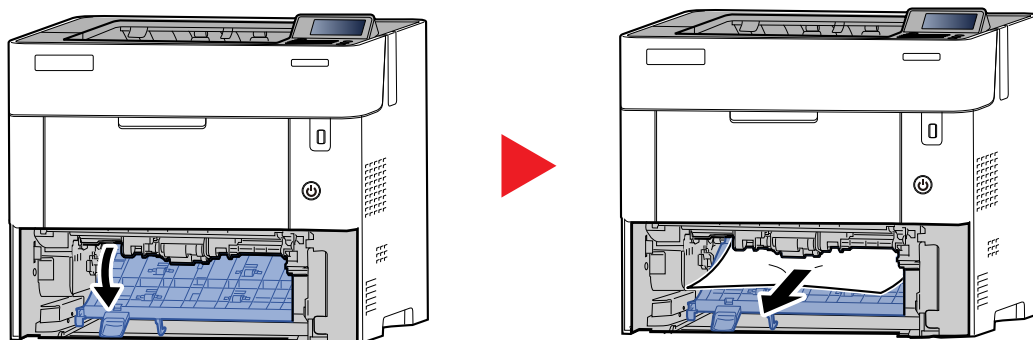


両面ユニット

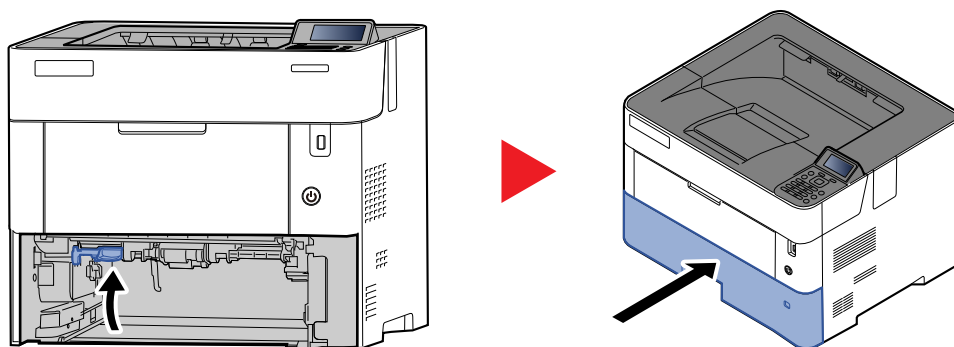
1



2



3

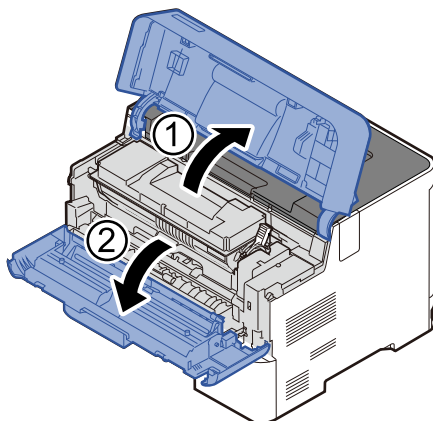


注意

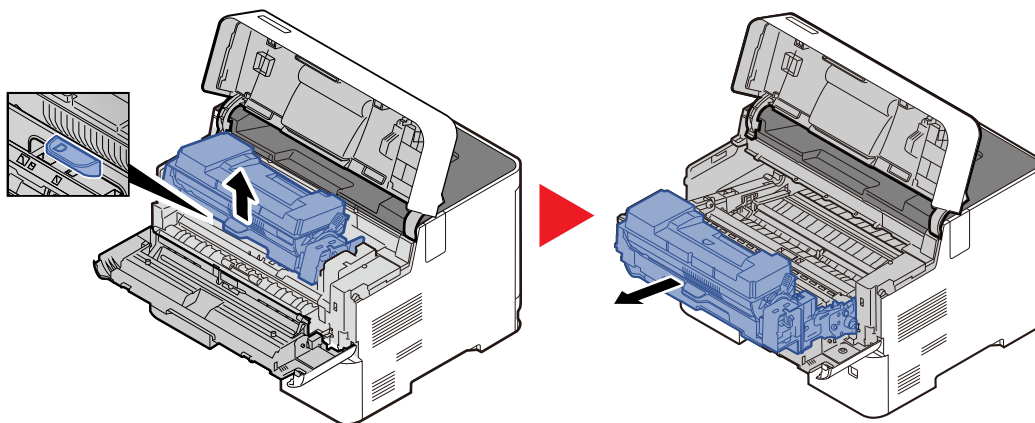
必ず両面カバーが閉じていることを確認してから、給紙カセットをセットしてください。

本体内部

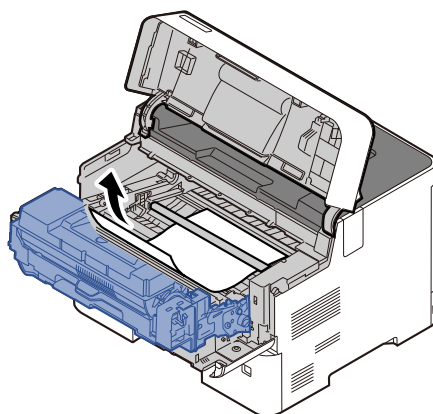
1



2



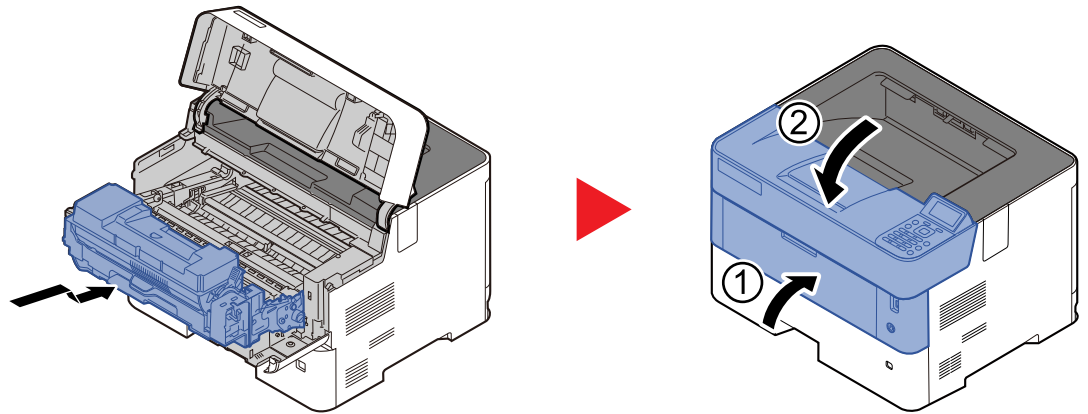
3



つまった用紙がローラーにはさまっている場合は、手前方向にゆっくりと引き抜きます。
つまった用紙が見つからない場合は、後ユニットの奥側(本体後側内部)も確認してください。

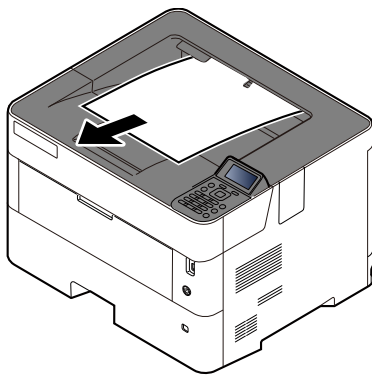
▶ [上トレイ・後ろカバー内部 \(10-27ページ\)](#)

4

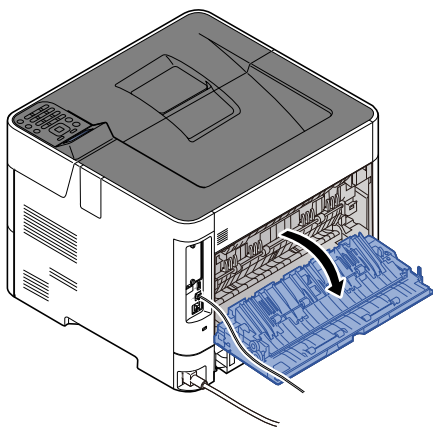


上トレイ・後ろカバー内部

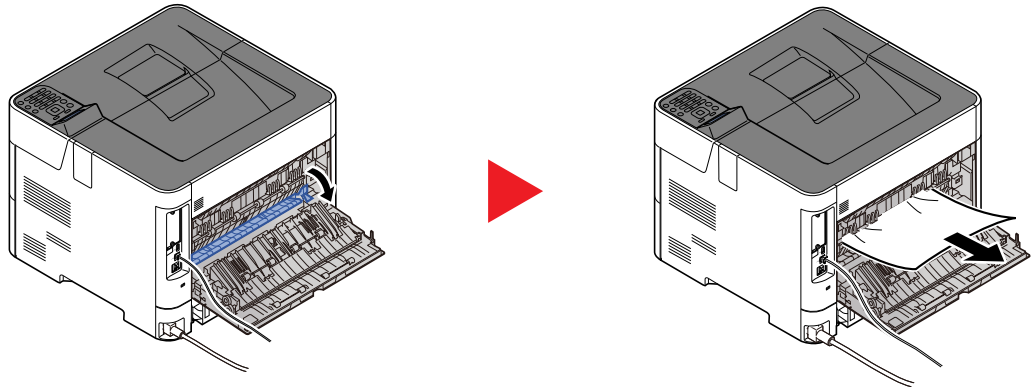
1



2



3

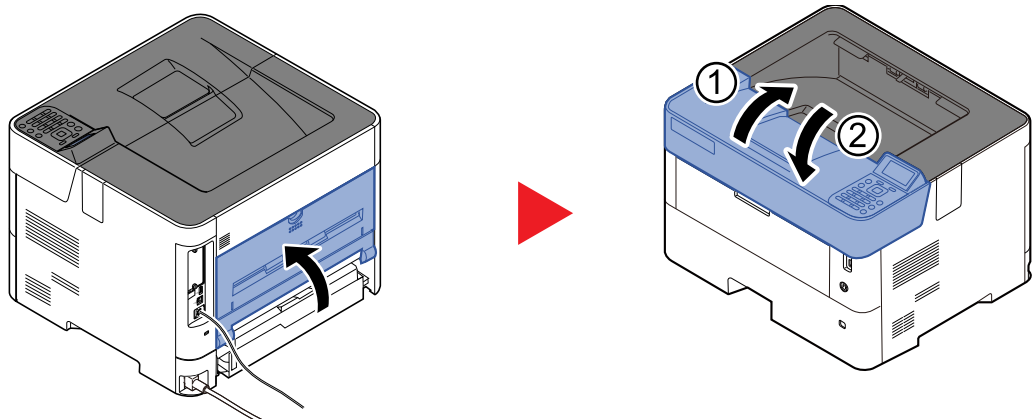


つまった用紙が見つからない場合は、後ろユニットの奥側(本体後側内部)も確認してください。

注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

4



11 付録

この章では、次の項目について説明します。

オプションについて	11-2
オプション構成	11-2
拡張給紙ユニットの取り付け	11-3
プリンタLANカードの取り付け	11-6
パラレルインターフェースカードの取り付け	11-7
プリンタ無線LANカードの取り付け	11-11
有寿命部品/消耗品/定期交換部品/24時間運用について	11-13
有寿命部品について	11-13
消耗品について	11-13
定期交換部品について	11-13
24時間以上の連続運用について	11-14
サプライ品一覧	11-15
推奨用紙	11-16
文字の入力方法	11-17
使用するキー	11-17
入力文字の選択	11-18
文字の入力	11-18
用紙について	11-21
用紙の基本仕様	11-21
適正な用紙の選択	11-22
特殊な用紙	11-24
仕様	11-28
本体	11-28
プリンター機能	11-31
拡張給紙ユニット(550枚×1)	11-32
本製品のサイズ	11-32
アフターサービスについて	11-33
本製品の廃棄について	11-33
本書で紹介しているURLについて	11-34
用語集	11-35

オプションについて

☑ 重要

オプション品は必ず、指定のものをご使用ください。

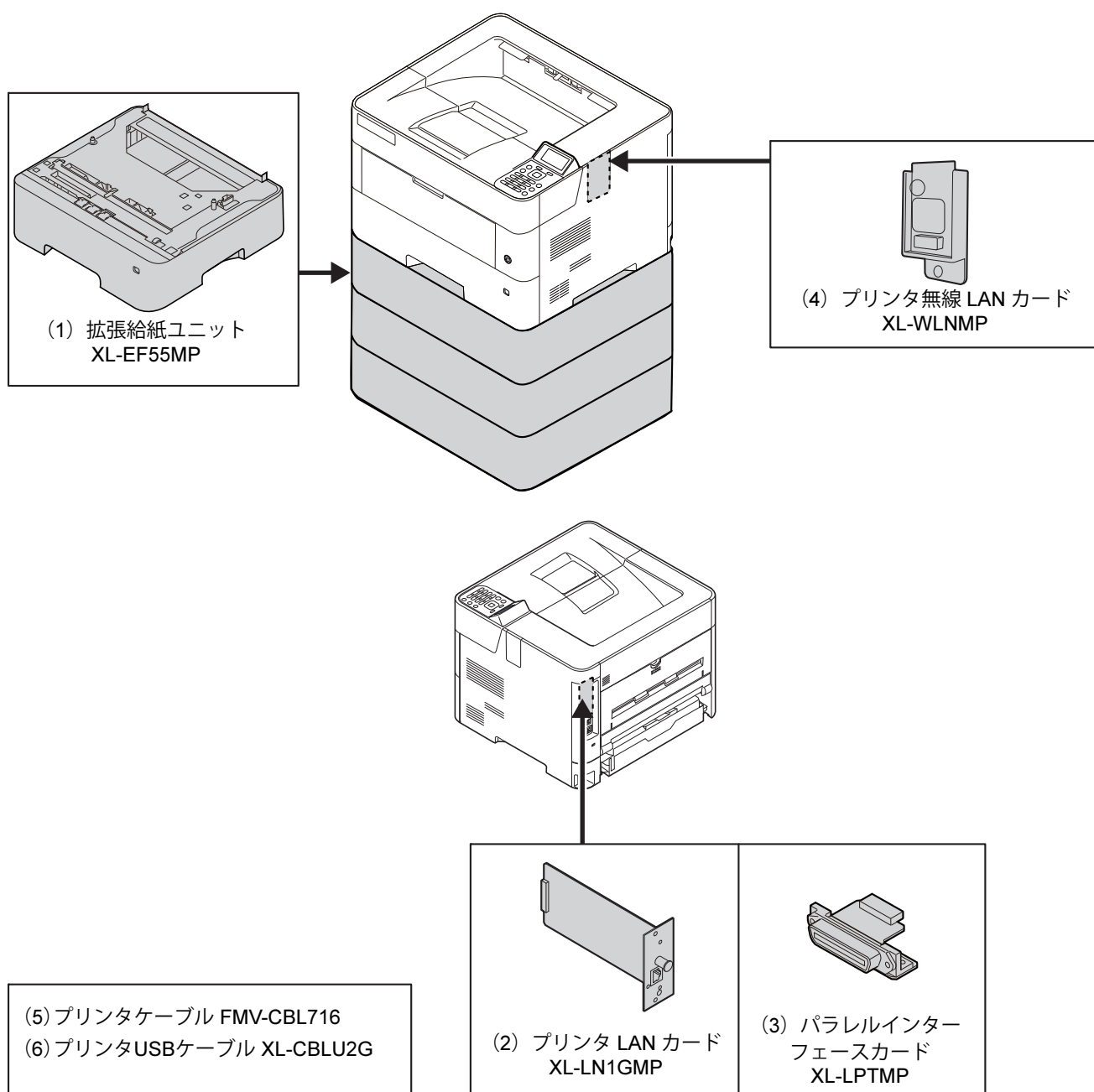
指定以外のオプション品をご使用いただく場合、プリンターの動作保証は一切致しかねますのでご注意ください。

オプション構成

本機では、次のオプションが使用できます。

なお、オプションの情報は、本書を発行した時点のものです。

最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。



(1) 拡張給紙ユニット XL-EF55MP

本体のカセットと同様のものを3段増設することができます。収容枚数は約550枚(64g/m²の用紙の場合)です。用紙のセットのしかたは標準カセットと同じです。

➔ [拡張給紙ユニットの取り付け \(11-3ページ\)](#)

(2) プリンタLANカード XL-LN1GMP

標準装備のネットワークインターフェイス(LAN)に、2回線目のLANを同時に接続することができます。

➔ [プリンタLANカードの取り付け \(11-6ページ\)](#)

(3) パラレルインターフェースカード XL-LPTMP

パラレルインターフェースカードは、2Mbpsまでの通信速度に対応しています。本オプションを使用するときは、オプションのプリンターケーブルをお使いください。

➔ [パラレルインターフェースカードの取り付け \(11-7ページ\)](#)

(4) プリンタ無線LANカード XL-WLNMP

ワイヤレスネットワーク(無線LAN)規格IEEE802.11n(MAX 65 Mbps)および11g/bに対応したワイヤレスネットワークインターフェースカードです。

また、Wi-Fiダイレクトにも対応しており、無線LANルーターを介さずにネットワーク印刷が可能になります。

➔ [プリンタ無線LANカードの取り付け \(11-11ページ\)](#)

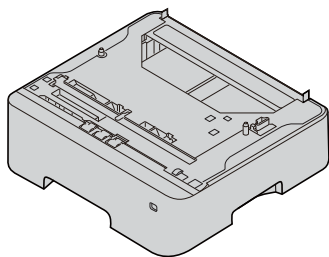
(5) プリンタケーブル FMV-CBL716

パラレルケーブル。富士通製パソコン、各社PC/AT互換機に接続できます(1.5m)。

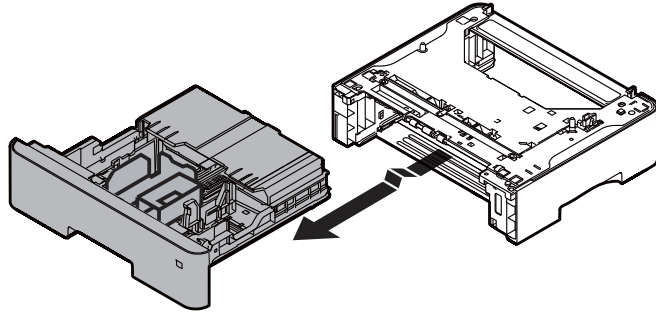
(6) プリンタUSBケーブル XL-CBLU2G

サポートOSが動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応しています(1.5m)。

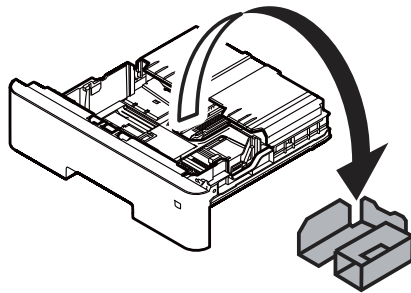
拡張給紙ユニットの取り付け



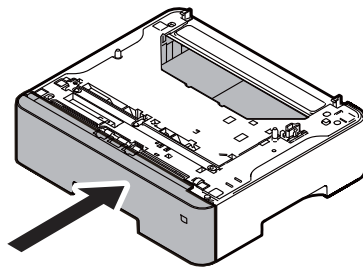
1 拡張給紙ユニットからカセットを引き出す



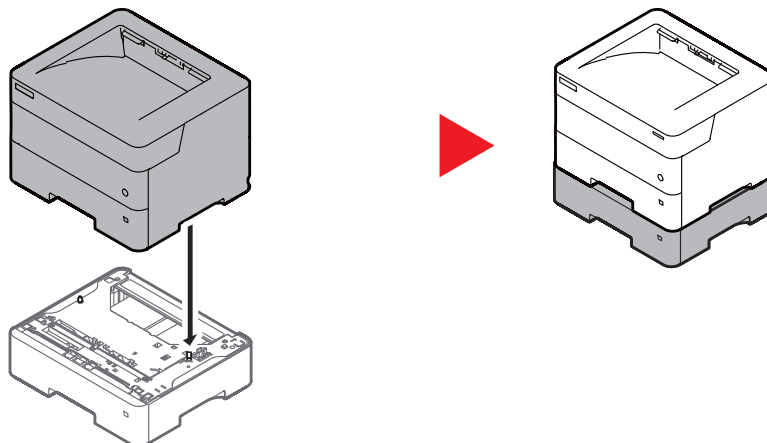
2 カセットから保護材を取り出す

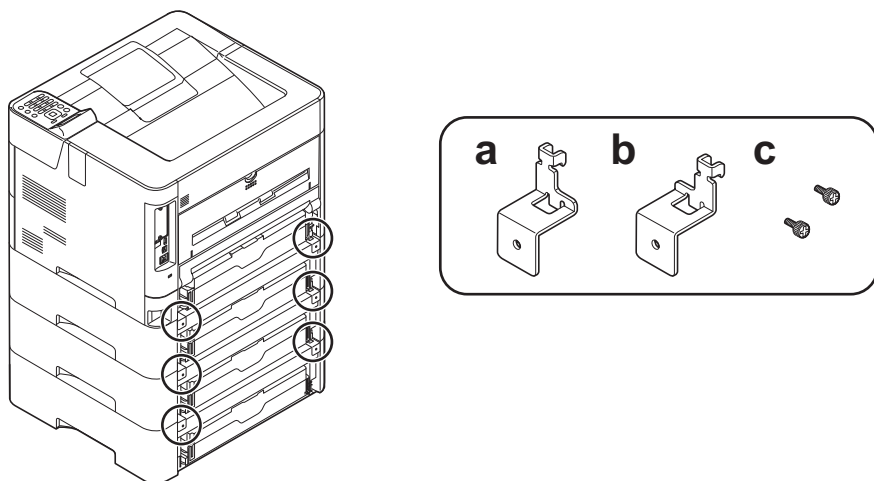


3 カセットを差し込み、奥までゆっくり押し込む

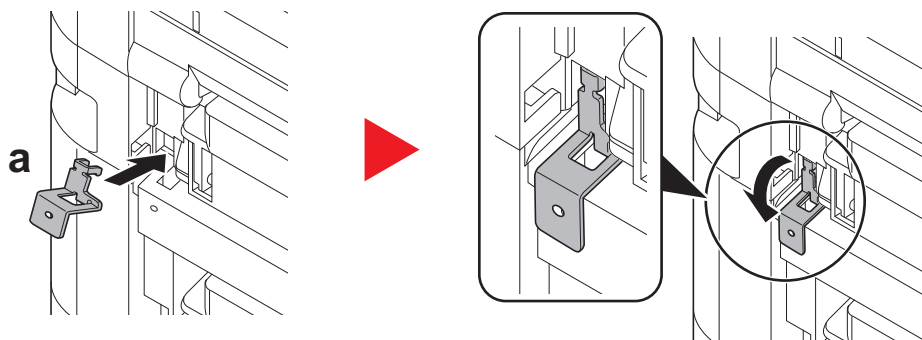


4 プリンター本体を持ち上げ、拡張給紙ユニットと組み合わせる

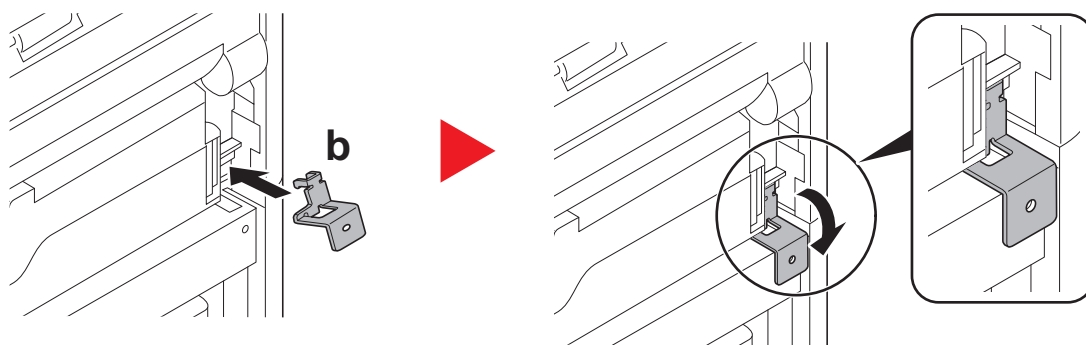




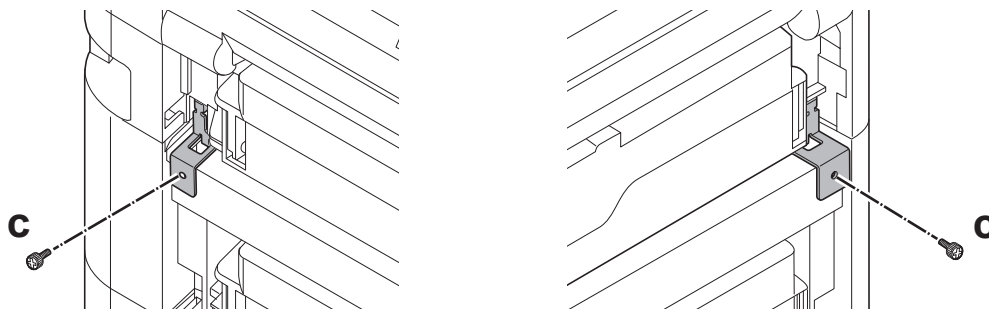
5 拡張給紙ユニットのツメ穴に拡張給紙金具(a)のツメを差し込む



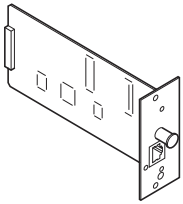
6 プリンターまたは拡張給紙ユニットのツメ穴に拡張給紙金具(b)のツメを差し込む



7 拡張給紙ユニットと拡張給紙金具をネジ(c)で固定する



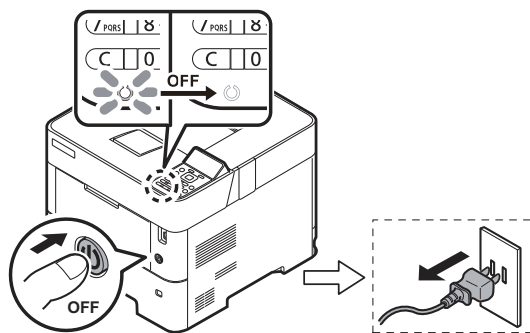
プリンタLANカードの取り付け



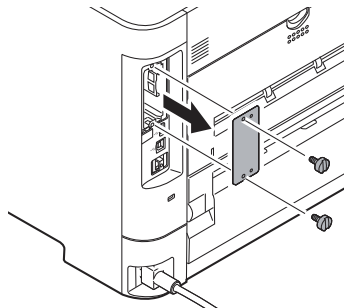
オプションネットワークを使用するには、プリンタLANカードの設定が必要です。

▶ [オプションネットワークを設定する \(2-18ページ\)](#)

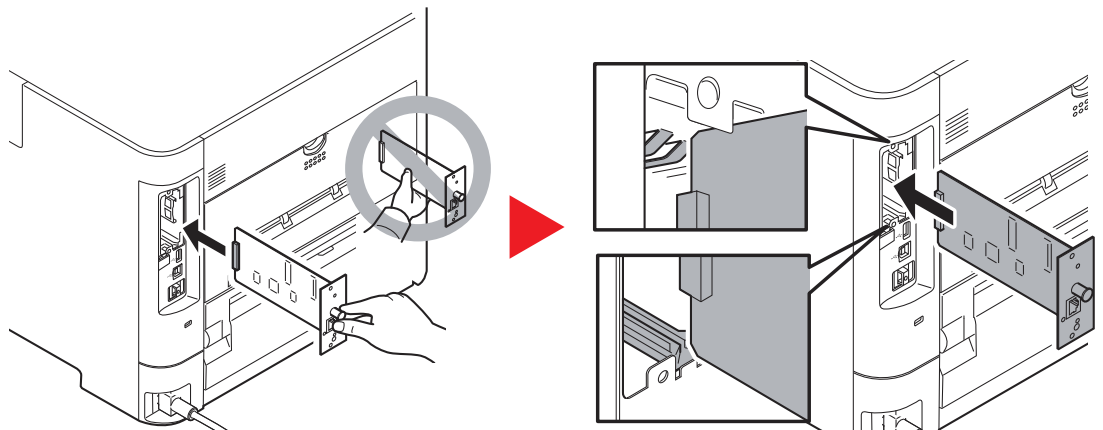
- 1 電源スイッチを押して電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜く
電源をオフにすると、操作パネルが消灯します。



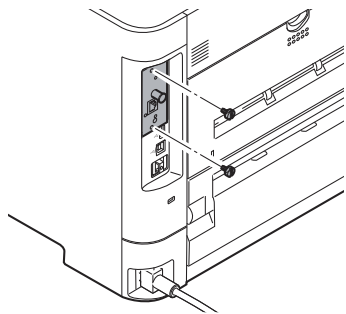
- 2 ネジを2ヶ所外し、プレートを取り外す



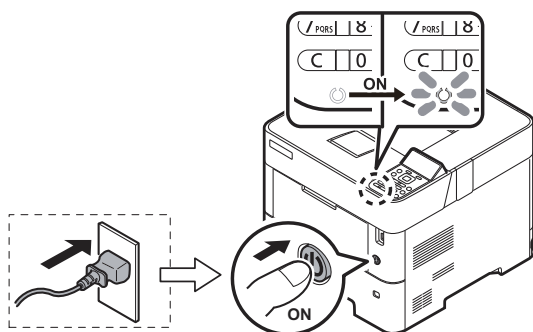
- 3 プリンタLANカードの先端にある黒いつまみ部分を持ちながら、ガイドレールに沿ってプリンタLANカードを差し込む



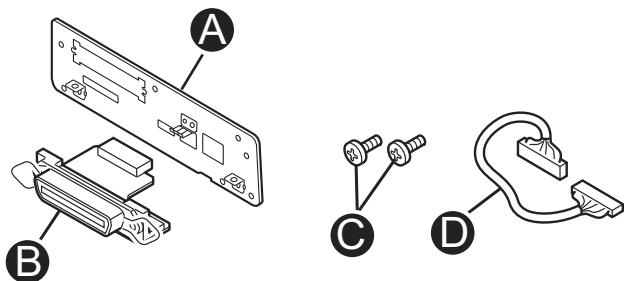
4 ネジを2ヶ所締める



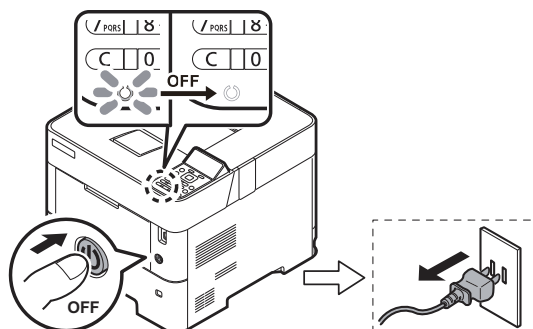
5 電源プラグをコンセントに差した後、電源スイッチを押す



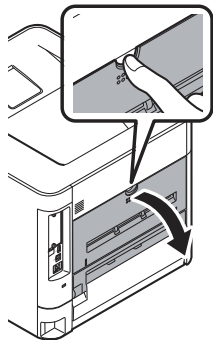
パラレルインターフェースカードの取り付け



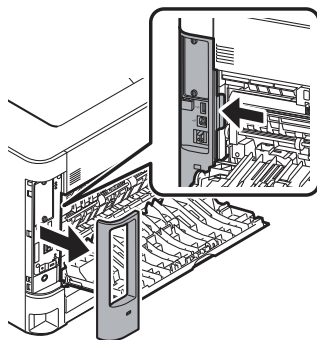
- 1 電源スイッチを押して電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜く
電源をオフにすると、操作パネルが消灯します。



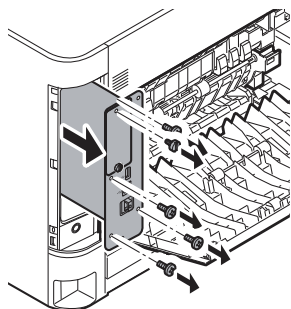
2 後ろカバーを開く



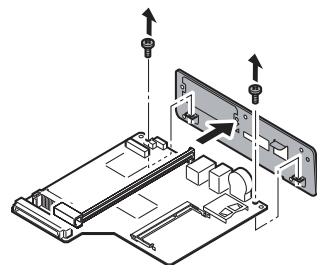
3 インターフェイスカバーを取り外す



4 ネジを5ヶ所外し、インターフェイスボードを取り外す

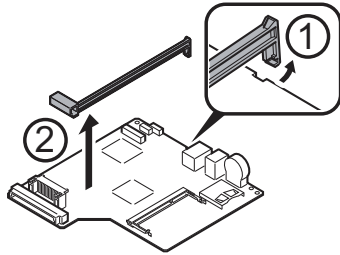


5 ネジを2ヶ所外し、基板とI/Oパネルを外す



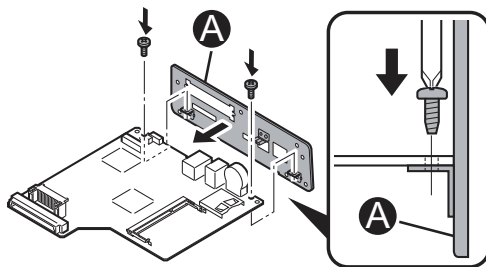
外したI/Oパネルは大切に保管してください。

6 ①の部分を持ち上げ、ガイドレールを外す

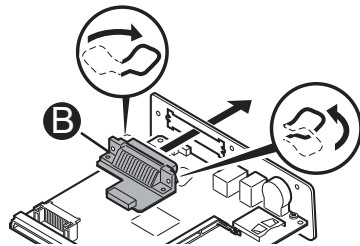


外したガイドレールは大切に保管してください。

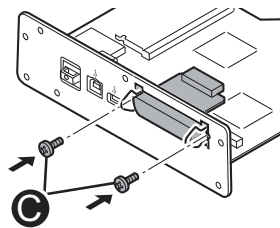
7 基板に付属のI/Oパネル(A)を手順5で外したネジで2ヶ所留め、取り付ける
ネジは垂直に留めてください。



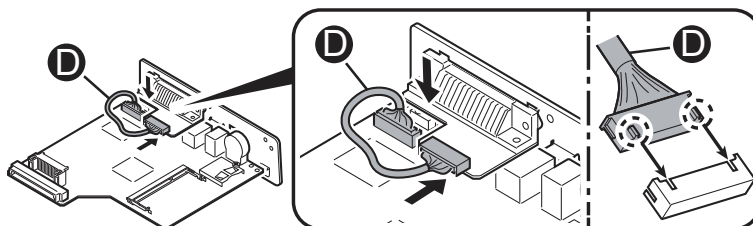
8 パラレルコネクタ(B)の留め具を起こした状態でI/Oパネルに通す



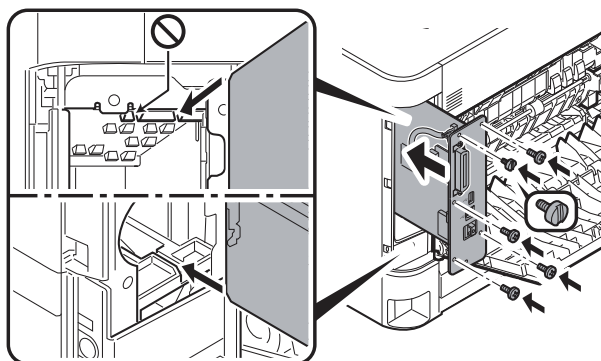
9 パラレルコネクタを付属のネジ(C)で2ヶ所留める



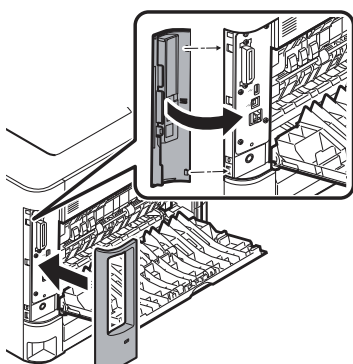
10 パラレルコネクタと基板を付属のケーブル(D)で接続する
パラレルコネクタの取り付け方向にご注意ください。



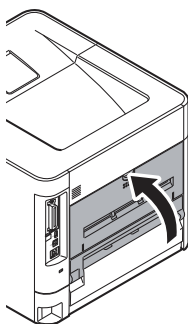
- 11** レールに沿ってインターフェイスボードを差し込み、ネジで5ヶ所留める
レールの位置にご注意ください。



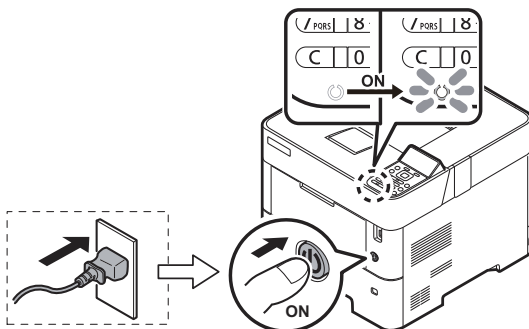
- 12** 左側のツメを先にかけて、インターフェイスカバーを取り付ける



- 13** 後ろカバーを閉じる



- 14** 電源プラグをコンセントに差した後、電源スイッチを押す



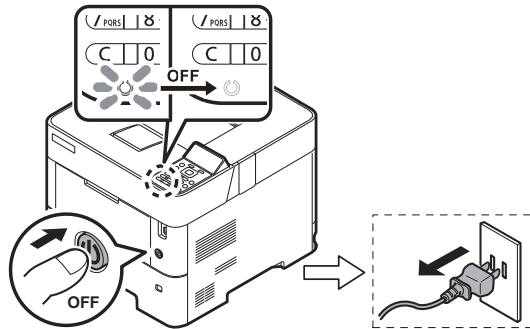
プリンタ無線LANカードの取り付け



ワイヤレスネットワークを使用するには、プリンタ無線LANカードの設定が必要です。

▶ [ワイヤレスネットワークを設定する \(2-20ページ\)](#)

1 電源スイッチを押して電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜く

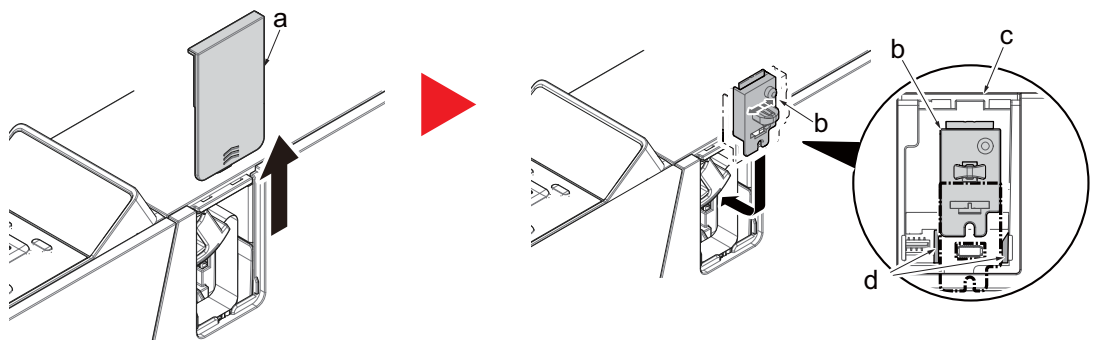


参考

シャットダウンの確認画面が表示されます。電源が切れるまでに、約3分かかる場合があります。

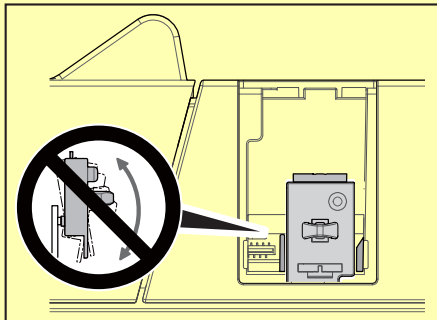
2 プリンタ無線LANカードを取り付ける

- 1 Wi-Fiカバー (a) を、凹凸部分を押しながら、上にスライドさせて取り外します。
- 2 プリンタ無線LANカード (b) の裏面コネクタを合わせながら、挿入します。
プリンタ無線LANカード (b) を取り付けるときは、上カバー (c) の挿入ガイド (d) に沿って取り付けてください。



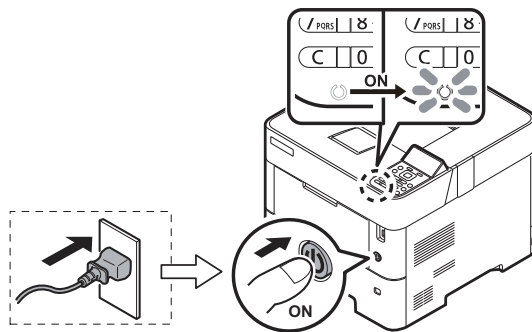
☑ **重要**

基板の破損防止のため、コネクターを抜き差しするときに、プリンタ無線LANカードを上下方向にこじらないように注意してください。



3 取り外したWi-Fiカバー (a) を元どおりに取り付けます。

3 電源プラグをコンセントに差した後、電源スイッチを押す



有寿命部品/消耗品/定期交換部品/24時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、使用環境(温度:10~32.5℃、湿度:10~80%RH)において1日8時間のご使用で約5年、または100万ページ印刷(A4サイズ横送り(□)換算)のいずれか早いほうです(用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンター本体の電源ON/OFF頻度や通電時間などにより印刷枚数が減少します)。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは、お問い合わせ窓口(11-33ページ)にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンター本体の製造終了後5年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
<主な有寿命部品一覧>

制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラー

消耗品について

トナーカートリッジ(サプライ品)は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

サプライ品については、[サプライ品一覧\(11-15ページ\)](#)をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、保守・運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、専用の窓口にご連絡ください。未契約のお客様は、お問い合わせ窓口(11-33ページ)にご連絡ください。

なお、定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています(ご契約によっては有償となりますので、詳しくは富士通担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください)。

なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守・運用支援サービス「SupportDesk」については、富士通ホームページ「製品サポート(法人のお客様向け)」(<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>)をご覧ください。補修用性能部品(保守部品)、定期交換部品の保有期間は、プリンター本体の製造終了後5年間です。

定期交換部品	交換の時期
ドラムユニット	50万ページ印刷を目安に「メンテナンスキット」で交換
現像ユニット	
定着ユニット	
転写ローラー	
給紙ローラー	
リタードローラー	

* 上記は、A4サイズ横送り(□)換算/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。
用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンター本体の電源ON/OFF頻度や通電時間などにより印刷枚数が減少します。

☑ **重要**

本製品は国際エネルギースタートプログラムバージョン3.0に対応のため、プリンタードライバーの「両面印刷」の初期設定は[長辺とじ]になっています。
主に片面印刷でお使いになる場合は、プリンタードライバーの[基本設定]タブにある「両面印刷」の設定を[オフ]に変更してお使いください。

24時間以上の連続運用について

本製品は、24時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっていません。

24時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります

サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。

なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。最新情報は、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>) でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

- 富士通コワーコお客様総合センター
通話料無料:0120-505-279
受付時間:月曜日～金曜日9:00～12:00、13:00～17:30(土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)
URL:<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco>



注意

トナーカートリッジは、本製品専用の純正品のご使用をお奨めします。

富士通プリンターは、純正のトナーカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。

非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。

重要

トナーカートリッジは、安定した画質を維持するために、開封から12ヶ月以内で使い切ることをお勧めします。長期間保管したものを使用すると、印刷ムラ/汚れ/かすれなど、印刷品質が劣化する場合がありますので、購入後は24ヶ月を目安にご使用をお願いいたします。

商品名	商品番号	備考
トナーカートリッジLB323	0899920	約10,000ページ印刷可能(JIS X 6931 (ISO/IEC19752)に基づく)

* 上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。

実際の印字可能枚数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや本体の電源のON/OFFに伴う初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより異なることがあります。

推奨用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度22℃、湿度55～60%RH環境下に12時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

参考

- 安定した搬送性・印字品質を確保するために、推奨紙の使用をお勧めします。
- 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間/休日などのプリンターの停止時は、給紙カセット/手差しトレイに用紙を放置しないでください。プリンターから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
- 本製品で使用できる用紙については、[用紙について \(11-21ページ\)](#)をご確認ください。

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号*1	備考
富士通コワーコ(株)	普通紙	オフィス用紙W	A3	0411650	
		オフィス用紙W	B4	0411620	
		オフィス用紙W	A4	0411610	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4縦(□)の場合
		オフィス用紙W	A4Y	0411612	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4横(□)の場合
		オフィス用紙W	B5	0411640	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4縦(□)の場合
		オフィス用紙W	B5Y	0411645	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4横(□)の場合
		オフィス用紙W	A5	0411630	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4縦(□)の場合
		オフィス用紙W	A5Y	0411635	用紙をセットする向き(搬送方向)がA4横(□)の場合
郵便事業(株) 郵便局などで発売	はがき	郵便はがき	はがき	—	多色刷りはがきは除く
		郵便はがき	往復はがき	—	多色刷りはがきは除く

*1 各商品で梱包単位(枚数)が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。

参考

- 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
A4サイズであれば、横送り方向と縦送り方向を変更することで改善される場合があります。ただし、縦置きに変更すると、横置きに比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジの交換時期が早くなったりする場合があります。
- A4横、B5横、A5横など、横置き(横送り方向)にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。
A4縦、B4、A3など、縦置き(縦送り方向)にセットする場合は「縦目」の用紙を推奨します。
- 対応用紙の最新情報は、次の富士通製品情報ページでご確認ください。
<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>

文字の入力方法

名前などを入力する文字入力画面について説明します。

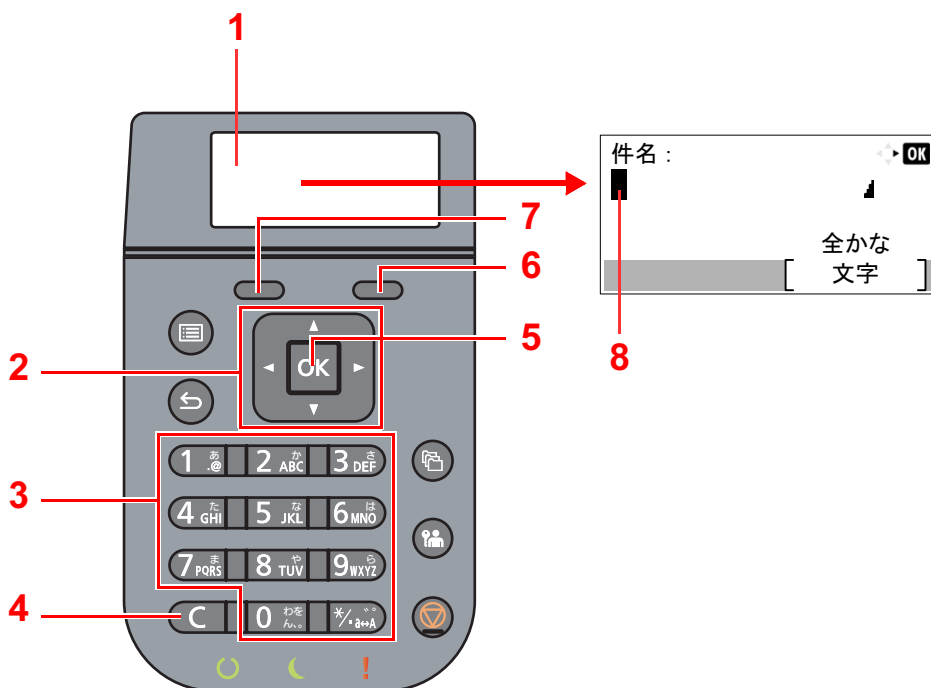
参考

操作パネルからは漢字を入力できません。パソコンからFujitsu Printer Internet Serviceを使用して漢字入力ができます。

▶ [Fujitsu Printer Internet Service使用説明書](#)

使用するキー

以下のキーを使用して、文字を入力します。



番号	ディスプレイ/キー	説明
1	メッセージディスプレイ	入力した文字が表示されます。
2	矢印キー	文字表示部のカーソルを移動させるときや、文字リストから文字を選択する際に選択してください。
3	テンキー	文字や数字、記号を入力する際に選択してください。
4	[クリア]キー	カーソル位置の文字を削除します。または、カーソルがラインの終わりにある場合は、左の文字を削除します。
5	[OK]キー	入力した文字を確定します。
6	右選択キー	入力する文字のタイプを選択する場合に選択してください。メッセージディスプレイに、キーのタブが表示されたときのみ有効になります。
7	左選択キー	
8	カーソル	文字がカーソル位置に入力されます。

入力文字の選択

入力文字には、次の9種類を選択できます。

全かな(全角ひらがな)－全角ひらがなを入力します。

全カナ(全角カタカナ)－全角カタカナを入力します。

半カナ(半角カタカナ)－半角カタカナを入力します。

全英数(全角英数)－全角英数を入力します。

半英数(半角英数)－半角英数を入力します。

全数(全角数字)－全角数字を入力します。

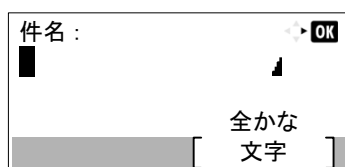
半数(半角数字)－半角数字を入力します。

全角記号－全角記号を入力します。

半角記号－半角記号を入力します。

1 入力文字を切り替える

文字入力画面で[文字]を選択して、表示されるメニューの中から、[▲]または[▼]キーを使って入力したい文字の種類を選択して、[OK]キーを選択してください。



文字の入力

入力文字を選択したら、以下の手順で文字を入力してください。

ひらがな・カタカナを入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで選択してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
1 あ @	全角ひらがな	あいうえおあいうえお
	全角カタカナ 半角カタカナ	アイウエオアイウエオ
2 か ABC	全角ひらがな	かきくけこ
	全角カタカナ 半角カタカナ	カキクケコ
3 さ DEF	全角ひらがな	さしすせそ
	全角カタカナ 半角カタカナ	サシスセソ
4 た GHI	全角ひらがな	たちつてとっ
	全角カタカナ 半角カタカナ	タチツテトッ
5 な JKL	全角ひらがな	なにぬねの
	全角カタカナ 半角カタカナ	ナニヌネノ
6 は MNO	全角ひらがな	はひふへほ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ハヒフヘホ

入力キー	文字入力モード	表示される文字
7 ま PQRS	全角ひらがな	まみむめも
	全角カタカナ 半角カタカナ	マミムメモ
8 や TUV	全角ひらがな	やゆよ やゆよ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ヤユヨ ヤユヨ
9 ら WXYZ	全角ひらがな	らりるれろ
	全角カタカナ 半角カタカナ	ラリルレロ
0 わを んい	全角ひらがな	わをんわ、。ー・～！？ (スペース)
	全角カタカナ 半角カタカナ	ワランワ、。ー・～！？ (スペース)
*/・a↔A	全角ひらがな	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例) つ→づ→っ→つ… は→ば→ぱ→は…
	全角カタカナ	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例) ツ→ヅ→ッ→ツ… ハ→バ→パ→ハ…
	半角カタカナ	カーソルが文字にあるときは大文字/小文字変換 例) ツ→ッ… カーソルが文字にないときは濁点・半濁点入力 例) っ → っ → …

異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、矢印キーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末から矢印キーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。

アルファベットと数字を入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで選択してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
1 あ @	全角英数 半角英数	. @ - _ / ! : ~ 1
	全角数字 半角数字	1
2 か ABC	全角英数 半角英数	a b c A B C 2
	全角数字 半角数字	2
3 さ DEF	全角英数 半角英数	d e f D E F 3
	全角数字 半角数字	3
4 た GHI	全角英数 半角英数	g h i G H I 4
	全角数字 半角数字	4

入力キー	文字入力モード	表示される文字
5 <small>な</small> JKL	全角英数 半角英数	jkIJKL5
	全角数字 半角数字	5
6 <small>は</small> MNO	全角英数 半角英数	mnoMNO6
	全角数字 半角数字	6
7 <small>ま</small> PQRS	全角英数 半角英数	pqrsPQRS7
	全角数字 半角数字	7
8 <small>や</small> TUV	全角英数 半角英数	tuvTUV8
	全角数字 半角数字	8
9 <small>ら</small> WXYZ	全角英数 半角英数	wxyzWXYZ9
	全角数字 半角数字	9
0 <small>わを ん、。</small>	全角英数 半角英数	.,-_'!?(スペース) 0
	全角数字 半角数字	0
* / <small>あ A</small>	全角英数 半角英数	大文字/小文字の変換を行います
	全角数字 半角数字	.(ピリオド)

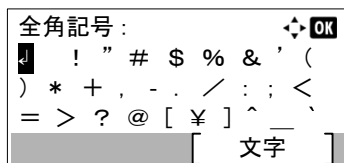
異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、矢印キーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末から矢印キーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。

記号を入力する場合

1 入力文字を切り替える

[文字]を選択して、[全角記号]または[半角記号]を選択して、全角記号画面または半角記号画面を表示します。矢印キーを使って入力したい記号を選択して、[OK]キーを選択してください。



用紙について

各カセットに使用できる用紙について説明します。

各給紙元にセットできる用紙のサイズ、種類、枚数については、次を参照してください。

➔ [仕様 \(11-28ページ\)](#)

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙(普通紙)に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができていたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙(普通紙)を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様(普通紙)

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	測定方法	推奨仕様 ^{*1}
坪量	JIS P8124	65~71g/m ²
連量	—	56~61kg
紙厚	JIS P8118	89~95μm
密度	JIS P8118	0.71~0.77g/cm ³
平滑度	JIS P8119	表:35~65秒、裏:23~47秒
剛度(硬さ)(クラーク式)	JIS P8143	主走査:28~60cm ³ /100、副走査:70~123cm ³ /100
透気度	JIS P8117	7~15秒
水分(保水度)	JIS P8127	4.5~5.5%
摩擦係数	JIS P8147	静止:0.45~0.75、動:0.40~0.70
表面電気抵抗	JIS K6911	5×10 ¹⁰ ~5×10 ¹¹ Ω
紙質	—	中性紙
すき目方向	—	用紙の搬送方向と同じすき目の用紙

*1 開封直後の用紙を常湿環境(23℃、50%RH)で測定した値です。

参考

再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

仕様に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起し、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80%以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

○:セットできます ×:セットできません

縦横どちらの向きでもセット可能なサイズの用紙において、用紙サイズに「-R」の記載があるものは縦向き（縦置き）

用紙サイズ	カセット1	カセット2~4	手差しトレイ
Letter	○	○	○
A3 (297×420 mm)	○	○	○
A4-R (210×297 mm)	○	○	○
Legal	○	○	○
A4 (297×210 mm)	○	○	○
B5 (257×182 mm)	○	○	○
A5-R (148×210 mm)	○	○	○
A5 (210×148 mm)	○	×	○
A6 (105×148 mm)	○	×	○
B4 (257×364 mm)	○	○	○
B5-R (182×257 mm)	○	○	○
B6 (128×182 mm)	○	×	○
はがき (100×148 mm)	×	×	○
往復はがき (148×200 mm)	○	×	○
洋形4号 (105×235 mm)	×	×	○
洋形2号 (114×162 mm)	×	×	○
洋長3号 (235×120 mm)	×	×	○
長形3号 (120×235 mm)	×	×	○
長形4号 (90×205 mm)	×	×	○

縦横どちらの向きでもセット可能なサイズの用紙において、用紙サイズに「-R」の記載があるものは縦向き（縦置き）

用紙サイズ	カセット1	カセット2~4	手差しトレイ
角形2号(240×324 mm)	x	x	○
カスタムサイズ	カセット1:幅105~297 mm、長さ148~432 mm カセット2~4:幅148~297 mm、長さ210~432 mm 手差しトレイ:幅70~297 mm、長さ148~450 mm		

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らかすぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給送の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにズレが起きることがあります。用紙の保水度は4~6%の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない用紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、ご使用を避けてください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる用紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

カールした用紙は使用しないでください。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不ぞろい、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理

次のような処理を施した用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- すかしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

- プレプリント
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙
- レターヘッド
- カラー紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙
- ラベル紙
- 上質紙

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、封筒、はがき、厚紙、ラベル紙は手差しトレイから給紙してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。

特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しトレイに使用する用紙種類を選択してください。

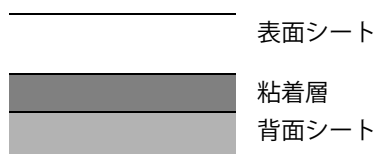
ラベル紙

ラベル紙を使用するときは、レーザープリンター用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認した上で使用してください。

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

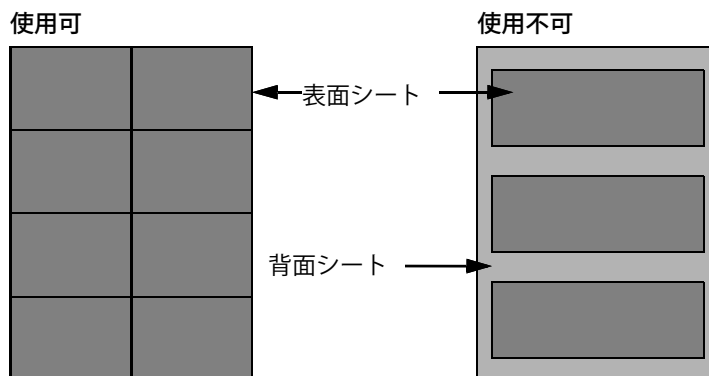
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

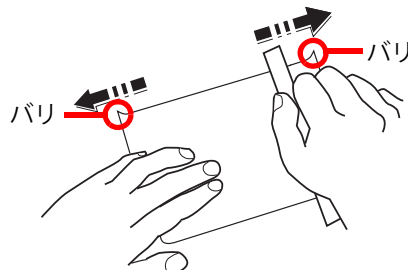
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

表面シートの重さ	44～74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104～151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086～0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115～0.145 mm
保水度	4～6%(混合)

はがき



郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください(ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く)。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください(両面印刷機能には、対応していません)。

はがきは、さばいて端をそろえてから、手差しトレイに補給してください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してから補給してください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください(郵便局などで入手できます)。また、裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を上、オプションの拡張給紙ユニットから給紙する場合は印刷面を下にしてください。

参考

オプションの拡張給紙ユニットの用紙幅ガイドにある用紙上限表示以上に封筒を入れしないでください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。封筒はレーザープリンター用のものをご購入ください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打つてあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。

厚紙

厚紙は、さばいて端をそろえてから手差しトレイに補給してください。裏面にバリ(紙を裁断した際にできる返り)がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1~2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考

バリを取り除いても給紙されない場合は、用紙の先端を数ミリ上にそろえてから手差しトレイに補給してください。

カラー紙

カラー紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [用紙の基本仕様\(普通紙\)\(11-21ページ\)](#)

さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱(最高200℃)に耐えられる必要があります。

プレプリント

プレプリント用紙は、用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [用紙の基本仕様\(普通紙\) \(11-21ページ\)](#)

着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が用紙の基本仕様の表の仕様を満たしている必要があります。

▶ [用紙の基本仕様\(普通紙\) \(11-21ページ\)](#)

参考

- 本製品に適した銘柄を選定し、用紙を大量にご購入する前に、サンプル印刷を行い、支障がないことを確認してください。
- 再生紙は、吸湿しやすい傾向にあるため、夏場の空調が入らないような高温、高湿環境で使用することは避けてください。
- 銘柄によっては、紙づまりやカールが発生する場合があります。次のように対処することで軽減できる場合がありますので、お試しください。
 - 印刷方向を変えてみる(90°または180°)
 - 用紙を裏返して印刷する面を変えてみる
- 吸湿した普通紙/再生紙は、紙づまり、排紙時の用紙カール、排紙された用紙で角折れなどが発生する場合があります。操作パネルから[用紙種類]の設定を[軽い]に変更することで、改善される場合があります。

▶ [用紙種類の設定について \(8-7ページ\)](#)

仕様



重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

本体

項目		仕様
型名		XL-8400
印刷方式		半導体レーザーによる乾式電子写真方式
用紙の重さ	手差しトレイ	60～220 g/m ²
	カセット	60～120 g/m ²
	拡張給紙ユニット(オプション)	60～120 g/m ²
使用できる用紙の種類とサイズ	普通紙/再生紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅70～297 mm、長さ148～450 mm)
	ラベル紙	A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅70～297 mm、長さ148～450 mm)
	はがき/往復はがき	定形の郵便はがきサイズ
	封筒	洋長3号、洋形2号、洋形4号、長形3号、長形4号、角形2号
	長尺紙(手差し)	幅297 mm、長さ432.1～1220 mm
給紙口と用紙サイズ	手差しトレイ	普通紙/再生紙:A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅70～297 mm、長さ148～450 mm)、はがき、往復はがき、封筒、ラベル紙、長尺紙
	カセット	普通紙/再生紙:A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅105～297 mm、長さ148～432 mm) ^{*1} 、往復はがき
	拡張給紙ユニット(オプション)	普通紙/再生紙:A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅148～297 mm、長さ210～432 mm) ^{*1}
両面印刷(標準搭載)	用紙種類	60～120 g/m ²
	用紙サイズ ^{*2}	普通紙/再生紙:A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、カスタムサイズ(幅70～297 mm、長さ210～355.5mm)
ウォームアップタイム(23℃、60%)		18秒以下
用紙容量	手差しトレイ	100枚(A4、64 g/m ²)
	カセット	550枚(64 g/m ²) ^{*3}
	拡張給紙ユニット(オプション)	550枚(64 g/m ²) ^{*3}
排紙容量	上トレイ	500枚(A4、64 g/m ²)フェイスダウン
メモリー		512 MB

項目		仕様
インターフェイス	標準	ネットワークインターフェイス (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) ×1 USB2.0準拠 USBインターフェイス×1 オプションインターフェイス×1
	オプション	無線 (IEEE802.11b/g/n) パラレル (IEEE1284) LAN (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)
使用環境		<p>温度: 10~32.5℃、湿度: 10~80%RH (推奨用紙使用時)</p> <p>温度32.5℃のときは、湿度70%RH以下、湿度80%RH前後のときは、温度30℃以下で使用してください(ただし、結露しないこと)。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、十分にプリンターの性能を発揮できない場合があります。</p> <p>冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。</p>
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)		469×410×320mm
質量		約21 kg (トナーカートリッジ含む、用紙なし)
機械占有寸法 (幅×奥行き)		469 × 647 mm (手差しトレイ使用時)
電源・電源周波数		AC100V±10% (最小90V、最大110V)、50/60Hz±2% 矩形波が出力される電源機器には接続しないでください。故障する場合があります。
定格電流		11.5A
消費電力	最大	1058W
	プリントモード	524W
	レディモード	11W
	スリープモード	0.5W
	プラグインオフモード	0.05W
TEC値		0.56kWh
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (2017年度基準)	区分	C
	印刷速度	モノクロ:40枚
	年間消費電力量	103kWh/年

項目		仕様
稼働音*4	動作時	52dB(A)
	待機時	30dB(A)
耐用期間*5		5年または100万ページ印刷(A4サイズ横送り(□)換算)のいずれか早いほう
電源コード		1本(アース引出線付2極プラグ)、約2.5m
オプション		▶ オプションについて (11-2ページ)

*1 420mmより長い用紙を使用する場合は、幅279.4mmまで

*2 両面印刷できない用紙サイズを指定した場合、ドライバーや印刷設定の両面印刷設定によらず、片面で印刷されます。

*3 カセット内上限高さラインまで

*4 ISO7779準拠/ISO9296準拠(放射音圧レベル)

*5 耐用期間のページ数は、A4サイズの普通紙を片面連続印刷した場合の目安であり、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンター本体の電源ON/OFFによる初期化動作の頻度などにより異なります。ご使用の頻度や用紙、温湿度環境により、装置寿命が大幅に短くなる場合があります。記載の内容は目安であり、保証するものではありません。A4サイズ縦送りの場合や長い用紙をご使用の場合は、装置寿命までに印刷できるページ数が減少します。A4サイズより長い用紙を使用した場合、耐用期間はA4サイズ横送り(□)印刷時の半分程度が目安となります。

推奨月間印刷ページ数: 16,500ページです(A4サイズ横送り(連続印刷時)の場合)。

また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは、[有寿命部品/消耗品/定期交換部品/24時間運用について \(11-13ページ\)](#)をご覧ください。

プリンター機能

項目	仕様		
印刷速度	用紙サイズ	片面印刷(枚)	両面印刷(ページ)
	A4	40	28
	A4-R	27	18.9
	A3	22	11
	B4	25	12.5
	B5	40	28
	B5-R	33 ^{*1}	23.1 ^{*2}
	A5	40	—
	A5-R	40 ^{*3}	28 ^{*4}
	A6	33 ^{*5}	—
	カスタムサイズ	6~40	3~28
	<p>*1 30枚目以降25枚/分</p> <p>*2 30枚目以降17.5枚/分</p> <p>*3 30枚目以降17枚/分</p> <p>*4 30枚目以降11.9枚/分</p> <p>*5 30枚目以降13枚/分</p> <p>* 縦横どちらの向きでもセット可能なサイズの内用紙において、用紙サイズに「-R」の記載があるものは縦向き(縦置き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 厚紙、ラベル紙など特殊用紙では印刷速度は遅くなります。 用紙幅の狭い用紙から広い用紙に切り替わった場合、クールダウンのため一時的に印刷速度が遅くなる場合があります。 カスタムサイズの場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。 大量に印刷すると、クールダウンのため、いったん停止または印刷速度が遅くなる場合があります。 画質を維持するため、ドラムリフレッシュやトナー補給時に印刷動作をいったん停止する場合があります。その場合も上記より印刷速度は遅くなる場合があります。 静音モードでは、印刷速度が遅くなる場合があります。 		
ファーストプリントタイム(A4)	6.3秒以下		
解像度	Fast1200、Fine1200、600 dpi、300 dpi		
対応OS	Windows 11、Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows 10(日本語版のみ)		
インターフェイス	Hi-Speed USB:1 ネットワークインターフェイス:1(10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T) オプションインターフェイス(オプション):1(プリンタLANカード/パラレルインターフェイスカード装着用) 無線LAN(オプション):1(プリンタ無線LANカード装着用)		
エミュレーション	PCL6(PCL-XL、PCL5e)、Epson VP-1000		
搭載フォント	明朝体、ゴシック体、欧文93書体		

拡張給紙ユニット (550枚×1)

項目	仕様
給紙方式	フリクションローラー給紙方式 (収納枚数550枚 (64 g/m ²) × 最大3段)
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル、カスタムサイズ (幅148~297 mm、長さ210~432 mm)
本体寸法(W)×(D)×(H)	469 × 410 × 120 mm
質量	約5.0kg

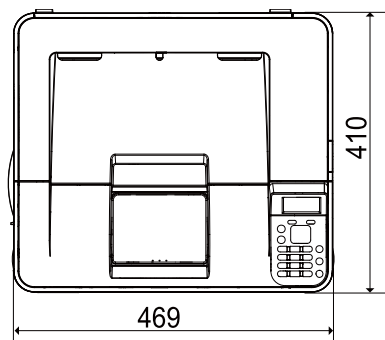


参考

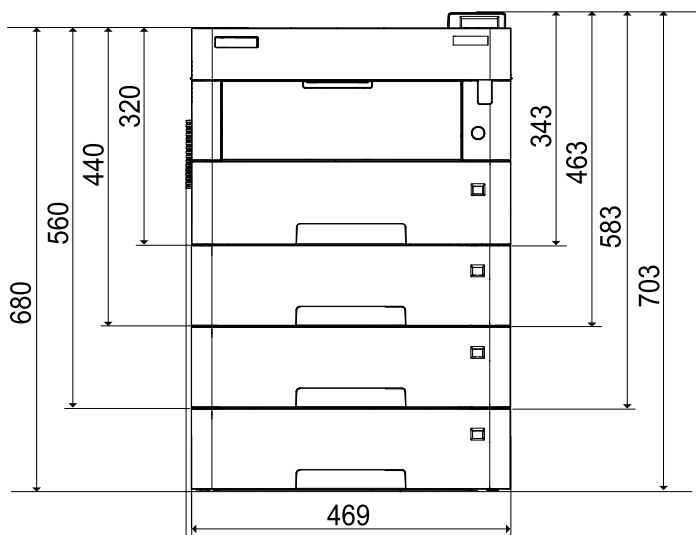
▶ [用紙について \(11-21ページ\)](#)

本製品のサイズ

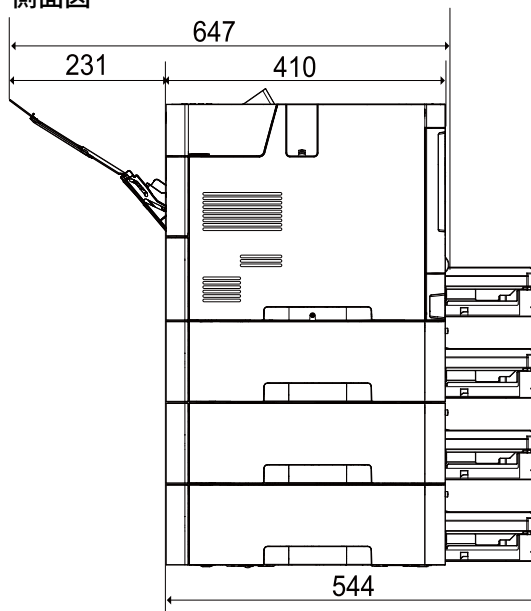
上面図



正面図



側面図



アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後5年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品ご使用をお奨めします。
- 富士通プリンターは、純正のトナーカートリッジの使用時に最適な印字品質が得られるよう設計されています。非純正のものをご使用になりますと、プリンター本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。なお、すべての非純正品で、必ず不具合が発生するわけではありません。非純正の消耗品のご使用に起因する装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償となりますので、ご注意ください。
- 故障時は、イベントログを印刷のうえ、下記にご連絡ください。イベントログの印刷については、[調整/メンテナンス \(8-29ページ\)](#) をご覧ください。
お問い合わせ窓口
保守・運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口に、未契約のお客様は「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
「富士通ハードウェア修理相談センター」
<https://eservice.fujitsu.com/webrepair/>
「修理ご相談フォーム」よりお問い合わせください。
- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または富士通の担当営業/ SEにお問い合わせください。
なお、保守・運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みカートリッジの回収連絡は、次の「エコ受付センター」までご連絡ください。

- エコ受付センター
通話料無料:0120-300-693
受付時間:月曜日～金曜日8:40～12:00および13:00～17:30
(土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)
- プリンタ消耗品無償回収サービス
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

本製品の廃棄について

本製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品の廃棄については、富士通ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>)をご覧ください。

本書で紹介しているURLについて

本書で紹介しているURLは、次のとおりです。

- 富士通製品情報
<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/>
- 富士通コワーコお客様総合センター
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>
- プリンタ消耗品無償回収サービス
<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>
- 製品サポート(法人のお客様向け)
<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>
- 本製品の廃棄について
<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>

用語集

Active Directory

Active Directory (アクティブディレクトリー) とはマイクロソフトによって開発されたディレクトリー・サービス・システムであり、Windows 2000 Serverから導入された、ユーザーおよびパソコン管理を実行するコンポーネント群の総称です。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用に予約されている169.254.0.0 ~169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したりDNS サーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

bpp (bits per pixel)

色深度を表す単位です。1ピクセル当たりのビット数を表します。4 bppの場合は16階調になります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

DHCP (IPv6)

DHCP (IPv6) は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCP (IPv6) を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

FTP (File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POPと並んで頻繁に利用されています。

IPアドレス

ネットワークに接続されたパソコンや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP (Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル) は、インターネット網に代表されるTCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやり取りを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われるHTTP を拡張した規格であり、ルーターによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueTypeフォントをプリンターで扱える機能などがあります。本機はPCL6エミュレーションモードを搭載しています。

PDF/A

ISO 19005-1. Document management - Electronic document file format for long-term preservation - Part 1: Use of PDF (PDF/A) のことで、PDF1.4を元に策定されたファイル形式です。ISO19005-1として標準規格化されています。主に印刷目的として利用されていたPDFを、長期保存用に特化させたものです。現在、ISO19005-2 (PDF/A-2) という新しいパートも策定中です。

POP3 (Post Office Protocol 3)

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PPM (prints per minute)

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA (Stateless)

IPv6 ルーターは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6 で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA) です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

RAMディスク

本機のメモリーの一部を利用した仮想ディスクで、本機の総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって、電子ソート (印刷時間の短縮) などの機能が使えるようになります。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

パソコン同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP (IPv6)

TCP/IP (IPv6) は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP (IPv4) をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

USB (Universal Serial Bus) 2.0

Hi-Speed USB 2.0 に準拠したUSB インターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

トナーセーブ

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりもうすくなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。PCL6のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

グレースケール

パソコン上での色の表現方法のひとつです。画像を白から黒までの明暗だけで表現し、色の情報は含まない「モノクロ」のことです。灰色を何階調で表現するかをビット数によって表し、1ビットなら白と黒のみで中間色がない状態、8ビットなら(白と黒を含めて)256階調、16ビットなら65536階調の灰色で表現されます。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス (Prefix) とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、「133.201.2.0/24」のように“/” (スラッシュ) の後にプレフィックス長(この場合は「24」)を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長(つまりネットワーク部)が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部(本来のホスト・アドレス部の一部分)をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動用紙選択機能

印刷時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

本体前側にある給紙トレイです。はがき、ラベル用紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルーターなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、Webからダウンロードしてください。本機に接続したパソコンにインストールしてください。

ページプリンタ **XL-8400** ハードウェアガイド

B5WY-1841-02 Z0-00

発行日 2024年3月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。